

	<p>第9回 発達2 各発達段階 胎児期・乳児期 近年、人間の発達とは受精から死までの生涯発達の考え方が主流である。当然その流れはどこかで突然切れるものではなく、連続性を持っている。その中でも大きく変化する段階がある。この回では産まれる前の胎児期と出生後の乳児期を取り上げ、その特徴を理解する。 key words：聴覚の発達、視覚の発達、知覚の狭窄化、愛着（アタッチメント）、ホスピタリズム、母性剥奪、自己の芽生え</p> <p>第10回 発達3 各発達段階 幼児期・児童期 乳児期に続き外部からの刺激の処理能力の向上である幼児期の知覚についてまとめるとともに、大人とは違う処理をしている点も挙げる。その後の児童期では、それまでの刺激の処理能力の安定とともに、最も重要な社会性の獲得に重点を置いてまとめる。 key words：第一次反抗期、共感覚、言語の発達、informal group(非公式集団)とformal group(公式集団)、ピグマリオン効果</p> <p>第11回 発達4 各発達段階 青年期 おそらく本講義を受講している人の多くがこの青年期に相当するのではないだろうか。この章では、子供から大人への移行期である青年期とはどのようなもので、どのような特徴があるのかを学ぶ。自分自身のこれからの人生を考える意味でも自分に置き換えながら理解を進めてい居て欲しい。 key words：第二次反抗期、アイデンティティ（自我同一性）の確立、モラトリアム</p> <p>第12回 発達5 各発達段階 成人期 人は生きていく中で、様々な他者と出会い、交流しながら関係を築いていく。人間アイデンティティの確立を始め、様々な課題の達成を求められる激動の青年期の後が成人期である。そのため一見すると安定した印象を持つことがある。しかしながら、社会や家族など組織の一員としての役割が重視されるようになり、その変化による困難も同時に出てくる。一般に考えられている誤ったイメージとの相違を含めて理解していくことを目的とする。 key words：1次的老化と2次的老化、認知的変化、結婚と家族、タイプA</p> <p>第13回 発達6 各発達段階 老年期 心理学のみならず、医学の面からも老化（加齢）現象をしっかりと扱いだした歴史は実はまだ浅い。これは世界的に平均寿命の上昇など高齢化が進み、人口に占める高齢者の割合が多くなってきたため必要に迫られた側面がある。実際、研究が進み多くの知見が得られてきてはいるが、高齢化の速度に追い付いていないと言いはれ難い。その中で、一般には勘違いされている点も含め、高齢者の特徴を学んでいく。 key words：加齢・老化・aging、パフォーマンスとコンピテンス、流動性知能と結晶性知能、老性自覚</p> <p>第14回 人間の欲求と動機 人間の行動の原動力となっているエネルギーについて、心理学的観点から学ぶ。 key words：マズローの欲求階層説、外発的動機と内発的動機、欲求不満、葛藤、適応機制</p> <p>第15回 コミュニケーション 人間は様々な手段を使って他の人や集団との情報交換・共有を行っている。その情報交換であるコミュニケーションとはどのようなものがあるのか、どのような効果があるのかを理解し、生活や仕事の中で役立てていけるようにすることを目的とする。 key words：ノンバーバル（非言語的）コミュニケーション、バーバル（言語的）コミュニケーション、開かれた質問と閉ざされた質問、傾聴</p>	<p>大石 武信</p> <p>大石 武信</p> <p>大石 武信</p> <p>大石 武信</p> <p>大石 武信</p> <p>大石 武信</p> <p>大石 武信</p> <p>大石 武信</p>
科目の目的	心理学は人間の行動を研究する学問である。そのため、患者に対応する医療・看護の領域においてもその知見は応用が利くものも多く、その知識は必須である。また、日常生活の中にも知らず知らずのうちに理論が使用されているものも多い。ニュースや事件などの雑談にも心理学的見地からの説明を行い、学問的・世間的な興味を高め、視野を広げていくことを目的とする。	
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 心理学諸理論による人間理解を深めるとともに自分について振り返る。 2. 心理学的援助の概要と方法について理解し、自らの専門分野に活かす。 	
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	人間性・思考・判断力	
関連科目	【教養・共通基盤科目群】教育学、生命倫理、哲学、人間と宗教、生活文化と医療、AI・ロボットと社会、コミュニケーション学入門、基礎統計学、情報処理、メディアリテラシー、スタディ・スキルズ、アカデミック・スキルズ、多職種理解と医療コミュニケーション	
成績評価方法・基準	定期試験（定期試験・70％）に毎回の講義後に作成する小レポート等の評価（30％）を加味して評価する。小レポートの内容に対するフィードバックは次回の講義の冒頭に行う。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	教科書の授業に関連するトピックについて読み、どのような内容について学ぶのか事前におさえておく。不明な点や気になる点があれば、授業時に理解がすすむようにノートなどにまとめるなど準備しておく。予習・復習時間は合わせて180分程度。	
教科書	大石武信(2020)「ザ・ベーシック・サイコロジー ―これを知らなきゃ看護はできない心理学」サイオ出版	
参考書	適宜指示する	

オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照
履修条件・履修上の注意	講義中の私語、スマートフォン・携帯電話の使用、講義と関係のない作業（他の科目の学習等）は禁止します。注意しても止めない場合や、それらの行為が頻回に見られる場合は退室を命じ、その回の講義の出席を認めない場合もあります。
アクティブ・ラーニングの実施	実施する。毎講義終了時に扱ったテーマについてまとめる振り返りの実施。必要に応じてディスカッションも行う。
ナンバリング	MB I -101

講義科目名称： 教育学

授業コード： 6M002

英文科目名称： Education

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	2単位	選択
担当教員	担当者		
安藤 哲也			

授業形態	講義（グループディスカッション、グループワーク等を含みます） 15回		担当者
授業計画	第1回	なぜ「教育学」を学ぶのか？ 本講義の目的、展開予定、受講上の注意に関する説明と本講義の到達目標の展望。 自分にとって教育学を学ぶことの意味について考える。	安藤 哲也
	第2回	教育とは？ 人の学び方の特徴や潜在的なカリキュラムが及ぼす影響など、教育を受ける側に視点を当て教育という行為を見つめ直すことにより、その困難さや奥深さなどについて考える。	安藤 哲也
	第3回	戦後日本の学校教育 学習指導要領の変遷を基に、改訂当時の社会状況などを知ることを通して、それぞれの時期に目指した学校教育の有り様の背景について考える。	安藤 哲也
	第4回	現在の学校教育 近年の中教審答申や学習指導要領を基に、自身が経験した教育内容を振り返ることを通して、現在の学校教育が目指す教育の有り様について考える。	安藤 哲也
	第5回	現代的な学校課題 近年、継続的な課題となっている「不登校」を取り上げ、その特徴や傾向、想定される要因など、多角的に調べることを通して、求められる支援の在り方を具体的に考える。	安藤 哲也
	第6回	新しい教育の在り方 「特別の教科 道徳」を取り上げ、教科書に基づく授業を具体的に体験することを通して、従来の指導方法から「考え、議論する道徳」への転換を図る指導方法の意義について考える。	安藤 哲也
	第7回	世界の教育思想Ⅰ ※提出課題あり 代表的な先人(コメニウス、ロック、ルソー)の教育思想について調べ、交流することを通して、社会の有り様と教育との関連や現代の教育との関連について考える。提出された課題は、学習資料として全体で共有し、学びを広げる。	安藤 哲也
	第8回	世界の教育思想Ⅱ ※提出課題あり 代表的な先人(ペスタロッチ、ヘルバルト、デューイ)の教育思想について調べ、交流することを通して、社会の有り様と教育との関連や現代の教育との関連について考える。提出された課題は、学習資料として全体で共有し、学びを広げる。	安藤 哲也
	第9回	子どもの思いに基づく教育 子どもの自発性や主体性を大切に幼児教育に焦点を当て、その基本を理解することを通して、教育の原点といわれていることの意味を考える。	安藤 哲也
	第10回	子どもの思いを理解する ビデオ映像を基に、一連の保育場面における子どもの思いを読み取ることを通して、子ども理解の方法とその重要性について具体的に考える。	安藤 哲也
	第11回	活動を通して学ぶということ 自身の学校経験を振り返るとともに、特別活動を具体的に体験することにより、活動を通して学ぶことの意義を見出す。	安藤 哲也
	第12回	集団で活動することの意義 小集団での活動を具体的に体験することにより、特別活動を指導する上で重要視する3つの視点から、子どもにとっての困難さや意義について考える。	安藤 哲也
	第13回	特別活動で何を育てるのか？ 特別活動を具体的に体験し、活動を通しての学びを実感することにより、教師の視点から特別活動の意義や指導の在り方を考える。	安藤 哲也
	第14回	チームの重要性 前回までの活動に基づくカンファレンスを通して、教職員同士の協働性や同僚性、学び合いの大切さについて考える。	安藤 哲也

	第15回 「教育学」をどう活かすか? ※課題レポートあり 「教育学」で得た学びの活かし方に関する考えを交流することを通して、自身のキャリア形成について幅広い視野から考えを深める。	安藤 哲也
科目の目的	学校教育を中心とした自身の教育経験を対象化し、教育内容や教育方法、教師の資質などについて、幅広い視点から振り返り、具体的に考察することを通して、対人援助職に共通して必要となる知識を見出すことを目的とします。	
到達目標	本授業で得た教育に関する学びを自身の専門領域に引き寄せ、何を、どのように活かせるかについて考えを深め、自分の言葉で述べるができる。	
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	人間性・思考・判断力	
関連科目	コミュニケーション学入門	
成績評価方法・基準	①毎回の授業のリアクションペーパー（振り返り）の内容と②課題レポートの内容を総合して評価します。配点は、①が80%、②が20%です。 ①は、毎回のめあてに近づく思考がなされているか、鍵概念を理解できているかという観点で評価します。そして、次回の授業の冒頭で、参考例を示しつつ評価の観点から解説を行い、個々の学びを深めていきます。 ②は、本授業のまとめとして作成し、本授業での学びを自分の将来像(生き方)に意味付けているかという観点で評価します。第15回に他者と交流することを通して、幅広い視点から自分の学びを見つめ直します。その上で、評価の観点に基づいたコメントを付し、後日、個々に返却します。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	事前に配布する講義資料を基に予習をするとともに、授業中に記述したワークシートを基に復習をしましょう。予習・復習に必要な時間の目安はそれぞれ90分程度です。	
教科書	教科書は使用しません。必要な資料は適宜配布します。	
参考書	参考書は授業内で適宜、紹介します。	
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上の注意	講義で使用する資料は、原則として前回授業の翌日にActive Academyにより事前配布します。各自、事前に取得しておいて下さい。	
アクティブ・ラーニングの実施	グループディスカッション、グループワーク等	
ナンバリング	MB I -102	

講義科目名称： コミュニケーション学入門

授業コード： 6M003

英文科目名称： Introduction to Communication

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
諸星 聡美			

授業形態	演習（各回、個別／グループワークを予定）（8回）		担当者
授業計画	第1回	オリエンテーション，コミュニケーションについて	諸星 聡美
	第2回	知覚プロセス	諸星 聡美
	第3回	自己と他者	諸星 聡美
	第4回	オーラルコミュニケーション	諸星 聡美
	第5回	ノンバーバルコミュニケーション（1）	諸星 聡美
	第6回	ノンバーバルコミュニケーション（2）	諸星 聡美
	第7回	自己開示と自己呈示	諸星 聡美
	第8回	現代社会における対人コミュニケーション	諸星 聡美
科目の目的	私たちはあたり前のようにコミュニケーションを行っている。しかし、コミュニケーションについて体系的に学ぶ機会はありません。 「コミュニケーション不全」「コミュニケーションの失敗」による人間関係上の問題は多くあり、”うまくコミュニケーションを行えていない”現状があると思われる。本講義を通じて、人と人が大きな齟齬なく理解しあったり、問題を共有し、問題解決のために考えたりするための基礎とするための教養としてのコミュニケーションについて学ぶ。		
到達目標	1. コミュニケーションとは何かについて説明することができる。 2. 実際にコミュニケーションスキルを用いることができ、社会生活において適切に活かすことができる。		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	人間性・思考・判断力		
関連科目	多種職理解と医療コミュニケーション，心理学入門		
成績評価方法・基準	授業内小レポート（授業回毎）：100%（次回講義にてフィードバックを行う）		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	予習：参考書などを利用しコミュニケーションに関する興味関心を高める（2時間程度）。 復習：配布された資料や講義を受けての各自のメモなどを用いて復習し、わからないことは調べたり、次回授業で聞くことができるようにする（2時間程度）。		
教科書	使用しない		
参考書	岡野雅雄（2008）．わかりやすいコミュニケーション学：基礎から応用まで 三和書籍 藤田依久子（2022）．新版対人コミュニケーション入門 ナカニシヤ出版		
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照		
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照		
履修条件・履修上の注意	1）授業計画は受講学生数と受講学生の希望で一部変更することがあります。変更の場合は事前に周知します。 2）原則として初回授業に出席していない学生の履修は認めません。履修するか悩む場合でも必ず初回授業に出席してください。		
アクティブ・ラーニングの実施	実施する（個人ワーク，グループワーク）。		
ナンバリング	MB I -103		

講義科目名称： 健康スポーツ理論

授業コード： 6M004

英文科目名称： Sports Science

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	2単位	選択
担当教員	担当者		
衣川 隆			

授業形態	講義（14回）・演習（1回）	担当者
授業計画	<p>第1回 健康管理概論 講義説明 ①講義の狙い：理論を「自分事」にする本講義のテーマは「健康と運動」「老化と寿命」だが、単なる知識の暗記ではない。「聞く」から「試す」へ：講義で学んだ理論をもとに、実際に自分の体をどう動かし、どう管理すべきかを実践する場である。</p> <p>②生涯のスキル：10代の今の体と、将来の体の変化（老化）を予測し、自分自身の「健康マネジメント能力」を養う。</p> <p>③成績評価の方法は、定期試験90%。全範囲から授業内で重要な箇所から出題する。ただし毎回の授業で「ここが重要！」と明示する。 小テストは10%で第15回に実施する。柔軟性（昨年度は前屈ストレッチングと開脚ストレッチング）と生活習慣の関係を問う核心的なポイントである。</p> <p>以下は第一回講義内容（予定）</p> <ol style="list-style-type: none"> ヘルスプロモーション（健康づくり） 予防医学 生活習慣病（NCD）概論 	衣川 隆
	<p>第2回 健康づくり施策概論 1. 健康日本21（2011）のこれまでの取り組み 2. 健康日本21（第二次）（2013）とは？ 1. 健康日本21（2011）のこれまでの取り組み 3. 日常生活の歩数の増加 日常生活のなかで積極的に体を動かそう 4. ライフスタイルと生活習慣病</p>	衣川 隆
	<p>第3回 生活習慣病（NCD） 1. メタボリックシンドローム 2. 高血圧 3. 糖尿病 4. ロコモティブシンドローム 5. 悪性新生物（がん） 6. 認知症</p>	衣川 隆
	<p>第4回 運動生理学 1. 呼吸・循環器系と運動 2. 脳・神経系と運動 3. 骨格筋系と運動</p>	衣川 隆
	<p>第5回 機能解剖学 1. ハムストリングスの肉離れ ～アスリートを悩ます重大な障害～ 2. 筋肉の種類や分類法</p>	衣川 隆
	<p>第6回 健康づくり運動の理論（トレーニングと筋肥大・栄養・骨） 1. 体力トレーニングの原理と原則 2. 強度の条件（主にコンセンソリック） 3. 筋トレセット間の休憩時間 4. 筋力トレーニングと栄養（トレーニング50対栄養50） 5. 骨について</p>	衣川 隆
	<p>第7回 健康づくり運動の理論（ストレッチ） 1. ストレッチングの種類は大きく分けて2種類</p>	衣川 隆
	<p>第8回 スポーツ障害と予防健康管理概論 1. スポーツ障害とは</p>	衣川 隆
	<p>第9回 体力測定と評価 1. 体組成とは</p>	衣川 隆
	<p>第10回 運動プログラムの実際 1. 健診結果と特定保健指導の基準値 2. メディカルチェック</p>	衣川 隆

	<p>第11回 運動と心の健康増進 1. 喫煙とメンタルヘルス、運動 2. 多くの現代人を悩ませる「睡眠負債」とは？</p> <p>第12回 栄養摂取を考察する 1. 栄養素の種類と働きを考察する</p> <p>第13回 健康についての雑学（食事・栄養） 1. ダイエットに関する情報 2. 危険な4つの食べ物</p> <p>第14回 健康についての雑学（心・体） 1. 健康とこころ（心理学に学ぶ） 2. アナトミートレイン 3. その他</p> <p>第15回 スポーツ小テスト 1. 授業中に課題を出した柔軟性の小テスト（昨年度は前屈ストレッチングと開脚ストレッチング）を実施する。</p> <p>小テストは10%で第15回に実施する。柔軟性と生活習慣の関係を問う核心的なポイントである。 評価方法は、日本整形外科学会や日本リハビリテーション医学会で定められている基準をもとに評価していく。</p>	<p>衣川 隆</p> <p>衣川 隆</p> <p>衣川 隆</p> <p>衣川 隆</p> <p>衣川 隆</p>
科目の目的	<p>「健康と運動」・「老化と運動」に関しその維持と増進方法についてのメカニズムを知り、なぜ運動が重要なのかを理解することを一つの目的とする。 特に有酸素運動と筋トレやストレッチングの効果は、心肺機能・呼吸器の向上や筋力の向上と柔軟性だけでなく、肥満防止や生活習慣病の予防・改善、正しい姿勢の予防・改善、高齢者生活の障害を低減すること等を、自分自身でも実践しながら理解できるようにする。また本講義で得た知識やその効果を、未来の医療従事者として、地域社会の人々に発信できるよう基礎を学ぶ。 一方で日常生活やスポーツを行な時に、その能力を高めたり継続することに心の問題は切り離せない。本講義では、スポーツ心理学の概要と自己の目標設定の考え方、情動の自己コントロールについて振り返り、起こり得る問題の対策を学習し、考察することにより理解力を深めることを目的とする。</p>	
到達目標	<p>「健康と運動」、「老化と寿命」等に関しその維持と増進方法について考えるにあたって、日常生活とスポーツ、機能的な筋力トレーニングやストレッチングの方法を理解し、自発的に生涯に渡ってスポーツに取り組む心構えができる。まずは今から実践できその習慣を身に付けることができる。また地域社会に発信できるように、まずは家族や友人関係と、健康とスポーツについては発信し考察できる。 一方でスポーツ心理学において、自己の目標設定と情動の自己コントロールを中心に身に付けた知識を取り組める。</p>	
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	<p>関心・意欲・活動、コミュニケーション・協調</p>	
関連科目	<p>健康スポーツ実技</p>	
成績評価方法・基準	<p>定期試験（90%）、授業内の小テスト（10%） 定期試験は100点満点で実施するが90点満点に換算。授業内の小テストは1回実施して10点満点とする。 定期試験は講義で学んだ中から実施する。 小テストは講義中に課題として出した柔軟性の小テスト（昨年度は前屈ストレッチング）を実施する。 小テストの評価ポイントとして、広義には柔軟性であるが狭義には講義中に説明する。</p>	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	<p>【準備学習の内容】 本講義の質を高め、自身の健康意識を変革するために、以下の「セルフモニタリング」を実践してください。</p> <p>生活リズムの記録と管理：自身の1日の生活スケジュール（食事のタイミング、睡眠時間、活動量）を把握しておくこと。</p> <p>身体活動の実践：1日30分程度の運動（ウォーキング、ストレッチング、階段利用など）を意識的に取り入れ、その際の体調の変化や気づきをメモしておくこと。</p> <p>講義との照らし合わせ：授業で学んだ「栄養」「睡眠」「老化」の理論を、自分の実生活に当てはめて振り返る習慣をつけること。</p> <p>【学習時間の目安】 週に60分程度（1日あたり約10分の振り返り、および週単位での生活習慣の確認） 内訳：予習（講義資料の確認）30分、復習（生活実践の振り返り）30分</p>	
教科書	<p>アクティブアカデミーにて授業資料を配布する。</p>	
参考書	<p>「トレーニング：健康・スポーツ科学講義 第2版」出村慎一監修 杏林書院 「これから学ぶスポーツ心理学」荒木雅信監修 大修館書店</p>	
オフィス・アワー	<p>「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照</p>	

国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照
履修条件・履修上の注意	
アクティブ・ラーニングの実施	正しい知識の修得ではなく、正解のない議論（課題）を通して問題解決へのアプローチ方法を身につける。 具体的には、以下のことを講義に取り入れていく。 1. 学生は、授業を聞く以上の関わりをしていること 2. 学生は高次の思考（分析、総合、評価）に関わっていること 3. 学生が自分自身の態度や価値観を探求することに重きが置かれていること 4. 問題解決のために知識を使ったり、人に話したり書いたり発表したりすること
ナンバリング	RBa-104

講義科目名称：健康スポーツ実技

授業コード：6M005

英文科目名称：Practice in Sports Science

対象カリキュラム：2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
衣川 隆			

授業形態	スポーツの実技 (15回)	担当者
授業計画	<p>第1回</p> <p>オリエンテーション ◎オリエンテーション 1. アクティブ・ラーニングの導入：単に動くだけでなく、ペアやグループで「動作の分析」や「励まし合い」を行う。 2. 班編成&チームビルディング：「トレーニング・パートナー」の決定。 3. 安全確認ルールの共有。 4. トレーニング・スキルの説明) 5. 5項目のサーキットトレーニング解説：「跳躍力①・②」「投能力」「握力」「柔軟性」の正しい実施方法とポイントを伝授する。 6. Preテストの実施：現在の数値を測定し、自分の「伸びしろ」を確認する。 7. 成績評価と小テスト（60点）と自己分析レポート（40点）作成についての説明する。 評価基準の明確化 小テスト：A（基準とする回数または可動域、記録ができた）、B（基準とする回数または可動域、記録が半分できた）、C（基準とする回数または可動域、記録ができなかった） 自己分析レポートは、Preでの現状説明（生活、運動常況、3つの筋肉の状態）・Post（生活、運動常況、3つの筋肉の状態）を具体的に書く。（努力のプロセスと成果のバランス） 8. 5項目の小テスト実施計画日について。</p> <p>※新体力テスト導入後の平成10年頃と令和4年度を比較すると、男女とも上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走がほとんどの年代で令和4年度の方が高く、握力とボール投げはいずれの年代でも低い結果となっている。</p>	衣川 隆
	<p>第2回</p> <p>球技・トレーニング ◎基礎体力作り：5項目のサーキットトレーニング解説：「跳躍力①・②」「投能力」「握力」「柔軟性」 跳躍力①のサーキットトレーニングを中心に、跳躍力①・②、投能力、握力のトレーニング実施する。 ※努力のプロセスと成果のバランスをハンで話し合う。</p> <p>班対抗戦：バスケットボール。バスケットボールは接触プレーも多く、男女間の体格の差によってプレーにも差が出たりけがをする可能性もあるため、ローカルルールを検討して競技を進めていく。その後も問題解決を急いだほうが良い場合には、試合中でも直ちにローカルルールを再度検討する。バスケットボール経験者や経験の浅い学生でも、だれもが楽しくスポーツを行うように検討していく。</p>	衣川 隆
	<p>第3回</p> <p>球技・トレーニング ◎基礎体力作り：5項目のサーキットトレーニング解説：「跳躍力①・②」「投能力」「握力」「柔軟性」 跳躍力①のサーキットトレーニングを中心に、跳躍力①・②、投力、握力のトレーニング実施する。 ※努力のプロセスと成果のバランスをハンで話し合う。</p> <p>班対抗戦：バスケットボール。バスケットボールは接触プレーも多く、男女間の体格の差によってプレーにも差が出たりけがをする可能性もあるため、ローカルルールを検討して競技を進めていく。その後も問題解決を急いだほうが良い場合には、試合中でも直ちにローカルルールを再度検討する。バスケットボール経験者や経験の浅い学生でも、だれもが楽しくスポーツを行うように検討していく。</p>	衣川 隆

第4回	<p>小テスト跳躍力①とPreテスト 小テスト跳躍力①</p> <p>Preテスト 4項目のサーキットトレーニング解説：「跳躍力②」「投能力」「握力」「柔軟性」</p> <p>跳躍力①のサーキットトレーニングを中心に、跳躍力①・②、投能力、握力のトレーニング実施する。 ※努力のプロセスと成果のバランスをハンで話し合う。</p>	衣川 隆
第5回	<p>球技・トレーニング ◎基礎体力作り：4項目のサーキットトレーニング解説：「跳躍力②」「投能力」「握力」「柔軟性」</p> <p>跳躍力②のサーキットトレーニングを中心に、跳躍力②、投力、握力のトレーニングとストレッチング実施する。 ※努力のプロセスと成果のバランスをハンで話し合う。</p> <p>班対抗戦：バレーボール。バレーボールは競技年数や運動能力においても差が出やすい。2回目のバレーボールで班の中でコミュニケーションも向上していると思われるため、競技型で試合で行うか楽しみ型で試合を行うのか検討する。その中で更にローカルルールを検討して競技を進めていく。 バレーボール経験者や経験の浅い学生でも、だれもが楽しくスポーツを行うように検討していく。</p>	衣川 隆
第6回	<p>球技・トレーニング ◎基礎体力作り：4項目のサーキットトレーニング解説：「跳躍力②」「投能力」「握力」「柔軟性」</p> <p>跳躍力②のサーキットトレーニングを中心に、跳躍力②、投力、握力のトレーニングとストレッチング実施する。 ※努力のプロセスと成果のバランスをハンで話し合う。</p> <p>班対抗戦：バレーボール。バレーボールは競技年数や運動能力においても差が出やすい。2回目のバレーボールで班の中でコミュニケーションも向上していると思われるため、競技型で試合で行うか楽しみ型で試合を行うのか検討する。その中で更にローカルルールを検討して競技を進めていく。 バレーボール経験者や経験の浅い学生でも、だれもが楽しくスポーツを行うように検討していく。</p>	衣川 隆
第7回	<p>小テスト跳躍力②とPreテスト 小テスト跳躍力②</p> <p>Preテスト 3項目のサーキットトレーニング解説：「投能力」「握力」「柔軟性」</p> <p>跳躍力②のサーキットトレーニングを中心に、投力、握力のトレーニングとストレッチング実施する。 ※努力のプロセスと成果のバランスをハンで話し合う。</p>	衣川 隆
第8回	<p>球技・トレーニング ◎基礎体力作り：3項目のサーキットトレーニング解説：「投能力」「握力」「柔軟性」</p> <p>投能力のサーキットトレーニングを中心に、握力のトレーニングとストレッチング実施する。 ※努力のプロセスと成果のバランスをハンで話し合う。</p> <p>班別サーキット：日本肩関節学会による先行する研究から、山口・浜田らによる研究を概要としたサーキットトレーニングをしていく。投げるのみならず捕ることもサーキットの一部とする。</p> <p>投球動作は、野球やソフトボールのみならず、テニス、バレーボール、バドミントンといった多様な球技においても、共通する運動能力を構成する動作である。こうした動作は神経系の発達が著しい幼児・児童期に獲得されやすく、成人初期のこの時期に多様な身体活動を経験させることは、将来的な運動能力や障害予防にとって非常に意義がある。成人初期の身体的成長に対して機能的成長が追いついていない現状を踏まえ、適切な運動経験の提供が重要な課題である。</p>	衣川 隆

第9回	<p>球技・トレーニング ◎基礎体力作り：3項目のサーキットトレーニング解説：「投能力」「握力」「柔軟性」</p> <p>投能力のサーキットトレーニングを中心に、握力のトレーニングとストレッチング実施する。 ※努力のプロセスと成果のバランスをハンで話し合う。</p> <p>班別サーキット：日本肩関節学会による先行する研究から、山口・浜田らによる研究を概要としたサーキットトレーニングをしていく。投げるのみならず捕ることもサーキットの一部とする。</p> <p>投球動作は、野球やソフトボールのみならず、テニス、バレーボール、バドミントンといった多様な球技においても、共通する運動能力を構成する動作である。こうした動作は神経系の発達が著しい幼児・児童期に獲得されやすく、成人初期のこの時期に多様な身体活動を経験させることは、将来的な運動能力や障害予防にとって非常に意義がある。成人初期の身体的成長に対して機能的成長が追いついていない現状を踏まえ、適切な運動経験の提供が重要な課題である。</p>	衣川 隆
第10回	<p>小テスト投能力とPreテスト 小テスト投能力</p> <p>Preテスト 2項目のサーキットトレーニング解説：「投能力」「握力」「柔軟性」</p> <p>跳躍力②のサーキットトレーニングを中心に、投力、握力のトレーニングとストレッチング実施する。 ※努力のプロセスと成果のバランスをハンで話し合う。</p>	衣川 隆
第11回	<p>球技・トレーニング ◎基礎体力作り：2項目のサーキットトレーニング解説：「握力」「柔軟性」</p> <p>握力のトレーニングとストレッチング実施する。 ※努力のプロセスと成果のバランスをハンで話し合う。</p> <p>班対抗戦：タッチラグビー。ほとんどが初めてラグビーを行うのではないかと鑑み、簡単なルール説明をする。ラグビーは前に投げてはいけないスポーツなので、「歩きながらパス」からスタートし、ランニングパスのサーキットを始める。ラグビーは接触プレーも多く、男女間の体格の差によってプレーにも差が出たりけがをする可能性もあるため、ローカルルールを検討して競技を進めていく。その後も問題解決を急いだほうが良い場合には、試合中でも直ちにローカルルールを再度検討する。バスケットボール経験者や経験の浅い学生でも、だれもが楽しくスポーツを行うように検討していく。</p>	衣川 隆
第12回	<p>球技・トレーニング ◎基礎体力作り：2項目のサーキットトレーニング解説：「握力」「柔軟性」</p> <p>握力のトレーニングとストレッチング実施する。 ※努力のプロセスと成果のバランスをハンで話し合う。</p> <p>班対抗戦：タッチラグビー。ほとんどが初めてラグビーを行うのではないかと鑑み、簡単なルール説明をする。ラグビーは前に投げてはいけないスポーツなので、「歩きながらパス」からスタートし、ランニングパスのサーキットを始める。ラグビーは接触プレーも多く、男女間の体格の差によってプレーにも差が出たりけがをする可能性もあるため、ローカルルールを検討して競技を進めていく。その後も問題解決を急いだほうが良い場合には、試合中でも直ちにローカルルールを再度検討する。バスケットボール経験者や経験の浅い学生でも、だれもが楽しくスポーツを行うように検討していく。</p>	衣川 隆
第13回	<p>小テスト握力とPreテスト 小テスト握力</p> <p>Preテスト 1項目のサーキットトレーニング解説：「柔軟性」</p> <p>ストレッチング実施する。 ※努力のプロセスと成果のバランスをハンで話し合う。</p>	衣川 隆

	<p>第14回 球技・トレーニング ◎基礎体力作り：2項目のサーキットトレーニング解説：「柔軟性」</p> <p>股関節のストレッチング実施する。 ※努力のプロセスと成果のバランスをハンで話し合う。</p> <p>班対抗戦：バドミントン。バドミントンは、老若男女において取り組みやすいスポーツであるため、生涯にわたって行っていくかのせいもあるスポーツである。授業でバドミントンをを行うにあたって、学生たちの人数に対して試合場所が十分でない可能性もあるため、その中でローカルルールを検討して競技を進めていく。その後も問題解決を急いだほうが良い場合には、順次にローカルルールを再度検討する。バドミントン経験者や経験の浅い学生でも、だれもが楽しくスポーツを行うように検討していく。</p> <p>第15回 小テスト柔軟性 小テスト柔軟性</p> <p>授業中に課題を出した股関節外転と前屈（柔軟性）小テストを実施する。</p>	<p>衣川 隆</p> <p>衣川 隆</p>
<p>科目の目的</p>	<p>運動やスポーツが得意な人もあまり得意でない人も、手軽にできるトレーニングやストレッチングを行い、学生自身が体力をつけることを狙いとする。また一人でも簡単にできる筋力トレーニングやストレッチングを行って、少しずつ無理なく自分のペースでスポーツを楽しめるようにする。各種スポーツでの身体活動を通して、各自が健康や体力に対する認識を深め、その保持増進、体力向上を図ることにより、心身共に健康的で幸福な大学生活が送れるよう自覚を促す。スポーツを通して自己研鑽に励み、自ら疑問や課題を設定し、問題解決のために調査・検討・分析できる能力を身につける。</p> <p>各種室内での軽運動・スポーツ・トレーニング等に親しみ、積極的に参加し、将来健康で豊かなライフスタイルの形成を目指す。加えて、大学生活のスタート時が、より豊かで協同的な人間関係の構築と学生生活の充実の一助となるよう、そして多職種連携による問題解決の重要性の理解し、学生相互のコミュニケーションの学びを積み重ねた豊かで幅広い教養を身につける。</p>	
<p>到達目標</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 健康と体力の重要性を理解し、自らの意志で維持向上をする仮説を立てそれを実行することができる。 2. 生涯にわたって健康と体力を維持向上するための知識・行動を身に付ける基軸を検討することができる。 3. 地域社会の生活習慣を観察し、その問題点を把握して対策を立て心身の健康状態を整えるための発信力を持つ準備ができる。 4. 学生相互のコミュニケーションを積み重ね、スポーツの現場でみんなが楽しく効率的かつ円滑に進行する共同的な行動ができる。 	
<p>「ディプロマ・ポリシー」キーワード</p>	<p>多様性理解・尊重、コミュニケーション・協調</p>	
<p>関連科目</p>	<p>健康スポーツ理論</p>	
<p>成績評価方法・基準</p>	<p>授業時間内の小テストと自己分析レポートをもって評価する。</p> <p>成績評価と小テストは授業内に5回実施する（15点×5回、60点）。自己分析レポート（40点）はアクティブアカデミーを使用して作成提出する。</p> <p>評価基準の明確化 小テスト：A（基準とする回数または可動域、記録ができた）、B（基準とする回数または可動域、記録が半分できた）、C（基準とする回数または可動域、記録ができなかった）</p> <p>自己分析レポート：Preでの現状説明（生活、運動常況、3つの筋肉の状態）・Post（生活、運動常況、3つの筋肉の状態）を具体的に分析し論じる。</p>	
<p>準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安</p>	<p>【準備学習の内容】 本講義の質を高め、自身の健康意識を変革するために、以下の「セルフモニタリング」を実践すること。</p> <p>生活リズムの記録と管理：自身の1日の生活スケジュール（食事のタイミング、睡眠時間、活動量）を把握しておくこと。</p> <p>身体活動の実践：1日30分程度の運動（実技の実践など）を意識的に取り入れ、その際の体調の変化や気づきをメモしておくこと。</p> <p>講義との照らし合わせ：授業で学んだ「栄養」「睡眠」「老化」の理論を、自分の実生活に当てはめて振り返る習慣をつけること。</p> <p>【学習時間の目安】</p> <p>週に60分程度（1日あたり約10分の振り返り、および週単位での5項目のサーキットトレーニング実施：「跳躍力①・②」「投能力」「握力」「柔軟性」）</p> <p>内訳：予習（実技の実践）30分</p>	

教科書	使用しない。
参考書	「トレーニング：健康・スポーツ科学講義 第2版」出村慎一監修 杏林書院 「運動学」伊東元 高橋正明編集 医学書院
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照
履修条件・履修上の注意	
アクティブ・ラーニングの実施	正しい知識の修得ではなく、正解のない議論（課題）を通して問題解決へのアプローチ方法を身につける。 具体的には、以下のことを講義に取り入れていく。 1. 学生は、授業を聞く以上の関わりをしていること 2. 情報の伝達より学生のスキルの育成に重きがおかれていること 3. 学生は高次の思考（分析、総合、評価）に関わっていること 4. 学生は活動（例：読む、議論する、書く）に関与していること 5. 学生が自分自身の態度や価値観を探求することに重きが置かれていること 6. 問題解決のために知識を使ったり、人に話したり書いたり発表したりすること
ナンバリング	CBa-105

講義科目名称： 文学

授業コード： 6M006

英文科目名称： Literature

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	2単位	選択
担当教員	担当者		
衣川 隆			

授業形態	講義 (15回)	担当者
授業計画	<p>第1回</p> <p>ガイダンス：「文学」とは何かを考える。 ◎ガイダンス 文学作品には、多様な人間模様や文化、歴史、そして切実な社会問題が刻み込まれている。作品を読むことは、一度きりの人生では決して出会えない人々や事柄に遭遇し、その経験を共有し、意味を問い直すプロセスである。それは、多様な人間や社会への理解を深めることであり、まさに「あなたはどうか生きるか」という普遍的な問いに能動的に向き合うことでもある。</p> <p>本科目では、日本文学の作品鑑賞を通じて、自己や他者、そして社会に対する多角的な視点や共感力を養い、「どう生きか」を探求する。また、近代・現代日本語の美しい響きや表現に触れることで、感性を磨き、自らの考えを論理的かつ豊かに表現する「文章力」の向上も目指す。</p> <p>【成績評価について】 成績評価は、学期末のレポート（100%）によって行う。</p> <p>評価のポイント： 単なる感想ではなく、講義で扱った視点や分析手法が反映されているかを重視する。 詳細説明： レポートの具体的なテーマや執筆ルールについては、第15回目の講義にて詳しく説明する。</p> <p>事前の準備： 毎回の講義で得た気づきや考察をメモしておくことが、質の高いレポート作成への一番の近道となる。</p> <p>◎一回目の講義内容 1. 講義の流れ 2. 代表的な作詩者について考える。メッセージ力とは何か、どこから生まれてくるのだろうか。 3. 世界的に愛される詩の秘密を考察する。 4.</p> <p>第2回</p> <p>芥川龍之介概論 1. 高校時代読み学んだ小説「羅生門」をどのように読み取ったかを振り返ってみる。 2. 芥川龍之介について説明する。 3. 芥川龍之介の生涯を学んで、小説「羅生門」を読み直す。今までと違った感じ取り方を味わうことができる。 4. まとめシートに記入する。 ※事前学習で芥川龍之介と「羅生門」について図書館やインターネットなど利用して調べる。授業後は自分の考えをまとめる。</p> <p>第3回</p> <p>宮沢賢治概論 1. 宮沢賢治について説明する。 2. 「母親」の教えから、どのような人生を送ったのか、その人生の中にある「自己犠牲」「光と影」「人生の基軸」「心象スケッチ」について考察する。また「春と修羅」詩集「銀河鉄道の夜」等の児童文学を残し、現代を生きる作家や映画監督、ミュージシャン等にも影響を及ぼしているその理由を考察する。 3. まとめシートに記入する。 ※事前学習で宮崎駿と「宮沢賢治」について図書館やインターネットなど利用して調べる。授業後は自分の考えをまとめる。</p> <p>第4回</p> <p>宮沢賢治『銀河鉄道の夜』から：前編 1. 「銀河鉄道の夜」と隠喩について説明する。 2. それぞれの場面における「自己犠牲」「光と影」「人生の基軸」「心象スケッチ」について考察する。 3. まとめシートに記入する。 ※事前学習で宮崎駿と「宮沢賢治」について図書館やインターネットなど利用して調べる。授業後は自分の考えをまとめる。</p> <p>第5回</p> <p>宮沢賢治『銀河鉄道の夜』から：後編 1. 「銀河鉄道の夜」と隠喩について説明する。 2. それぞれの場面における「自己犠牲」「光と影」「人生の基軸」「心象スケッチ」について考察する。 3. まとめシートに記入する。 ※事前学習で宮崎駿と「宮沢賢治」について図書館やインターネットなど利用して調べる。授業後は自分の考えをまとめる。</p>	<p>衣川 隆</p> <p>衣川 隆</p> <p>衣川 隆</p> <p>衣川 隆</p> <p>衣川 隆</p>

第6回	<p>梶井基次郎概論</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 梶井基次郎について説明する。 2. 文学と病の関係について説明する。 3. 小説「檸檬」を読み直す。「檸檬」の中に潜む「光と影」を読み取る。「得体のしれない不吉な塊」とは何か？どんな背景があるのか？また、多くの人が絶賛する「檸檬」の文章は、その内容もさることながら、並べ立てられていく言葉の流れそのものが美しかった。日本語というのはこんなに綺麗に、鮮やかに描くことができるのかと思った。」いると言われた箇所はどこか。 4. まとめシートに記入する。 <p>※事前学習で梶井基次郎と「檸檬」について図書館やインターネットなど利用して調べる。授業後は自分の考えをまとめる。</p>	衣川 隆
第7回	<p>宮崎駿概論</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 宮崎駿について説明する。 2. その人生の中にある「自己犠牲」「光と影」「人生の基軸」「心象スケッチ」について考察する。また「春と修羅」詩集「銀河鉄道の夜」等の児童文学を残し、現代を生きる作家や映画監督、ミュージシャン等にも影響を及ぼしているその理由を考察する。 3. まとめシートに記入する。 <p>※事前学習で宮崎駿と「宮沢賢治」について図書館やインターネットなど利用して調べる。授業後は自分の考えをまとめる。</p>	衣川 隆
第8回	<p>結核と文学（宮崎駿『風立ちぬ』から前編）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 宮崎駿と『風立ちぬ』と結核との関係を説明する。 2. 結核について文化史的側面から考察する。 3. まとめシートに記入する。 <p>※事前学習で宮崎駿と「風立ちぬ」について図書館やインターネットなど利用して調べる。授業後は自分の考えをまとめる。</p>	衣川 隆
第9回	<p>結核と文学 宮崎駿『風立ちぬ』から後編）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 宮崎駿と『風立ちぬ』と結核との関係を説明する。 2. 結核について文化史的側面から考察する。 3. まとめシートに記入する。 <p>※事前学習で宮崎駿と「風立ちぬ」について図書館やインターネットなど利用して調べる。授業後は自分の考えをまとめる。</p> <p>※小レポート作成準備</p>	衣川 隆
第10回	<p>与謝野晶子と出産——『青海波』を読む——</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 与謝野晶子について説明する。 2. 与謝野晶子と家族、出産について説明する。 3. まとめシートに記入する。 <p>※事前学習で宮崎駿と「青海波」について図書館やインターネットなど利用して調べる。授業後は自分の考えをまとめる。</p>	衣川 隆
第11回	<p>夏目漱石概論——病と文学——前編</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 夏目漱石について説明する。 2. 文学と病の関係について説明する。 3. 小説「門」を読む。門に隠された表現を探っていく。小説はまず主人公を読者に紹介しつければならない。主人公をどうやって印象付けるかを探る。 4. まとめシートに記入する。 <p>※事前学習で夏目漱石と「門」について図書館やインターネットなど利用して調べる。授業後は自分の考えをまとめる。</p>	衣川 隆
第12回	<p>夏目漱石概論——病と文学——後編</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 夏目漱石について説明する。 2. 文学と病の関係について説明する。 3. 小説「門」を読む。門に隠された表現を探っていく。小説はまず主人公を読者に紹介しつければならない。主人公をどうやって印象付けるかを探る。 4. まとめシートに記入する。 <p>※事前学習で夏目漱石と「門」について図書館やインターネットなど利用して調べる。授業後は自分の考えをまとめる。</p>	衣川 隆
第13回	<p>正岡子規概論——病と文学——</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 正岡子規について説明する。 2. 文学と病の関係について説明する。不治の病で床に伏し、激痛と闘いながらも森羅万象への好奇心を持ち続けた日々の記録を読む。 3. 正岡子規の俳句や短歌、文章の革新運動の表現を探っていく。 4. まとめシートに記入する。 <p>※事前学習で正岡子規と「門」について図書館やインターネットなど利用して調べる。授業後は自分の考えをまとめる。</p>	衣川 隆
第14回	<p>アラン概論 ——幸福論——</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. アランについて説明する 2. 「詩的、文学的、そして哲学的」な幸福論はについて説明する。 3. 「アラン：幸福論」が教えてくれるものとは何か？ 4. まとめシートに記入する。 <p>※事前学習で「アラン：幸福論」について図書館やインターネットなど利用して調べる。授業後は自分の考えをまとめる。</p>	衣川 隆

	<p>第15回</p> <p>前回の復習と文学がひらくもの ◎アランについての復習と「幸福論」を読んで自分はどう生きるかについて考える。</p> <p>◎レポート作成についての説明 【レポートの目的（到達目標）】 本レポートでは、講義を通じて以下の能力を身につけたかを確認する。</p> <p>多角的視点：医療対象を身体的・心理的・社会的側面やその背景から捉え、文学作品の中に生命の尊厳や倫理観を読み取れること。 洞察力：文学やその近接ジャンルにおける表現から、現代医療に通じる今日的な問題を抽出できること。 論理的構成力：講義内容を踏まえ、自らの考えを「論文形式」で論理的に記述できること。</p> <p>【課題内容】 授業で取り上げた文学作品の中から1作品を選択し、以下のテーマでレポート（A3用紙）にまとめる。</p> <p>テーマ：「この作品を読み、私はどう生きるかー文学と人生の接点から考えるー」</p> <p>内容：作品の分析にとどまらず、人間の背景とその関わりについて自身の倫理観や死生観を交え、普遍的な視点で論じること。</p> <p>※事前学習で「文学がひらくもの」について図書館やインターネットなど利用して調べる。授業後は自分の考えをまとめる。</p>	衣川 隆
科目の目的	<p>時代を超越した文学の中には、人生の学びともなりこころの基軸ともなる。そこには光と影、生と死、愛と憎しみ、病と祈り、不安と恐怖、歓喜とその裏にあるものなど、言葉の中に表現されたテーマは実に多様であり、その表現方法も種々様々である。</p> <p>本科目の文学では、近代から現代までを取り上げ、俳句・短歌・詩・小説といったさまざまな文学のジャンルの魅力やその表現の奥にある深さや豊かさを理解し、生涯にわたって基軸になるような宝となりうるかもしれない文学的教養の扉を開いて行く。</p> <p>そして文学の世界を理解するために、映画、アニメーション等といった様々な近接ジャンルについても理解を深め、人間の創り出す物語とは何かという問題に向かい合う。</p> <p>一方で、病者の抱える苦悩や絶望といった内面的な問題を中心に置き、病者自らが記した小説・日記・俳句等から読み取り、それを医療従事者としてどのように理解し自らの医療行為に反映させることができるのかを考えることを目的とする。</p>	
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 人権を尊重し、高い倫理観をもって社会に貢献する姿勢。 2. チーム医療を実践するための、コミュニケーション能力と協調性。 3. 医療技術専門職としての基礎的知識と技術、及び社会人としての教養。 4. 医療技術分野の諸課題を見出し、科学的洞察による確かな判断ができる能力。 5. 生涯にわたって専門分野を探究し、その発展に貢献する意欲と姿勢。 	
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	知識・理解・表現	
関連科目	哲学、生命倫理、社会学、心理学入門	
成績評価方法・基準	期末レポート（100%）	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	<p>【準備学習の内容】 講義の理解を深め、自身の思考を広げるために、以下の予習・復習を継続すること。</p> <p>1. 授業前（予習）：テキストの精読と問いの抽出（60分）。指定されたテキスト（文学作品や資料）を事前に精読し、「心が動かされた箇所」や「疑問に思った点」をメモして講義に臨む。また医療や生命の尊厳といった視点から、作品が提示している「課題」を自分なりに探しておくことが重要である。</p> <p>②. 授業後（復習）：講義内容の再構築と内省（30分） 講義で提示された分析視点や他者の意見を踏まえ、自分の初期の読みがどう変化したかを振り返る。学期末のレポートに向け、毎回の講義で得た「自分なりのキーワード」をノートに整理しておくことを推奨する。</p>	
教科書	教科書：使用しない（講義資料は1週間前を目処にActive Academyを通して配布する。各自で印刷するか、パソコンを持参し講義資料を見るか各自で選ぶこと）。	
参考書	各テーマごとに講義資料を作成して配布する。	
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上の注意		

<p>アクティブ・ラーニングの実施</p>	<p>正しい知識の修得ではなく、正解のない議論（課題）を通して問題解決へのアプローチ方法を身につける。 具体的には、以下のことを講義に取り入れていく。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 学生は、授業を聞く以上の関わりをしていること 2. 情報の伝達より学生のスキルの育成に重きがおかれていること 3. 学生は高次の思考（分析、総合、評価）に関わっていること 4. 学生は活動（例：読む、議論する、書く）に関与していること 5. 学生が自分自身の態度や価値観を探求することに重きが置かれていること 6. 問題解決のために知識を使ったり、人に話したり書いたり発表したりすること
<p>ナンバリング</p>	<p>CBb-101</p>

講義科目名称： 人間と宗教

授業コード： 6M007

英文科目名称： Humans and Religion

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	2単位	選択
担当教員	担当者		
森 禎徳			

授業形態	講義 (15回)	担当者
授業計画	第1回 人間と宗教 なぜ人間は宗教を必要とするのか。人間にとっての「超越者」の意義を考える。	森 禎徳
	第2回 神話と人間 (1) 神々が「人間的に」ふるまう多神教の物語、まずはギリシャ神話の世界を概観し、神話に含まれる教訓を学ぶ。	森 禎徳
	第3回 神話と人間 (2) ギリシャ神話に続いて日本神話の世界に触れ、神話と実際の歴史がどのようにリンクしているのかを学ぶ。	森 禎徳
	第4回 世界宗教 (1) 「世界宗教」のうち、キリスト教とその起源であるユダヤ教 (旧約聖書) について学ぶ。	森 禎徳
	第5回 世界宗教 (2) イスラム教の起源と教義を学ぶとともに、現代の世界におけるイスラム教の状況について考える。	森 禎徳
	第6回 世界宗教 (3) 仏教が目指す「悟り」「解脱」とは何かを考えるとともに、現代の日本人と仏教のかかわりについて学ぶ。	森 禎徳
	第7回 新宗教とカルト 新宗教とは何かを学び、一部の宗教団体がカルト化していった経緯を知ることで正しい信仰のあり方を考える。	森 禎徳
	第8回 神の存在証明 中世から近代の哲学においては、神の存在を証明する試みが隆盛した。その歴史と証明構造を概観する。	森 禎徳
	第9回 神の存在証明批判 ヒュームの経験論とカントの批判哲学を中心に、神の存在証明に対する批判を概観する。	森 禎徳
	第10回 知性と宗教 聖書に見られる反知性主義、キリスト教による科学の弾圧の歴史を通して信仰と知性の関係を考える。	森 禎徳
	第11回 道徳と宗教 カントの『単なる理性の限界内における宗教』を出発点に、信仰と道徳、信仰と自由の関係について考える。	森 禎徳
	第12回 平和と宗教 十字軍の歴史を通して異教徒 (異文化) 間の相互理解の可能性と限界について考える。	森 禎徳
	第13回 ホスピスの歴史と思想 シシリー・ソンドースの生涯と思想をたどりながら、ホスピスの原点とホスピス運動の展開について考える。	森 禎徳
	第14回 アイデンティティと宗教 「宗教二世」問題を通して、宗教によって自らの生き方を選ぶ機会を奪われた人たちの思いを考える。	森 禎徳
	第15回 医療と宗教 宗教的信条に基づく輸血拒否の事例をもとに、信仰は生命に優先するのかを考える。	森 禎徳
科目の目的	宗教は私達の身近に存在する。多くの家庭には仏壇や神棚が置かれ、年中行事や冠婚葬祭も宗教により執り行われる。旅行などで各地に足を運ぶと、おおよそ神社仏閣、宗教施設が存在しない地域はない。その一方で、宗教戦争の様相を呈した民族紛争がニュースに登場することも多い。本講義においては、このように多くの相において人間にかかわりをもつ「宗教」とは何かについて考え、キリスト教を中心にその教義、歴史、さらに文化社会的側面について講述する。宗教理解は私達人	

	間の理解、さらに文化・社会の理解にも役立つだろう。また、医療と宗教のかかわりについても考える機会を設けたい。
到達目標	①宗教が人間にとって大きな意味を持っていることを知る。 ②宗教が人間の営みに対して時に有害な影響を行使したことも知る。 ③宗教と医療のあるべき関係について考えを深める。
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	倫理
関連科目	哲学 生命倫理
成績評価方法・基準	期末レポート（100%）
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	1コマ当たり4時間程度、講義内容の再確認と復習を行う。より深く学びたい受講生には、興味のある教典・聖典や、宗教に関連した文学作品などの読書に加えて、比較宗教学による文献の読解もお勧めする。授業中に参考文献や映画を紹介するので、気になった作品に触れてみてください。
教科書	教科書は使用しません。授業はパワーポイントを使って進行します。
参考書	授業中に必要に応じて紹介します。ただし、購入を強制するものではありません。
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照
履修条件・履修上の注意	集中力・注意力の減退につながるため、基本的に授業資料の配布は行いません。重要だと思ったことはノートに記録して復習に役立てるよう心がけてください。
アクティブ・ラーニングの実施	授業形態としての実施はなし。出席票での質問、口頭での質問は、毎回受けつけます。
ナンバリング	MB II-102

	<p>第14回 2.5次元ミュージカル 現代日本では、舞台芸術、アニメ、ゲームなどが、メディアの垣根を越え縦横に入り交じりつつあります。代表例として漫画「テニスの王子様」のアニメ、ゲーム、ミュージカル化を紹介します。また、二次創作と日本の著作権意識の源流について考察します。</p> <p>第15回 まとめ:ひろがる芸術の世界 (期末テスト) ボーカロイド初音ミクによる近松門左衛門作「曾根崎心中」の道行きのパフォーマンスを例にとりながら、新しいメディアと既存の文化との関係について考察します。これまでの授業について振り返り、ポイントを整理します。</p>	<p>東 晴美</p> <p>東 晴美</p>
科目の目的	<p>この授業では、芸術の楽しみ方について学びます。 まず、現代の芸術の楽しみ方について、「ことば」「表現の場」「ファン」「からだ」「メッセージ」をテーマに考えます。 次に、西洋とは異なる独自の発展をとげた日本の芸術を紹介します。 最後に、漫画、アニメ、ゲーム、ミュージカルなどのサブカルチャーの魅力について考えます。 具体例として、総合芸術といわれる舞台芸術を紹介します。これらのテーマを通して、人と社会に深い関心を持って、社会人としての教養を身につけます。</p>	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・舞台芸術を例に、芸術学の基本を学ぶ。 ・日本の伝統文化の特色を学ぶ。また、伝統文化が、日本の現代芸術に影響を与えていることを学ぶ。 ・サブカルチャーが、日本の現代芸術にとって重要な役割を果たしていることを学ぶ。 ・芸術を通して、人と社会に深い関心を持つ力を身につける。 	
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	人間性・思考・判断力	
関連科目	社会学	
成績評価方法・基準	授業中の小テスト (2回) 各20%、期末教場レポート20%、授業中リアクションペーパー40%	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	新聞、雑誌、テレビなどで紹介される舞台芸術や芸能に関する情報に関心を持つことがのぞましい。授業中のアンケートや授業後のレポートを提出に備えて1コマあたり4時間程度の学習をすることが望ましい。	
教科書	webポータルシステムにて講義資料をデータで配布(授業日前にデータを掲載、授業終了後1週間はダウンロード可)	
参考書	各回のテーマに関連する参考書を授業中に紹介する。	
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上の注意	各テーマと、自分が現在関心をもっていることと関連づけながら学ぶことを求めます。	
アクティブ・ラーニングの実施	発見学習 (教員が示した芸術の事例をもとに、自分が親しんでる芸術ジャンルの特色を発見し考察する)	
ナンバリング	MB II-103	

講義科目名称： 哲学

授業コード： 6M009

英文科目名称： Philosophy

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	2単位	選択
担当教員	担当者		
赤羽 悠			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2026年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	倫理	
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	MB II -201	

講義科目名称： 生命倫理

授業コード： 6M010

英文科目名称： Bioethics

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
峯村 優一			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2026年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	倫理	
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	MB II -202	

講義科目名称： 法学（日本国憲法含む）

授業コード： 6M011

英文科目名称： Law (Including the Constitution of Japan)

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	2単位	選択
担当教員	担当者		
道下 洋夫			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2026年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	人間性・思考・判断力	
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	MBIII-201	

講義科目名称： 社会学

授業コード： 6M012

英文科目名称： Sociology

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	2単位	選択
担当教員	担当者		
沼田 翔二郎			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2026年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	人間性・思考・判断力	
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	MBIII-202	

講義科目名称： 生活文化と医療

授業コード： 6M013

英文科目名称： Culture and Medicine in Life

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	2単位	選択
担当教員	担当者		
鈴木 英恵			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2026年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	知識・理解・実践能力	
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	MBIII-203	

講義科目名称： 多文化理解

授業コード： 6M014

英文科目名称： Intercultural Understanding

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	2単位	選択
担当教員	担当者		
徳永 慎也			

授業形態	講義 (15回)	担当者
授業計画	第1回 多文化理解に関する用語の整理 多文化理解について学ぶ際に必要となる用語を学ぶ。 講義の最後10分程度で講義内容について質問・コメントなどを提出。 コメントへの回答や講評は、次回授業の始めに実施する。	徳永 慎也
	第2回 アメリカ型多文化主義① アメリカ型多文化主義について学ぶ。 講義の最後10分程度で講義内容について質問・コメントなどを提出。 コメントへの回答や講評は、次回授業の始めに実施する。	徳永 慎也
	第3回 アメリカ型多文化主義② アメリカ型多文化主義について学ぶ。 講義の最後10分程度で講義内容について質問・コメントなどを提出。 コメントへの回答や講評は、次回授業の始めに実施する。	徳永 慎也
	第4回 アメリカ型多文化主義③ アメリカ型多文化主義について学ぶ。 講義の最後10分程度で講義内容について質問・コメントなどを提出。 コメントへの回答や講評は、次回授業の始めに実施する。	徳永 慎也
	第5回 アメリカ型多文化主義④ アメリカ型多文化主義について学ぶ。 講義の最後10分程度で講義内容について質問・コメントなどを提出。 コメントへの回答や講評は、次回授業の始めに実施する。	徳永 慎也
	第6回 アメリカ型多文化主義⑤ アメリカ型多文化主義について学ぶ。 講義の最後10分程度で講義内容について質問・コメントなどを提出。 コメントへの回答や講評は、次回授業の始めに実施する。	徳永 慎也
	第7回 アメリカ型多文化主義⑥ アメリカ型多文化主義について学ぶ。 講義の最後10分程度で講義内容について質問・コメントなどを提出。 コメントへの回答や講評は、次回授業の始めに実施する。	徳永 慎也
	第8回 エスニシティ エスニシティについて学ぶ。 講義の最後10分程度で講義内容について質問・コメントなどを提出。 コメントへの回答や講評は、次回授業の始めに実施する。	徳永 慎也
	第9回 性・ジェンダー① 性・ジェンダーについて学ぶ。 講義の最後10分程度で講義内容について質問・コメントなどを提出。 コメントへの回答や講評は、次回授業の始めに実施する。	徳永 慎也
	第10回 性・ジェンダー② 性・ジェンダーについて学ぶ。 講義の最後10分程度で講義内容について質問・コメントなどを提出。 コメントへの回答や講評は、次回授業の始めに実施する。	徳永 慎也
	第11回 教育・職業・社会経済的屬性 教育・職業・社会経済的屬性について学ぶ。 講義の最後10分程度で講義内容について質問・コメントなどを提出。 コメントへの回答や講評は、次回授業の始めに実施する。 期末レポート課題の提示と説明。	徳永 慎也
	第12回 宗教 宗教について学ぶ。 講義の最後10分程度で講義内容について質問・コメントなどを提出。 コメントへの回答や講評は、次回授業の始めに実施する。	徳永 慎也

	第13回 障害者 障害者について学ぶ。 講義の最後10分程度で講義内容について質問・コメントなどを提出。 コメントへの回答や講評は、次回授業の始めに実施する。	徳永 慎也
	第14回 年齢・世代 年齢・世代について学ぶ。 講義の最後10分程度で講義内容について質問・コメントなどを提出。 コメントへの回答や講評は、次回授業の始めに実施する。	徳永 慎也
	第15回 第2回から第14回講義の復習（重要事項の確認） 第2回から第14回講義の復習（重要事項の確認） 多文化理解を学ぶ意義を再度確認する。	徳永 慎也
科目の目的	現代社会において、多様な価値観や文化的背景を持つ人々と相互理解を深めることはますます重要となっている。本科目では、異なる地域や言語、社会的価値観、文化的特性を持つ人々とのコミュニケーションを円滑に行うための基盤となる多文化や多様性の重要性について学ぶ。また、個人および集団間の相互関係において、適切な社会文化的背景の理解と道徳観を養い、自分とは異なる他者を理解し尊重する姿勢を培う。	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・多文化や多様性を学ぶ意義について、自ら説明することができる。 ・異なる文化的背景や社会的価値観を持つ人々についての基礎的な知識を理解し、多文化や多様性について、具体例を挙げて、自ら説明することができる。 ・多様な価値観が共存する社会において、道徳的・倫理的観点から適切な判断を下し、日常生活においてその姿勢を実践できる。 	
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	人間性・思考・判断力	
関連科目	英語リーディング 医療英語リーディング 英語会話 医療英語会話 英語アカデミックリーディング・ライティング 国際コミュニケーション英語 中国語 コリア語 ドイツ語 ポルトガル語	
成績評価方法・基準	期末レポート70% 毎回のコメントペーパー30%	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	本科目は、90時間の学習が必要な内容で構成されている。授業は30時間（15コマ）となるため、60時間分相当の準備学習（予習と復習）が必要となる。 予習：講義資料を読んで、疑問点や自分の意見をまとめておく。 復習：講義で得た知識を基に興味を広げ、文献やニュースを活用してさらに理解を深める。	
教科書	指定なし：講義資料を配付する	
参考書	指定なし：講義内で適宜紹介する	
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上の注意	私語厳禁（グループディスカッションなど、教員から指示がある場合を除く）。出席はパスワードを用いて登録してもらいますが、コメントペーパーを用いて教員も確認する。	
アクティブ・ラーニングの実施	グループディスカッションを行う。 授業後のコメントシートで「今日の学び・疑問・次の課題」等を記入。	
ナンバリング	MBIII-101	

講義科目名称： 経済学

授業コード： 6M015

英文科目名称： Economics

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	2単位	選択
担当教員	担当者		
飯島 正義			

授業形態	講義 (15回)	担当者
授業計画	<p>第1回 経済学で何を学ぶのか 経済学を学ぶことの意義、授業内容と進め方、成績評価等について説明します。</p> <p>第2回 経済学の歩み アダム・スミスからケインズまでの流れを取り上げます。</p> <p>第3回 国民経済の仕組み 経済の3主体（家計・企業・政府）とその関係について説明します。</p> <p>第4回 市場メカニズム 市場メカニズムとは何か、市場メカニズムのメリット・デメリットについて説明します。</p> <p>第5回 政府の役割 市場の失敗の是正について説明します。</p> <p>第6回 景気循環 景気循環とは何か、日本の「景気指標」を読んでいきます。</p> <p>第7回 物価 物価とは何か、物価指数、インフレ・デフレと私たちの生活について説明します。</p> <p>第8回 金融政策と経済の安定化 金利政策、公開市場操作、預金準備率操作、ゼロ金利政策、金融の量的緩和等について説明します。</p> <p>第9回 財政政策と経済の安定化 税制、財政支出、日本の財政状況について説明します。</p> <p>第10回 国内総生産 (GDP) (1) 国内総生産とは何か、三面等価の原則について説明します。</p> <p>第11回 国内総生産 (GDP) (2) 「国民経済計算」(内閣府)のデータを読んで日本のGDPの状況を確認します。</p> <p>第12回 経済成長 経済成長とは何か、成長の要因、日本の経済成長の推移を確認します。</p> <p>第13回 貿易・国際収支 貿易に関する理論、国際収支とは何か、日本の貿易・国際収支の現状を「国際収支表」で確認します。</p> <p>第14回 為替レート 為替レートとは何か、為替レートの変動と日本経済への影響について説明します。</p> <p>第15回 少子高齢化と日本経済 少子高齢化とは何か、少子高齢化が今後の日本経済にどのような影響を及ぼすのかについて説明します。</p>	<p>飯島 正義</p> <p>飯島 正義</p> <p>飯島 正義</p> <p>飯島 正義</p> <p>飯島 正義</p> <p>飯島 正義</p> <p>飯島 正義</p> <p>飯島 正義</p> <p>飯島 正義</p> <p>飯島 正義</p> <p>飯島 正義</p> <p>飯島 正義</p> <p>飯島 正義</p> <p>飯島 正義</p> <p>飯島 正義</p> <p>飯島 正義</p>
科目の目的	経済学は、私たちの経済生活の中に存在する本質を明らかにすることを目的とした学問です。したがって、経済学を学ぶということは、私たちの経済生活そのものを知ることにつながります。	
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 経済学の基礎知識を身につけることができます。 2. 経済学の基礎知識を使って、現実の経済ニュース等を理解できるようになります。 	
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	人間性・思考・判断力	
関連科目	特にありません。	
成績評価方法・基準	授業内における復習プリント40%（3～4回、授業資料参照可）、定期試験60%で総合的に評価します。 なお、復習プリントのプリントは授業時に回収し、次週返却します。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	授業資料で前回の授業内容を復習するとともに、次回の授業内容をシラバス、Web上の資料で大筋をつかんでおいて下さい。その際、授業で紹介する参考文献等を利用して1コマあたり4時間程度を復習・予習にあてて下さい。	
教科書	教科書は使用しません。授業ではWebに添付する授業資料を使います。	
参考書	必要に応じて紹介します。	
オフィス・アワー	Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー 参照	

国家試験出題基準	Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準 参照
履修条件・履修上の注意	授業資料をWeb上に添付しますので、各自印刷して持参して下さい。定期試験時には印刷された授業資料のみを持ち込み可とします。なお、資料の添付期間は資料を添付してから1か月間です。
アクティブ・ラーニングの実施	実施なし。
ナンバリング	MBIII-102

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
衣川 隆	岩城 翔平	一柳 大輔	

授業形態	講義8回と授業内レポート、地域ボランティア活動実習6回と体験レポート1回。		担当者
授業計画	第1回	<p>ガイダンス、ボランティアの現状、ボランティアの歴史について本講義の目的、授業の流れ等ガイダンスの説明。日本におけるボランティアの現状、ボランティアの定義、日本・欧米におけるボランティアの歴史について説明する。 また「民生委員・児童委員」「NPO」といった多様なボランティアの歴史を説明する。</p> <p>成績評価方法・基準について説明する。 また「体験レポート」についてのフィードバックは、授業において匿名化したうえで紹介する。個別のフィードバックは行わない。</p>	一柳 大輔
	第2回	<p>ボランティアに関する情報収集、ボランティアセンターの役割についてボランティア活動をスタートするにあたり、必要となる情報収集の方法について説明する。ボランティアセンターの組織や活動内容について説明し、各市区町村に設置されているボランティアセンターの活用方法を理解する。また、申請までのロールプレイングを行い、ボランティア参加までの流れを理解する。</p>	一柳 大輔
	第3回	<p>寄付と還元について 共同募金(赤い羽根共同募金)を例に寄付文化とその還元について説明する。寄付がどのようなかたちで使われているか、実際の事業を紹介し理解を深める。</p>	一柳 大輔
	第4回	<p>性的マイノリティとボランティア活動について 性的マイノリティに関連する団体の事業を紹介する。また、居場所事業・相談支援事業・啓発活動に関する紹介を通してボランティアとしてどう関わられるかを考察する。また、「アライ(支援者)」として性的マイノリティの方との交流を支援的側面に特化して説明する。</p>	一柳 大輔
	第5回	<p>生活課題を抱えた方への支援とボランティア活動について “複合的な課題”、“重層的な課題”等の生活課題を抱えている地域住民の事例紹介、そういった住民を対象とした居場所事業やコーディネート実践の紹介を通してボランティアとしてどう関わられるかを考察する。</p>	一柳 大輔
	第6回	<p>“ごみ屋敷”とボランティアについて ごみ屋敷の住人の多くは複合的な課題を抱えており、支援のあり方は非常に複雑であり、様々な専門職やボランティアが関わるケースが多い。ごみ屋敷の住人の支援において、ボランティアがどのように関わるかという視点で実際の事例をもとに説明をする。</p>	一柳 大輔
	第7回	<p>災害現場における災害ボランティアセンターの役割、災害ボランティアの活動について 我が国では、毎年、各地で自然災害が発生しておりこれらにより多くの人命や財産等が失われている。災害が発生した際に設置される災害ボランティアセンターの役割と災害ボランティアの活動について説明し、医療専門職としてのかかわり方を考察する。</p>	一柳 大輔
	第8回	<p>ボランティア体験の実践紹介、ボランティアに関する企業の取り組みの紹介 講義をとおした学びとボランティア体験レポートの発表を行う。様々な背景を持つ学生同士で知見を共有、考察する。また、民間企業の社会貢献活動の取り組みを紹介し、卒後の専門職キャリアを歩むうえでのボランティア活動の捉え方を考察する。</p>	一柳 大輔
	第9回	<p>ボランティアの実践 ボランティア活動と活動日記を作成。</p>	衣川 隆、 岩城 翔平
	第10回	<p>ボランティアの実践 ボランティア活動と活動日記を作成。</p>	衣川 隆、 岩城 翔平
	第11回	<p>ボランティアの実践 ボランティア活動と活動日記を作成。</p>	衣川 隆、 岩城 翔平
	第12回	<p>ボランティアの実践 ボランティア活動と活動日記を作成。</p>	衣川 隆、 岩城 翔平
	第13回	<p>ボランティアの実践 ボランティア活動と活動日記を作成。</p>	衣川 隆、 岩城 翔平
	第14回	<p>ボランティアの実践 ボランティア活動と活動日記を作成。</p>	衣川 隆、 岩城 翔平

	第15回 ボランティアの実践 ボランティア活動と活動日記を作成。	衣川 隆、 岩城 翔平
科目の目的	1. ボランティア活動の多様なあり方を理解する。 2. ボランティアに関連するステークホルダーを知り、他者を尊重し自身のかかわり方を考察する。 3. 医療専門職として地域社会に主体的かつ創造的に貢献できるようになる。	
到達目標	1. ボランティア活動の基本概念はもとより、歴史や現在の多様なニーズを理解し、ボランティアの意義を説明できる。 2. 実践や体験を通して、地域社会のニーズやボランティア活動について説明できる。 3. ボランティア・市民活動の実践を振り返り、医療専門職としての職業観の確立の基礎作りに寄与できる。	
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	人間の尊厳と基本的人権、探求力と問題解決力、専門知識と基本的技術、多職種協働と地域社会活動の促進	
関連科目	なし	
成績評価方法・基準	授業内レポート(60%)・ボランティア体験レポート(40%) 【評価のポイント】 ・授業内レポート：学習内容の定着度合いがどの程度であったかを計測する。具体的には、授業回を取り上げ、内容の要約が適切か、重要キーワードの意味を理解できているか、考察がよく吟味され独自性のあるものか。 ・ボランティア体験レポート：主体性であるか(個人で完結するレポートは低い評価、様々なステークホルダーと関わる内容は高い評価をする傾向にある)、ボランティアによる学びの内容が詳細に記述されているか、考察が吟味され独自性のあるものか。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	個人として、または医療専門職として、どのようにボランティアと関わるかを自分なりに整理し、言語化できるようにしておくこと。テーマに沿って自分の気になるトピックスを学習しておくこと。 準備学習に必要な時間の目安：1コマあたり2時間。	
教科書	使用しない	
参考書	なし	
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施	体験学習、教室内での演習	
ナンバリング	OBc-103	

講義科目名称： 群馬の探求

授業コード： 6M017

英文科目名称： Exploring Gunma

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
星野 修平			

授業形態	講義 (8回)	担当者
授業計画	<p>第1回 『群馬の探求』 概論 『上毛かるた』 の創設と文化的意義</p> <p>第2回 「上毛かるた」と読み解く群馬県の主要テーマ① 日本の近代化を支えた絹産業</p> <p>第3回 「上毛かるた」と読み解く群馬県の主要テーマ② 豊かな自然と景勝地</p> <p>第4回 「上毛かるた」と読み解く群馬県の主要テーマ③ 歴史と文化遺産</p> <p>第5回 「上毛かるた」と読み解く群馬県の主要テーマ④ 群馬を形作った人物</p> <p>第6回 「上毛かるた」と読み解く群馬県の主要テーマ⑤ 県民の気質と暮らし</p> <p>第7回 群馬の保健・医療・福祉 群馬の医療と支える国・県・市町村</p> <p>第8回 『群馬の探求』 のまとめ 『上毛かるた』 と巡る群馬の現在・そして未来の創造</p>	<p>星野 修平</p> <p>星野 修平</p> <p>星野 修平</p> <p>星野 修平</p> <p>星野 修平</p> <p>星野 修平</p> <p>星野 修平</p> <p>星野 修平</p>
科目の目的	群馬パース大学のある群馬県は、豊かな自然に囲まれ、多くのアウトドア施設、観光資源、温泉、史跡、歴史的建造物など、様々な文化と歴史と共に歩んできた。また群馬県民は古くから「上毛かるた」と共に、その歴史や文化、人々の生活を知り、群馬の魅力と地域の特性、人との関わりを大切にしてきた。この科目では、群馬県の歴史、文化、経済、社会などを多角的に探求し、群馬の生活圏で生きる人々の県民性と保健医療を提供する医療体制について学ぶ。	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・群馬県の歴史・文化・経済・社会の概要について説明できる。 ・群馬県の人と地域の特色について説明できる。 ・群馬県の健康・医療・福祉の概要について説明できる。 	
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	関心・意欲	
関連科目	コミュニケーション学入門、社会学、生活文化と医療、多文化理解、経済学、環境学、公衆衛生学、社会福祉・地域サービス論	
成績評価方法・基準	<p>演習課題 (50%) ・課題レポート (50%)</p> <p>*各回の授業では、授業の最後に提出課題があります。提出された課題についてのコメント等は、次回の授業でまとめて行います。</p> <p>*この授業のレポート課題については、講義の中で解説します。また、提出されたレポート課題については、成績判定後に、その概要を全体総括として公表します。</p>	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	本科目は7.5コマ (15時間) の講義科目のため、30時間分の準備学習時間 (1 コマあたり4 時間 (実時間数180分)) が必要であり、事前学習 (90分) ・事後学習 (90分) が目安となる。	
教科書	使用しない	
参考書	<ul style="list-style-type: none"> ・「上毛かるた」で見つける群馬のすがた：知れば、もっとぐんまが好きになる！ 群馬県 (2010/3/1) ・上毛かるたはカタル 渡邊 俊著 Booko出版 (2023/12/19) ・ガイドマップ「上毛かるた」ゆかりの地文化めぐり 群馬県 (2011/3/1) ・手島仁の「群馬学」講座-人物100話 手島仁著 上毛新聞社 (2015/2/6) ・大学的群馬ガイド こだわりの歩き方 高崎経済大学地域政策学部 観光政策学科編 昭和堂 (2024/3/18) 	
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上の注意	授業中に行う演習課題では、PCを使用しオンライン教材を利用するため、PC (Windows またはOS X) タブレット等を持参してください。	
アクティブ・ラーニングの実施	本科目では、学生の主体的な学習方法であるアクティブ・ラーニングを活用したオンライン教材等を使用します。	
ナンバリング	MBIII-104	

講義科目名称： 環境学

授業コード： 6M018

英文科目名称： Environmental Studies

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	2単位	選択
担当教員	担当者		
西菌 大実			

授業形態	講義 (15回)	担当者
授業計画	第1回 環境とは 環境問題の範囲と背景、生活を支える資源と持続可能社会、SDGs 第2回 環境問題の変遷 産業革命、公害問題から地球環境問題へ 第3回 典型七公害 大気・水・土壌の汚染、四大公害病、イタイイタイ病を事例として 第4回 有害物質による環境汚染の国際的な拡がり 水俣条約を事例として 第5回 水質汚濁 (I) 水質汚濁の原因、生活排水、酸素要求量 第6回 水質汚濁 (II) 水質汚濁の対策、下水道と浄化槽、多自然川づくり 第7回 水質汚濁 (III) 宮崎駿の作品にみる水質汚濁と川の再生 第8回 廃棄物問題と循環型社会への流れ 一般廃棄物・産業廃棄物・感染性廃棄物、3R 第9回 オゾン層破壊 地球環境問題の顕在化、フロンによるオゾン層破壊 第10回 紫外線対策 紫外線の人体への影響、オーストラリアの対策を事例として 第11回 気候変動 (I) 温室効果ガス、気候変動の状況と将来予測 第12回 気候変動 (II) 気候変動の具体的な影響、豪雨・熱中症・感染症等の増加 第13回 気候変動 (III) 予防原則、先進国・途上国の責任、緩和、パリ協定 第14回 エネルギー問題と低炭素社会への流れ 化石燃料からの脱却、再生可能エネルギー 第15回 持続可能社会の構築をめざして 低炭素社会と循環型社会を具体化した未来社会の在り方を考える	西菌 大実 西菌 大実 西菌 大実 西菌 大実 西菌 大実 西菌 大実 西菌 大実 西菌 大実 西菌 大実 西菌 大実 西菌 大実 西菌 大実 西菌 大実 西菌 大実 西菌 大実
科目の目的	環境問題への認識は、現代社会を生きていくために不可欠の要素である。また、疾病の発症するバックグラウンドとして、その時代の環境が色濃く反映している。環境理解を深めることによって、社会人としてよりよく生き、適切な保健医療サービスを提供できるようになることを目指す。	
到達目標	1. 環境問題の背景と発生原因を理解する 2. 公害問題、地球環境問題とその対策の考え方を理解する 3. 資源・エネルギーの適切な利用と低炭素社会・循環型社会・持続可能社会構築への認識を持つ	
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	人間性・思考・判断力	
関連科目	特になし	
成績評価方法・基準	定期試験 (100%)	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	講義資料をもとに授業該当箇所の予習・復習 (自筆ノートの整備) を行う。準備学習に必要な学習時間の目安は1コマ当たり4時間。	
教科書	使用しない (プリント配布)	
参考書	新版 新しい環境科学 鈴木孝弘 駿河台出版社 ISBN978-4-411-04039-8C3040	
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上の注意	特になし	
アクティブ・ラー	教室内でのグループ・ディスカッション	

ニングの実施	
ナンバリング	MBIV-101

講義科目名称： 基礎生物学

授業コード： 6M019

英文科目名称： Basic Biology

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
嶋田 淳子			

授業形態	講義 (8回)	担当者
授業計画	<p>第1回 ヒトへの進化 ①生命の誕生と進化、ヒトへの進化について概説 ②生命現象の普遍的な特質、一様性、多様性、連続性について ③生命活動に主要な役割を持つ構成成分(1) ・水の重要性 ・タンパク質</p> <p>第2回 生命を支える物質 生命活動に主要な役割を持つ構成成分 ・炭水化物(糖質) ・脂質 ・核酸 ・無機質(無機塩類)</p> <p>第3回～4回 生命の単位 ウイルス、原核細胞(細菌類を含む)、真核細胞 ②真核細胞の構造と機能 ・細胞膜の構造と機能 ・細胞質基質の役割 ・核の構造と機能 ・粗面小胞体の構造と機能 ・滑面小胞体の構造と機能 ・ゴルジ体の構造と機能 ・リソソーム ・ペルオキシソーム ・ミトコンドリア ・色素体 ・細胞骨格の種類とその役割</p> <p>第5回 細胞内小器官 核、小胞体、ゴルジ装置、ミトコンドリア、リソソーム ②DNAの変異と修復 ③遺伝情報発現のしくみ</p> <p>第6回 受精、発生、分化(1) 無性生殖と有性生殖、減数分裂 ②受精 ③初期発生と分化のしくみ ④形態形成とアポトーシス</p> <p>第7回 受精、発生、分化(2) 受精、発生</p> <p>第8回 ヒトの染色体と遺伝子、メンデルの法則と形質の遺伝 ヒトの染色体と遺伝子 ②メンデルの法則と形質の遺伝 ③遺伝病の原因―遺伝子変異</p>	<p>嶋田 淳子</p> <p>嶋田 淳子</p> <p>嶋田 淳子</p> <p>嶋田 淳子</p> <p>嶋田 淳子</p> <p>嶋田 淳子</p> <p>嶋田 淳子</p>
科目の目的	医療系専門職の専門課程の学習を理解するために必要な生命現象の基礎知識を深めることを目的とする。特に基礎生物学では生体を構成する基本単位である細胞について、その構造と機能、細胞の増殖と生殖細胞の形成などを学び、さらに生命の連続性を担保する受精、発生、形質の遺伝について知識を深めることを目的とする。	
到達目標	ヒトの生命活動の全体像を理解するために次の事項を理解し、説明できる力を身につける。 ①生命の起源からヒトへの進化、生命現象の特質について理解する。 ②細胞構成成分である水の重要性を理解し、タンパク質、糖、脂質、核酸、無機質について説明できる ③細胞の構造、細胞構成成分、細胞内小器官の働きや仕組みを理解する ④体細胞分裂と減数分裂を図示して詳細に説明できる。 ⑤生殖、発生、分化のしくみ、形態形成について理解する。 ⑥ヒトの染色体と遺伝子、メンデルの法則とヒト形質の遺伝について説明できる。	
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	知識・理解・実践能力	
関連科目	化学、解剖学Ⅰ、生理学Ⅰ、生化学	
成績評価方法・基準	定期試験の成績(80%)及び講義終了時に提出するリアクションペーパー(20%)により評価する。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	各回ともシラバスの講義内容に一致する高等学校生物の教科書または補助教材を1時間程度復習しておくこと。特に、授業範囲の専門用語についてわからないときには生物学事典(岩波書店、東京化学同人社など)で調べ、理解しておくこと。	

教科書	「人の生命科学」 佐々木史江、堀口 毅、岸 邦和、西川純雄 (医歯薬出版株式会社)
参考書	1. 「Essential細胞生物学原書第4版」中村桂子、松原謙一 監訳 (南工堂) 2. アメリカ版 大学生物学の教科書1巻～3巻」 D. サダヴァ他著 ブルー--バックス (講談社) 3. 「基礎から学ぶ生物学・細胞生物学」 和田 勝 (羊土社)
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照
履修条件・履修上の注意	基礎生物学分野の研究が医療に生かされている現状、ヒトの遺伝などを理解するために、教科書、講義資料等で予習後、履修することが望ましい。
アクティブ・ラーニングの実施	授業の中でグループワークを行う。
ナンバリング	MBIV-102

講義科目名称： 生物学

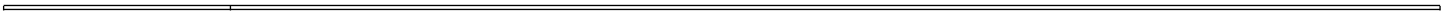
授業コード： 6M020

英文科目名称： Biology

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
嶋田 淳子			

授業形態	講義 (8回)	担当者
授業計画	<p>第1回・2回 遺伝子の転写・翻訳 ①遺伝子の転写 ②遺伝子の翻訳 ③原核生物と真核生物における遺伝情報発現コントロール ④エピジェネティクス</p> <p>第3回・4回 遺伝子の複製、エネルギー代謝 ①遺伝子の複製 ②染色体の分配 ③染色体異常 ④遺伝病 ⑤細胞周期</p> <p>第5回・6回 がんとかん遺伝子 ①がんの原因 ②がん遺伝子とかん抑制遺伝子</p> <p>第7回・8回 細胞科学の先端研究と医療への応用 ①オミックス解析の現状と課題 ②細胞内タンパク質の再利用 ・ユビキチン-プロテアソーム系 ・オートファジー ③iPS細胞 基礎研究と応用研究の進捗状況 ④細胞分裂の限界と老化</p>	<p>嶋田 淳子</p> <p>嶋田 淳子</p> <p>嶋田 淳子</p> <p>嶋田 淳子</p>
科目の目的	<p>高等学校「生物基礎」履修済みを前提に、保健医療の専門職として、先進・高度化しつつある専門領域の学習を理解するために必要な生命科学の基礎知識を深めることを目的とする。本講義では、基礎生物学で学んだ知識をベースに、生命活動を支えるエネルギー獲得、真核細胞のDNA複製や遺伝子の情報発現、情報発現の調節などを詳しく学ぶ。また、ヒトの遺伝病、先天異常について学ぶ。さらに医療分野に直接関連する生物学分野の研究進捗状況について理解する。</p>	
到達目標	<p>基礎生物学の学習内容を基礎として次の事項を理解し、説明できる力を身につける。 ①真核細胞におけるDNAの複製、遺伝情報発現、発現調節、DNAの変異などについて知識を深める。 ②ヒトにおける染色体異常、および遺伝病について学び、説明できる。 ③がんの原因、がん遺伝子、がん抑制遺伝子について学ぶ。 ④細胞科学の先端基礎研究と医療分野との関連について理解し、説明できる力を身につける。</p>	
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	知識・理解・実践能力	
関連科目	基礎生物学、基礎化学、解剖学Ⅰ、生理学Ⅰ、生化学	
成績評価方法・基準	定期試験の成績 (90%) 及び講義終了時に提出するリアクションペーパー (10%) により評価する。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	各回ともシラバスの講義内容に一致する高等学校生物の教科書または補助教材を1時間程度復習しておくこと。特に、授業範囲の専門用語についてわからないときには生物学事典(岩波書店、東京化学同人社など)で調べ、理解しておくこと。	
教科書	「人の生命科学」 佐々木 史江、堀口 毅、岸 邦和、西川 純雄 (医歯薬出版株式会社)	
参考書	<p>1. 「Essential細胞生物学原書第4版」 中村桂子、松原謙一 監訳 (南工堂)</p> <p>2. アメリカ版 大学生物学の教科書1巻～3巻」 D. サダヴァ他著 ブルーバックス (講談社)</p> <p>3. 「基礎から学ぶ生物学・細胞生物学」 和田 勝 (羊土社)</p>	
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」 参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」 参照	
履修条件・履修上の注意	基礎生物学を履修していることが望ましい。	
アクティブ・ラーニングの実施	授業の中でグループワークを行う。	
ナンバリング	MBIV-103	



講義科目名称： 基礎数学

授業コード： 6M021

英文科目名称： Basic Mathematics

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
井上 浩一			

授業形態	講義 (8回)	担当者
授業計画	<p>第1回 数と式 展開・因数分解を復習する。</p> <p>第2回 方程式と不等式 1次不等式, 2次方程式の復習をする。</p> <p>第3回 2次関数 2次関数とそのグラフ, 2次関数の最大・最小, 2次関数のグラフと2次方程式・2次不等式の関係性を復習する。</p> <p>第4回 図形と計量 三角比, 正弦定理と余弦定理, 図形の計量を復習する。</p> <p>第5回 個数の処理 順列, 組合せを復習する。</p> <p>第6回 確率 事象と確率, 確率の性質, 反復試行の確率, 条件つき確率を復習する。</p> <p>第7回 論理と命題 集合とその要素の個数, 命題と条件, 逆, 裏, 対偶を復習する。</p> <p>第8回 データの分析 データの整理と特徴的な値(平均, 分散, 相関係数など)を復習する。</p>	井上 浩一 井上 浩一 井上 浩一 井上 浩一 井上 浩一 井上 浩一 井上 浩一 井上 浩一
科目の目的	<p>高校数学の基礎を復習し、数学の各分野の概念を再確認し、それを医療を含む生活での現象に結びつけて応用するセンスと技能を伸ばし、将来、医療従事者として数理現象を見出し、定量的に表現し、その上で分析、評価するための基礎的な能力を磨く。具体的には、数と式、方程式と不等式、二次関数、図形と軽量、場合の数と確率、論理と命題、データの分析について学ぶ。</p>	
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 基礎的な数学の概念の復習をする。 2. 数学の概念や道具を自力で扱えるようにする。 3. 定量的なものごとを評価するセンスを磨く。 	
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	知識・理解・実践能力	
関連科目	基礎統計学, 物理学, 化学, 情報処理, データサイエンス	
成績評価方法・基準	筆記試験 (90%) + 小テスト (10%)	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	<ul style="list-style-type: none"> ・高校数学の教科書の相当部分を読んでおく。(30分程度) ・プリントや問題集の問題を解く。(90分程度) 	
教科書	<p>教科書：特になし</p> <p>毎回、講義内容のプリントをActive Academyで配布する</p> <p>配布期間：前回授業翌日から当該日まで</p> <p>持参方法：各自印刷して授業に持参すること</p>	
参考書	高校数学IAの教科書	
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施	実施しない	
ナンバリング	MBIV-104	

講義科目名称： 数学

授業コード： 6M022

英文科目名称： Mathematics

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
井上 浩一			

授業形態	講義 (8回)	担当者
授業計画	<p>第1回 三角関数 一般角と弧度法, 三角関数の加法定理, 三角関数の合成, 和と積の変換</p> <p>第2回 複素数 複素数の導入と計算方法, 複素共役, 剰余の定理, 因数定理</p> <p>第3回 指数関数と対数関数 指数法則, 実数のべき, 対数の導入, 対数法則, 底の変換公式</p> <p>第4回 ベクトルと行列 ベクトル・行列の導入, 基本的な性質</p> <p>第5回 微分1 微分の定義, 整式の微分, 極大値・極小値</p> <p>第6回 微分2 積・商の微分, 合成関数の微分, 三角関数・指数関数・対数関数の微分</p> <p>第7回 積分1 積分の定義, 整式の積分, 図形の面積</p> <p>第8回 積分2 置換積分, 部分積分, 三角関数・指数関数・対数関数の積分, 微分方程式</p>	井上 浩一 井上 浩一 井上 浩一 井上 浩一 井上 浩一 井上 浩一 井上 浩一 井上 浩一
科目の目的	医療従事者には、個々の患者の生理的状態や疾病状態、患者集団の動向などを種々のデータによって定量的にとらえ、分析・評価する能力が求められる。また患者への治療・検査刺激の量的な理解と評価も重要である。本科目はそれらのための基礎的数学知識の確認に加えて、発展的な知識を身につけ、専門科目の円滑な理解につなぐことを目指す。具体的には、三角関数、複素数、指数関数、対数関数、ベクトルと行列、微分・積分(数ⅡⅢ)、微分方程式などについて学ぶ。	
到達目標	1. 医療や科学を学ぶためのやや進んだ数学的な知識と技能を学ぶ。 2. 数理現象を理解したり、評価したり、扱ったりする数学的なセンスを養う。	
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	知識・理解・実践能力	
関連科目	基礎数学, 物理学, 化学, 情報処理, データサイエンス	
成績評価方法・基準	レポート試験(90%) + 小テスト(10%)	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	<ul style="list-style-type: none"> ・高校数学の教科書の該当する部分を読んでおく。(30分程度) ・プリントや問題集の問題を解く。(90分程度) 	
教科書	教科書・参考書：特になし。 毎回、講義プリントをActive Academyで配布する。 配布期間：前回授業翌日から当該日まで 配布方法：各自印刷して授業に持参すること	
参考書	高校数学ⅡBⅢの教科書	
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上の注意	講義「基礎数学」も履修することが望ましい。	
アクティブ・ラーニングの実施	実施しない	
ナンバリング	MBIV-105	

講義科目名称： 基礎化学

授業コード： 6M023

英文科目名称： Basic Chemistry

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
日置 英彰			

授業形態	講義 (8回)	担当者
授業計画	<p>第1回 化学の立場から医療を考える 歴史的に重要な化学物質を取り上げて、化学物質がどのように医療に貢献してきたか考える。</p> <p>第2回 物質の成り立ち 物質を構成している分子と原子の構造、原子軌道、分子軌道について解説する。</p> <p>第3回 元素と周期表 自然にはどのような元素があるのか、元素の分類と周期表の読み方について解説する。</p> <p>第4回 イオン イオンとイオン結合の原理、生体内でのイオンの役割について解説する。</p> <p>第5回 共有結合化合物と有機分子 生体を構成している物質のほとんどは有機分子である。有機分子の結合様式、特異的な形、一般的な性質について解説する。</p> <p>第6回 水の性質と物質の状態変化 ヒトの体の半分以上を占める水の性質と物質の三態（気体、液体、固体）について解説する。</p> <p>第7回 物質の変化における速度論と平衡論 物質の変化は、速度論と平衡論の両面から考察する必要がある。これらについて概説する。</p> <p>第8回 放射線と放射能 放射性崩壊と半減期、医療における放射性同位体の利用について解説する。</p>	<p>日置 英彰</p> <p>日置 英彰</p> <p>日置 英彰</p> <p>日置 英彰</p> <p>日置 英彰</p> <p>日置 英彰</p> <p>日置 英彰</p> <p>日置 英彰</p>
科目の目的	地球上に生きるすべての生命を持つものを物質から見れば、巨視的に見えるものから究極を突き詰めれば見えないものは原子や分子の世界まで行きつくことになる。本科目では、物質の科学であると言われる化学について、物質についての基本的な事項を高校化学の基礎にさかのぼり学び、専門課程で学修する内容を体系的に理解するための基礎的知識を身につけることを目的とする。	
到達目標	専門課程で学習する内容を体系的に理解するために、化学分野の基礎的知識を習得する。	
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	知識・理解・実践能力	
関連科目	生化学	
成績評価方法・基準	試験（75%）、毎講義ごとのリアクションペーパー（Active Academyのアンケート機能を利用）の提出（25%）	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	予習は必要ありませんが、毎回の講義の理解度を確認するために、講義ごとに出題されるチェックテストを活用して復習してください。また、講義の中で疑問に感じて自分で調べたこと、講義に関連する内容についてさらに深く学習したことについて、毎講義ごとにリアクションペーパー（Active Academyのアンケート機能を利用）を提出してもらいます。講義を通して30時間分の学習が必要です。	
教科書	看護系で役立つ化学の基本 有本淳一・西沢いづみ著 化学同人	
参考書	特に指定なし	
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上の注意	特にありません。	
アクティブ・ラーニングの実施	受講内容に関連することで興味を持ったことを積極的に調べるなど、能動的な学習を行ってください。各回ごとに提出するリアクションペーパーにはその内容を記述してください。	
ナンバリング	MBIV-106	

講義科目名称： 化学

授業コード： 6M024

英文科目名称： Chemistry

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
日置 英彰			

授業形態	講義 (8回)		担当者
授業計画	第1回	病気と闘う化学物質 くすりは体の中でどのように作用するのか概説しながら、医療と化学がどのように関わっているのか考える。	日置 英彰
	第2回	生体内ではたらく有機化合物 ホルモンや神経伝達物質をはじめ多くの有機化合物が生命活動を維持する上で重要な役割を果たしている。これら有機化合物の性質を官能基別に解説する。	日置 英彰
	第3回	酸と塩基 酸、塩基、緩衝液について解説する。	日置 英彰
	第4回	酸化と還元 物質の酸化と還元、生体内での酸化還元反応について解説する。	日置 英彰
	第5回	生体高分子 糖、タンパク質、核酸の化学構造とその性質について解説する。	日置 英彰
	第6回	触媒と酵素 生体内の化学反応は酵素が触媒している。化学反応における触媒の役割、酵素の構造と触媒作用について解説する。	日置 英彰
	第7回	合成高分子 医療材料には多くの高分子素材が使われている。各種高分子の性質と医療材料への応用について解説する	日置 英彰
	第8回	拡散と浸透現象 細胞への物質の出入りや人工透析などを考える上で重要な拡散と浸透現象の原理について解説する。	日置 英彰
科目の目的	医療と化学の関係は深い。生命活動自身が秩序だった化学反応であり、医薬品、医用材料、臨床検査薬等を扱うには化学的な見方・考え方は重要である。本講義ではその基本的知識を習得する。		
到達目標	生体関連物質、医薬品、医用材料など医療に密接に関係している化学物質の性質や反応を理解する。		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	知識・理解・実践能力		
関連科目	生化学		
成績評価方法・基準	試験 (75%)、毎講義ごとのリアクションペーパー (Active Academyのアンケート機能を利用) の提出 (25%)		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	予習は必要ありませんが、毎回の講義の理解度を確保するために、講義ごとに出題されるチェックテストを活用して復習してください。また、講義の中で疑問に感じて自分で調べたこと、講義に関連する内容についてさらに深く学習したことについて、毎講義ごとにリアクションペーパー (Active Academyのアンケート機能を利用) を提出してもらいます。講義を通して30時間分の学習が必要です。		
教科書	看護系で役立つ化学の基本 有本淳一・西沢いづみ著 化学同人		
参考書	特になし		
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照		
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照		
履修条件・履修上の注意	特にありません。		
アクティブ・ラーニングの実施	受講内容に関連することで興味を持ったことを積極的に調べるなど、能動的な学習を行ってください。各回ごとに提出するリアクションペーパーにはその内容を記述してください。		
ナンバリング	MBIV-107		

講義科目名称： 基礎物理学

授業コード： 6M025

英文科目名称： Basic Physics

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
神谷 富裕			

授業形態	講義 (8回)	担当者
授業計画	<p>第1回 物理量の次元と単位 補助単位、組立単位、同次元の単位の変換。</p> <p>第2回 静止系 力の釣り合い、モーメントの釣り合い、バネの力。</p> <p>第3回 運動 瞬間の速度、加速度。等速直線運動、等加速度運動。</p> <p>第4回 運動方程式 1 力学の問題の標準的な手続き。</p> <p>第5回 運動方程式 2 坂道、バネなどの典型問題。</p> <p>第6回 仕事とエネルギー 位置エネルギー、運動エネルギー、弾性エネルギー。エネルギー保存則。</p> <p>第7回 円運動 等速円運動。</p> <p>第8回 バネと単振動 単振動。</p>	<p>神谷 富裕</p> <p>神谷 富裕</p> <p>神谷 富裕</p> <p>神谷 富裕</p> <p>神谷 富裕</p> <p>神谷 富裕</p> <p>神谷 富裕</p> <p>神谷 富裕</p>
科目の目的	高等学校で物理を履修していない学生を想定し、物理の基礎を身につける。 高校物理を履修済みの学生にとっても新たな発見があるよう、別の視点の紹介も行う。	
到達目標	物理学の基礎的な概念を知り、標準的なアプローチを身につけ、物理現象を定量的・定性的に取り扱えるようになる。 分野は概ね初等力学。	
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	知識・理解・実践能力	
関連科目	物理学	
成績評価方法・基準	定期試験 (90%) , 講義内レポート (10%)	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	高校物理教科書や参考書を読んでから講義に臨めばより効果的だが、受講生には予習よりも講義の復習を期待する。前回分の演習問題を解いておくこと。 30分~1時間程度(定期試験前の復習は別)	
教科書	指定しない	
参考書	物理学基礎 第5版 原康夫著 学術図書出版	
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上の注意	特になし	
アクティブ・ラーニングの実施	問題解決学修	
ナンバリング	MBIV-108	

講義科目名称： 物理学

授業コード： 6M026

英文科目名称： Physics

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
丸山 星			

授業形態	講義 (8回)	担当者
授業計画	<p>第1回 力のつり合いと運動の法則 力のモーメント、剛体の回転運動とつり合いについて学ぶ。</p> <p>第2回 力学的エネルギーと運動量 力学的エネルギー・運動量とその保存、衝突する物体の運動について学ぶ。</p> <p>第3回 円運動と単振動 円運動する物体にはたらく力と、振動する物体について学ぶ。</p> <p>第4回 熱力学 温度による状態変化と気体分子の運動と圧力について学ぶ。</p> <p>第5回 波の運動 波の性質や音のドップラー効果について学ぶ。</p> <p>第6回 電磁気 (電気と力) 電界と電位、コンデンサのはたらきについて学ぶ。</p> <p>第7回 電磁気 (電流と磁界) 電流と磁界の関係、電磁誘導について学ぶ。</p> <p>第8回 原子の構造と放射線 原子核の崩壊と放射線の種類と性質について学ぶ。</p>	丸山 星 丸山 星 丸山 星 丸山 星 丸山 星 丸山 星 丸山 星 丸山 星
科目の目的	医療従事者にとって必要な物理学を学習する。 高等学校で物理基礎を履修していない学生が、物理学全体の基礎的な理解を深めることを目的とする。この科目の学習を通して、科学的・論理的な考え方を養い、物理現象を定性的・定量的に取り扱えるようにする。	
到達目標	物理学の考え方が身につく、重要な概念を理解している。 物理学に関する問題を解決でき、物理現象を定量的・定性的に取り扱うことができる。	
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	知識・理解・実践能力	
関連科目	基礎物理学	
成績評価方法・基準	講義での演習 (50%)、定期試験 (50% : 手書きのノートの持ち込み可)	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	講義資料や確認問題をもとに事前学習 (60分) ・事後学習 (60分) を行うこと。	
教科書	指定しない	
参考書	まるわかり! 基礎物理 改訂3版、鷹野誠 監修、南山堂、2025	
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上の注意	基礎物理学と併せて履修することをお勧めします。	
アクティブ・ラーニングの実施	問題解決学修、リアルタイムアンケートとフィードバック	
ナンバリング	MBIV-109	

講義科目名称： 基礎栄養学

授業コード： 6M027

英文科目名称： Basic Nutritional Science

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
本田 佳子			

授業形態	講義8回（演習時間を設ける講義回がある）		担当者
授業計画	第1回	栄養の概念、食物の摂取 栄養とは、空腹感と食欲、食事のリズムとタイミング	本田 佳子
	第2回	食物から食糧、栄養素成分から栄養 食糧の含有する栄養素成分、食事摂取基準と食物摂取	本田 佳子
	第3回	消化と吸収の概要とたんぱく質・糖質・脂質の消化吸収 3つの消化、吸収とは、管腔内消化と膜消化、消化管ホルモン、たんぱく質・糖質・脂質の消化吸収（消化酵素とその活性化、はたらき）の過程	本田 佳子
	第4回	糖質の栄養－食後及び空腹時の糖質代謝－ 血糖値とは、糖質の体内分布、食後及び空腹時の糖質代謝、他の栄養素との関係	本田 佳子
	第5回	脂質の栄養－脂質の体内動態－ 脂質の種類及び生理作用、脂質の臓器間輸送	本田 佳子
	第6回	たんぱく質の栄養－体内代謝－ たんぱく質の代謝回転、アミノ酸プール、窒素出納、たんぱく質の栄養価、制限アミノ酸、他の栄養素との関係 たんぱく質の代謝回転、アミノ酸プール、窒素出納、たんぱく質の栄養価、制限アミノ酸	本田 佳子
	第7回	ビタミン・ミネラル（無機質）の栄養、水・電解質の栄養的意義、エネルギー代謝 脂溶性/水溶性ビタミンの構造、代謝と栄養学的機能、生物学的利用度、補酵素としての機能、生物学的利用度、ミネラルの分類と栄養学的機能・生体機能、水の体内分布、水分出納、電解質の代謝、エネルギーとは	本田 佳子
	第8回	試験および解説 試験問題の解説をレフィードバックを実施する	本田 佳子
科目の目的	栄養の基本的概念及びその意義から生命の維持活動について学び、ヒトが生きるうえで必要となる栄養素の消化・吸収・代謝の一連の過程を理解する。この授業は、原則として健康な成人を対象とした栄養学を学ぶが、このことは、将来的に臨床栄養学、医療栄養学、各専門とするケア・キューアを理解する上で必要となる。		
到達目標	1)食物の摂取と栄養素の消化吸収の過程について説明できる。 2)ヒトが生きるうえで必要となる栄養素の生体内における役割について説明できる。 3)健康の保持・増進のために、摂取すべき栄養素の質と量について説明できる。		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	知識・理解・実践能力		
関連科目	生化学、生理学、公衆衛生学、臨床栄養学、リハビリテーション医学、基礎運動療法学		
成績評価方法・基準	演習での成果物40%、筆記試験60%		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	化学、生理学で学んだ代謝に関連した項目およびキーワードを復習 講義回につき2時間の予習・復習		
教科書	教科書「八訂食品成分表2026」（女子栄養大学出版社）		
参考書	本田佳子・曾根博仁編：栄養科学イラストレイテッド臨床栄養学 基礎編 羊土社、本田佳子編：Visual栄養学テキスト 臨床栄養学Ⅰ 総論 中山書店、本田佳子編：新臨床栄養学 栄養ケアマネジメント 医歯薬出版		
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照		
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照		
履修条件・履修上の注意	Active Academy Advanceにより資料を事前配布する 配布時期：前回授業翌日から当該日まで・持参方法：各自印刷あるいはPCにダウンロードして授業に持参すること		
アクティブ・ラーニングの実施	問題解決学習、ディスカッションの実施		
ナンバリング	MBIV-110		

講義科目名称： 基礎統計学

授業コード： 6M028

英文科目名称： Basic Statistics

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
富田 浩			

授業形態	講義 (8回)		担当者
授業計画	第1回	オリエンテーションおよび度数分布表とヒストグラムのつくり方 授業方法・学生評価方法等の説明, 度数分布表およびヒストグラムについて学ぶ	富田 浩
	第2回	データの中心をはかる指標 各指標の求め方, 長所・短所などについて学ぶ	富田 浩
	第3回	データの散らばりをはかる指標 各指標の求め方, 長所・短所などについて学ぶ	富田 浩
	第4回	順列と組み合わせ 順列および組合せの考え方, 算出方法について学ぶ	富田 浩
	第5回	確率 確率の求め方と確率の基本定理について学ぶ	富田 浩
	第6回	確率変数と確率分布 主に, 二項分布, 正規分布について学ぶ	富田 浩
	第7回	母平均の区間推定 標本の情報から母集団の平均を推定する方法について学ぶ	富田 浩
	第8回	母比率の区間推定 標本の情報から母集団の比率を推定する方法について学ぶ	富田 浩
科目の目的	データを見る, 処理する時に必要となる統計的な見方・考え方を学び, 将来, 仕事などで統計を用いる際の土台をつくる.		
到達目標	基本統計量のもつ意味が説明できる 主な確率分布の概要について説明できる 母平均・母比率の区間推定ができる		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	知識・理解・実践能力		
関連科目	基礎数学, AI・データサイエンス・リテラシー		
成績評価方法・基準	筆記試験(100%) 試験結果発表後, 答案(採点結果)の閲覧を可能とする.		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	予習: 教科書(各回授業該当部分)を確認する(60分程度) 復習: 授業内容と教科書の再確認, 練習問題を解く(120分程度)		
教科書	「初歩からの統計学 第2版」白砂堤津耶(日本評論社)		
参考書	「Excelによるメディカル/コ・メディカル統計入門」勝野恵子・井川俊彦(共立出版)		
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照		
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照		
履修条件・履修上の注意			
アクティブ・ラーニングの実施	例題・練習問題の実施		
ナンバリング	MBIV-111		

講義科目名称： 英語リーディング

授業コード： 6M029

英文科目名称： General English Reading

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
徳永 慎也			

授業形態	講義 (15回)	担当者
授業計画	第1回 Introduction、Self Introduction 授業の説明、英語で自己紹介をする (Lesson 1のExpress Yourself)	徳永 慎也
	第2回 Lesson 1 Communication コミュニケーションの持つ力についての英文読解。 Conversation、Reading	徳永 慎也
	第3回 Lesson 1 Communication コミュニケーションの持つ力についての英文読解。 Comprehension、Answer the Questions、Discussion Topic、Retelling、Grammar for CommunicationのLet's Try	徳永 慎也
	第4回 Lesson 1 Communication extensive readingの説明。 コミュニケーションの持つ力についての英文読解。 Comprehension、Answer the Questions、Discussion Topic、Retelling、Grammar for CommunicationのLet's Try	徳永 慎也
	第5回 Lesson 3 Health and Environment SDG s の目標6「すべての人々に水と衛生へのアクセスを確保する」についての英文読解。 Conversation、Reading	徳永 慎也
	第6回 Lesson 3 Health and Environment SDG s の目標6「すべての人々に水と衛生へのアクセスを確保する」についての英文読解。 Comprehension、Answer the Questions、Discussion Topic、Retelling、Grammar for CommunicationのLet's Try	徳永 慎也
	第7回 Lesson 4 Gender Equality SDG s の目標5「ジェンダーの平等を達成し、すべての女性と女児のエンパワーメントを図る」についての英文読解。 Conversation、Reading	徳永 慎也
	第8回 Lesson 4 Gender Equality SDG s の目標5「ジェンダーの平等を達成し、すべての女性と女児のエンパワーメントを図る」についての英文読解。 Comprehension、Answer the Questions、Discussion Topic、Retelling、Grammar for CommunicationのLet's Try 課題①：SDGsの17の目標の中から1つ選び、①状況、②問題、③解決、④結果・コメントの構造に沿って、自分の意見を英語で書く。(Lesson 4のExpress Yourselfを参照)	徳永 慎也
	第9回 Lesson 5 Fashion*課題提出あり 日本の着物の歴史についての英文読解。 Conversation、Reading	徳永 慎也
	第10回 Lesson 5 Fashion 日本の着物の歴史についての英文読解。 Comprehension、Answer the Questions、Discussion Topic、Retelling、Grammar for CommunicationのLet's Try 課題のフィードバック	徳永 慎也
	第11回 Lesson 7 The HHistory of YouTube YouTubeの歴史に関する英文読解。 Conversation、Reading	徳永 慎也
	第12回 Lesson 7 The HHistory of YouTube YouTubeの歴史に関する英文読解。 Comprehension、Answer the Questions、Discussion Topic、Retelling、Grammar for CommunicationのLet's Try	徳永 慎也

	第13回	Lesson 11 Volunteer Work ボランティア活動の意義に関する英文読解。 Conversation、Reading 課題②：「～したほうが良い」と思われる理由について、パラグラフの構造 (Introduction、Body、Conclusion) に注意して、英語で論じる。(Lesson 14の Express Yourselfを参照)	徳永 慎也
	第14回	Lesson 11 Volunteer Work*課題提出あり ボランティア活動の意義に関する英文読解。 Comprehension、Answer the Questions、Discussion Topic、Retelling、Grammar for CommunicationのLet's Try	徳永 慎也
	第15回	第2回から第14回講義の復習(重要事項の確認) 第2回から第14回目(Unit 1、Unit 3、Unit 4、Unit 5、Unit 7、Unit 11)の講義 を振り返り、重要事項の確認を行う。 課題のフィードバック	徳永 慎也
科目の目的	専門分野の英語に取り組むための総合的な英語基礎力、リーディング力、リスニング力、スピーキング力、ライティング力を身につける。特にリーディング力を養成する。英語を学ぶことを通して、将来の医療人として人間や社会に対する興味・関心の幅を広げ、関心・興味を持った事柄に関して調べ、自分の考え・意見を持ち、それらを表現することができるようにする。		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・テキストや各自の力と興味に合わせた本を読むことを通じて、多くの英文に接し、構文を正しく理解し、英文の内容を理解することができる。 ・テキストのトピックについて調べ、自分の考え・意見を持ち、グループやペアでの話し合いを通じて、他者の考え・意見も聞き、最終的に自分の考え・意見をまとめ、表現することができる。 ・テキスト教材の音声を聞いて、単語や文章を聴き取り、発音することができる。 ・extensive readingの目標は10,000words。易しい英文を楽しみながら読むことができ、口語表現、日常生活での英語表現が理解できる。 		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	表現・技能・判断能力		
関連科目	医療英語会話、医療英語リーディング、英語会話、英語アカデミックリーディング・ライティング		
成績評価方法・基準	定期試験(60%) 課題(30%) extensive reading(10%) *定期試験は100点満点で実施するが、60点満点に換算。課題は2回実施して各15点満点で採点して合計で30点とする。extensive readingは10,000語を達成して10点。extensive readingは登録作業が必要なため、5月の連休明けから開始し、授業期間最終日まで読んで読んだ語数をカウントする。		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	<p>予習：次に学習する範囲の英文を読んで、わからない単語は辞書で調べ、英文の大まかな内容をつかむ。どこがわからないのかを明確にする。練習問題等はあらかじめやっておく。</p> <p>復習：その日に学習したことを整理し、英文を理解する。課題を行う。</p> <p>予習復習合わせて1時間。</p> <p>extensive readingについては、目標達成に向けて、各自のペースで計画的に進める。</p>		
教科書	教科書：『グローバル社会へのコミュニケーション英語——Journeys: Communication for the Global Age』 阿野幸一他(朝日出版社)		
参考書	指定なし		
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照		
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照		
履修条件・履修上の注意	<p>高校までの基本的英文法は理解しておいてください。わからない単語や表現は必ず辞書を引いて調べること。</p> <p>座席は出席番号順に固定(初回授業で指定)。出席はパスワードを用いて登録してもらいますが、その場で教員も確認します。</p>		
アクティブ・ラーニングの実施	グループワーク、ペアワーク		
ナンバリング	MBV-101		

講義科目名称： 医療英語リーディング

授業コード： 6M030

英文科目名称： Medical English Reading

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
徳永 慎也			

授業形態	講義 (15回)	担当者
授業計画	第1回 Introduction—Pretest Test Your Reading Skill: Team Medicine 授業の説明、各自のreading abilityのチェック、単語力のチェック。	徳永 慎也
	第2回 Unit 2 Coping with Cancer: Five Stages of Grief topicの英文読解、内容の把握。がんと共に生きるための5つのステージとは何か。医療英単語① (人体の部位) の説明 (次回、テストを行う)	徳永 慎也
	第3回 Unit 2 Coping with Cancer: Five Stages of Grief topicの英文読解、内容の把握。Reading Comprehension とPractice Conversation。 医療英単語テスト① (人体の部位) 医療英単語② (人体の部位) の説明 (次回、テストを行う)	徳永 慎也
	第4回 Unit 3 Where Medicine Meets Religion topicの英文読解、内容の把握。医療と宗教の関わり方と解決策を考える。単語テスト返却。 医療英単語テスト② (人体の部位) 医療英単語③ (人体の部位) の説明 (次回、テストを行う)	徳永 慎也
	第5回 Unit 3 Where Medicine Meets Religion topicの英文読解、内容の把握。Reading Comprehension とPractice Conversation。単語テスト返却。 医療英単語テスト③ (人体の部位) 医療英単語④ (骨格各部位) の説明 (次回、テストを行う) 課題①：医療現場における宗教的配慮について調べ、英語でまとめる。	徳永 慎也
	第6回 Unit 6 What Comes First When Helping Others*課題提出あり topicの英文読解、内容の把握。医療従事者自身の身体的、精神的ケアを考える。単語テスト返却。 医療英単語テスト④ (骨格各部位) 医療英単語⑤ (骨格各部位) の説明 (次回、テストを行う)	徳永 慎也
	第7回 Unit 6 What Comes First When Helping Others topicの英文読解、内容の把握。Reading Comprehension とPractice Conversation。単語テスト返却。 医療英単語テスト⑤ (骨格各部位) 医療英単語⑥ (主な人体の器官) の説明 (次回、テストを行う) 課題のフィードバック	徳永 慎也
	第8回 Unit 8 What Is "Upstream" Thinking? topicの英文読解、内容の把握。upstream thinkingとは何かを理解する。単語テスト返却。 医療英単語テスト⑥ (主な人体の器官) 医療英単語⑦ (接頭辞と接尾辞) の説明 (次回、テストを行う)	徳永 慎也
	第9回 Unit 8 What Is "Upstream" Thinking? topicの英文読解、内容の把握。Reading Comprehension とPractice Conversation。単語テスト返却。 医療英単語テスト⑦ (接頭辞と接尾辞) 医療英単語⑧ (接頭辞と接尾辞) の説明 (次回、テストを行う)	徳永 慎也
	第10回 Unit 9 Actions Speak Louder than Words topicの英文読解、内容の把握。非言語コミュニケーションとは何かを理解する。単語テスト返却。 医療英単語テスト⑧ (接頭辞と接尾辞) 医療英単語⑨ (接頭辞と接尾辞) の説明 (次回、テストを行う)	徳永 慎也
	第11回 Unit 9 Actions Speak Louder than Words topicの英文読解、内容の把握。Reading Comprehension、課題の説明。単語テスト返却。 医療英単語テスト⑨ (接頭辞と接尾辞) 医療英単語⑩ (接頭辞と接尾辞) の説明 (次回、テストを行う) 課題②：日本以外の国の非言語コミュニケーションについて調べ、英語でまとめる。	徳永 慎也

	第12回	Unit 9 Actions Speak Louder than Words、Unit 4 Before Calling It Malpractice*課題提出あり 課題をグループ内で発表する。 Unit 9: Practice Conversation Unit 4: topicの英文読解、内容の把握。医療ミスについて理解する。単語テスト返却。 医療英単語テスト⑩（接頭辞と接尾辞） 医療英単語⑩（接頭辞と接尾辞）の説明（次回、テストを行う）	徳永 慎也
	第13回	Reading Skillのチェックと第1回から第12回講義の復習 第1回から第12回講義の復習。 医療英単語テスト⑪（接頭辞と接尾辞） 医療英単語⑪（接頭辞と接尾辞）の説明（次回、テストを行う）	徳永 慎也
	第14回	Unit 4 Before Calling It Malpractice topicの英文読解、内容の把握。Reading Comprehension とPractice Conversation。単語テスト返却。 医療英単語テスト⑫（接頭辞と接尾辞） 課題のフィードバック	徳永 慎也
	第15回	Unit 4 Before Calling It Malpractice、Reading Skillのチェックと第1回から第14回講義の復習 topicの英文読解、内容の把握。Reading Comprehension とPractice Conversation。単語テスト返却。 各自のreading skillの再チェック。単語テスト返却。 第1回から第14回講義の復習	徳永 慎也
科目の目的	専門分野の英語に取り組むためのリーディング力、表現力の養成と強化。 医療系の基本的英語語彙力と英語表現力の強化。		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・医療全般に関するトピックを読み、構文を正しくとらえ、内容を理解することができる。 ・トピックの内容をまとめ、関連する事柄について、自分の意見・考えを表現できる。 ・テキストの音声聞いて単語や文章を正しく聴き取ることができる。 ・医療の基本的英単語、英語表現を覚え、声に出して読んで正しく書くことができる。 		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	表現・技能・判断能力		
関連科目	英語リーディング 医療英語会話 英語会話 英語アカデミックリーディング・ライティング		
成績評価方法・基準	定期試験(70%) 課題(20%) 医療英単語テスト(10%) *定期試験は70点満点で実施する。課題は2回実施して各10点満点で採点して合計で20点とする。医療英単語テストは、第3回～第14回に毎回10点のテストを行い、平均して10点とする（不正行為厳禁）。		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	予習：次回に学習する範囲の英文、英単語の音声を聴く。英文を読んで、わからない単語は辞書で調べ、英文の大まかな内容をつかむ。どこがわからないのかを明確にする。予習用プリントを配布する。 復習：その日に学習したことを整理し、英語構文を理解する。英単語、英語表現は覚え、正しく発音できるように音声教材をよく聴き、また、正しく書けるまで練習する。課題を行う。 予習復習合わせて約1時間。		
教科書	教科書：Medical World Walkabout 大野直子&ダシルヴァ石田牧子（成美堂）		
参考書	指定なし		
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照		
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照		
履修条件・履修上の注意	高校までの基本的英文法は理解しておいてください。わからない単語、表現などは必ず自分で辞書を引いて調べること。 座席は出席番号順に固定（初回授業で指定）。出席はパスワードを用いて登録してもらいますが、その場で教員も確認します。 単語テストでの不正行為は厳禁。		
アクティブ・ラーニングの実施	ペアワーク、グループワーク		
ナンバリング	MBV-102		

講義科目名称： 英語会話

授業コード： 6M031

英文科目名称： General English Conversation

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
David Andrews			

授業形態	講義 (15回)	担当者
授業計画	第1回 Course introduction/Icebreaking Explanation of the syllabus and grading. Introduction of phrases that will commonly be used in the class.	David Andrews
	第2回 Unit 1: I'm sorry. What's your name again? Talking about yourself, your hobbies, and your interests.	David Andrews
	第3回 小テストU1 および Unit 2: Where would you like to visit? Talking about countries and places that interest you.	David Andrews
	第4回 小テストU2 および Unit 3: Let's talk about money Expressing money amounts, dealing with currency exchange, and using an ATM.	David Andrews
	第5回 小テストU3 および Unit 4: Let's go to Hawaii! (part 1) + 第1回目のプレゼンテーション準備 Making reservations and checking in to a hotel + プレゼンテーションの準備。	David Andrews
	第6回 第1回目のプレゼンテーション + Unit 4: Let's go to Hawaii! (part 2) 第1回目のプレゼンテーション + Making reservations and checking in to a hotel (continued)	David Andrews
	第7回 小テストU4 および Unit 5: Let's do this! Talking about resort activities and making plans.	David Andrews
	第8回 小テストU5 および Unit 6: How do I get to the Koi Pond? Asking and giving directions.	David Andrews
	第9回 小テストU6 および Unit 7: Where are you headed? Asking for a taxi and making small talk.	David Andrews
	第10回 小テストU7 および Unit 8: Let's take a tour! (part 1) + 第2回目のプレゼンテーション準備 Talking about various island tours and activities + プレゼンテーションの準備	David Andrews
	第11回 第2回目のプレゼンテーション + Unit 8: Let's take a tour! (part 2) 第2回目のプレゼンテーション + Talking about various island tours and activities (continued)	David Andrews
	第12回 小テストU8 および Unit 9: How much is this T-shirt? Going shopping and buying things.	David Andrews
	第13回 小テストU9 および Unit 10: Let's go out to eat! Ordering food at a restaurant.	David Andrews
	第14回 小テストU10 および Unit 11: Lost and Found + 第3回目のプレゼンテーション準備 Describing an item you have lost + プレゼンテーションの準備。	David Andrews
	第15回 第3回目のプレゼンテーション + Unit 12: How was your vacation? 第3回目のプレゼンテーション + Talking about your experiences	David Andrews
科目の目的	本授業では、英語でコミュニケーションをとる際に役立つ用語や表現、異文化に対する寛容さを身に付け、様々な状況や場面で使えるように実用的なコミュニケーションスキルを学ぶ。	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 自分のことや身の回りのことについて英語で伝えることができる。 様々な場面において実用的なコミュニケーションスキル(要求、指示など)を習得する。 英語圏の文化や風習を理解する。 	
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	表現・技能・判断能力	
関連科目	医療英語会話、英語リーディング、医療英語リーディング、英語アカデミックリーディング・ライティング	
成績評価方法・基準	授業中の課題 (5%)、小テスト (30%)、第1回目のプレゼンテーション (15%)、第2回目のプレゼンテーション (20%)、第3回目のプレゼンテーション (30%) 授業中に小テストの結果を毎回確認させ、プレゼンテーションへのフィードバックを口頭で行う。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	復習：前回の授業で学んだことを定着させる。学習時間は1.5時間程度。また、プレゼンテーションの準備時間は合わせて6時間程度。	

教科書	教科書：使用せず 適宜、教材用資料を配布
参考書	なし
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照
履修条件・履修上の注意	授業中のスマホ使用は原則禁止。予習は必ずすること。積極的に参加すること。定期試験無し。
アクティブ・ラーニングの実施	ペアワーク、グループワーク、プレゼンテーション
ナンバリング	MBV-103

講義科目名称： 医療英語会話

授業コード： 6M032

英文科目名称： Medical English Conversation

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
David Andrews			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2026年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	表現・技能・判断能力	
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	MBV-201	

講義科目名称： 英語アカデミックリーディング・ライティング 授業コード： 6M033

英文科目名称： Academic Reading and Writing in English

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3・4学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
David Andrews			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2026年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	表現・技能・判断能力	
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	MBV-301	

講義科目名称： 国際コミュニケーション英語

授業コード： 6M034

英文科目名称： English for International Communication

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	4学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
David Andrews			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2026年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	表現・技能・判断能力	
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	MBV-401	

講義科目名称： 中国語

授業コード： 6M035

英文科目名称： Chinese

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
桑名 潔江			

授業形態	講義(15回)	担当者
授業計画	第1回 ガイダンス、中国語とは？ 発音、漢字、声調	桑名 潔江
	第2回 中国語の発音のきまり 単母音、複合母音、声調	桑名 潔江
	第3回 子音の発音と音節 母音、子音、音節表の読み方	桑名 潔江
	第4回 発音のまとめ 自分の名前を中国語で読む練習	桑名 潔江
	第5回 第1課の学習 第1課 自己紹介 単語 本文 ポイント 練習	桑名 潔江
	第6回 第1課の復習と第2課の学習 第2課 教室で 単語 本文 ポイント 練習	桑名 潔江
	第7回 第2課の復習と第3課の学習 第3課 キャンパスで 単語 本文 ポイント 練習	桑名 潔江
	第8回 発音の総合復習と第1課から第3課までの復習 中間レポート提出	桑名 潔江
	第9回 第3課の復習と第4課の学習 第4課 友達と 単語 本文 ポイント 練習	桑名 潔江
	第10回 第4課の復習と第5課の学習 第5課 ファストフード店で 単語 本文 ポイント 練習	桑名 潔江
	第11回 第5課の復習と第6課の学習 第6課 待ち合わせ 単語 本文 ポイント 練習	桑名 潔江
	第12回 第6課の復習と第7課の学習 第7課 旅行 単語 本文 ポイント 練習	桑名 潔江
	第13回 第7課の復習と第8課の学習 第8課 アルバイト 単語 本文 ポイント 練習	桑名 潔江
	第14回 第8課の復習と第9課の学習 第9課 風邪 単語 本文 ポイント 練習 文法 単語 本文 置換練習	桑名 潔江
	第15回 第1課から第9課までの復習 総合復習	桑名 潔江
科目の目的	現代のグローバル化の社会の中で、一国際人として、多言語ができる人材を育成する。	
到達目標	日常生活及び仕事の中で、簡単な会話ができること。	
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	知識・理解・実践能力	
関連科目	特になし	
成績評価方法・基準	期末に筆記試験を行う。基準は筆記試験が80%、授業内にレポート及び感想文の提出が20%。提出されたレポートについては次回授業内でフィードバックを行う。	

準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	授業前の予習と授業後の復習をすること。1コマあたり60分程度必要である。発音の練習は必ずしっかりする事、特に四声については、音声ファイルを聞きながら発声して覚えるように。
教科書	教科書：キャンパスで始める中国語（白帝社）
参考書	参考書：なし
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照
履修条件・履修上の注意	教科書の購入が必要である
アクティブ・ラーニングの実施	実施なし
ナンバリング	MBVI-101

講義科目名称： コリア語

授業コード： 6M036

英文科目名称： Korean

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
青木 順			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 ハングルの読み方 基本母音 朝鮮半島、ソウル市などを簡単に紹介し、ハングルの由来、構造を簡単に説明。 基本母音10個の読み方、基本母音を含んだ単語、挨拶言葉等を学習する。	青木 順
	第2回 ハングルの読み方 基本子音 基本子音4個の読み方、その基本子音を含んだ単語、挨拶言葉を学習する。 文化として伝統料理を紹介する。	青木 順
	第3回 ハングルの読み方 基本子音 基本子音4個の読み方、その基本子音を含んだ単語、挨拶言葉を学習する。 文化として「混ぜる食文化」を紹介する。	青木 順
	第4回 ハングルの読み方 激音（濃音と比較しながら） 濃音と比較しながら激音5個の読み方、激音を含んだ単語、挨拶言葉を学習する。 文化として伝統茶、伝統服を紹介する。	青木 順
	第5回 ハングルの読み方 濃音（激音と比較しながら） 激音と比較しながら濃音5個の読み方、濃音を含んだ単語、挨拶言葉を学習する。 文化として韓国の包む文化～「サム料理」を紹介する。	青木 順
	第6回 ハングルの読み方 合成母音 合成母音11個の読み方、合成母音を含んだ単語、挨拶言葉を学習する。	青木 順
	第7回 ハングルの読み方 パッチム パッチムの読み方、パッチムを含んだ単語、挨拶言葉を学習する。 文化として食事のマナー、1歳の誕生日を紹介する。	青木 順
	第8回 「私は青木順です」① サンパッチム、連音の説明、練習を行う。	青木 順
	第9回 「私は青木順です」② 「は」「です」「～と申します」という文法の学習、関連会話文の読み、訳を行う。 文化として伝統家屋、伝統舞踊を紹介する。	青木 順
	第10回 「私は青木順です」のまとめと「何人家族ですか？」① 初対面でのハングル会話を行う。 関連単語、「ます」「ますか」等の文法の学習と練習を行う。 文化として伝統的結婚式、楽器等を紹介する。	青木 順
	第11回 「何人家族ですか」② 「お～になります」「が」「と」などの文法の学習と練習を行う。	青木 順
	第12回 「何人家族ですか」③ 固有数字、関連会話文の読み、訳、会話練習等を行う。 文化として伝統遊びを紹介する。	青木 順
	第13回 「すみません」① 関連単語、「～してください」、意志を含んだ「ます」等の文法の学習と練習を行う。	青木 順
	第14回 「すみません」② 「いる（いない）」「ある（ない）」の説明と練習。 固有数字を使う助数詞、関連会話文の読み、訳を行う。 文化として伝統刺繍を紹介する。	青木 順
	第15回 「すみません」③とまとめ 二人一組で会話練習、文法のまとめ、試験問題の説明を行う。	青木 順
科目の目的	グローバルな視点を養い、限定的な場面でのコミュニケーション能力を身に付けることができる。	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ハングル文字を正確に読み書きできるようになる。 ・正確な発音をマスターする。 ・挨拶をはじめ、簡単な日常会話を身につける。 	
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	知識・理解・実践能力	

ド	
関連科目	特になし。
成績評価方法・基準	課題への取り組み (40%) ・ 期末テスト (60%)
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	授業で学習した内容はその都度復習しておくこと。 外国語の学習は反復・継続することが何より大切なので、1コマ当たり1時間を目安に積極的に取り組むこと。
教科書	講師作成教材使用予定(コピー)
参考書	特になし
オフィス・アワー	講義前後：非常勤講師室
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照
履修条件・履修上の注意	講師作成の教材を使用する。 配布期間：前回の授業翌日から当該日まで。 持参方法：各自印刷して授業に持参すること（課題も含まれているため、印刷必須）。
アクティブ・ラーニングの実施	二人一組で、与えられた課題に取り組む方法をとる。
ナンバリング	MBVI-102

講義科目名称： ドイツ語

授業コード： 6M037

英文科目名称： German

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
伊藤 貴康			

授業形態	講義 (15回)	担当者
授業計画	<p>第1回 ガイダンス・ドイツ語のアルファベットと発音</p> <p>第2回 動詞の現在人称変化 1</p> <p>第3回 動詞の現在人称変化 2・並列の接続詞</p> <p>第4回 定冠詞・不定冠詞・否定冠詞の変化</p> <p>第5回 名詞の複数形・人称代名詞</p> <p>第6回 不定冠詞類・定冠詞類</p> <p>第7回 動詞の現在人称変化 3・命令形</p> <p>第8回 話法の助動詞・未来形</p> <p>第9回 前置詞・再帰代名詞・再帰動詞</p> <p>第10回 分離動詞・非分離動詞・zu不定詞・従属の接続詞</p> <p>第11回 動詞の 3 基本形 1・過去形・現在完了形</p> <p>第12回 3 基本形 2・受動態</p> <p>第13回 形容詞の変化・比較・関係代名詞</p> <p>第14回 文法のまとめ・簡単なドイツ語のリーディング・リスニング</p> <p>第15回 簡単なドイツ語のリーディング・リスニング</p>	<p>伊藤 貴康</p> <p>伊藤 貴康</p> <p>伊藤 貴康</p> <p>伊藤 貴康</p> <p>伊藤 貴康</p> <p>伊藤 貴康</p> <p>伊藤 貴康</p> <p>伊藤 貴康</p> <p>伊藤 貴康</p> <p>伊藤 貴康</p> <p>伊藤 貴康</p> <p>伊藤 貴康</p> <p>伊藤 貴康</p> <p>伊藤 貴康</p>
科目の目的	ドイツ語の基礎文法を学習するとともに、簡単な挨拶などの表現やドイツ語圏の文化を学ぶ。	
到達目標	自力で辞書と教科書を用いてドイツ語の文章が理解できるようになるとともに、ドイツ語を母語とする人と簡単な日常会話によるコミュニケーションができるようにする。	
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	知識・理解・実践能力	
関連科目	健康スポーツ実技 文学 英語リーディング 医療英語会話 中国語 コリア語 ポルトガル語 メディア・リテラシー	
成績評価方法・基準	定期試験100%	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	毎回学習する文法事項が次回以降の基礎となるため、1コマ当たり1時間程度の準備学習を要する。	
教科書	Genau! Gramatik neu (郁文堂、ISBN978-4-261-01276-7)	
参考書	1種類に指定しないが、アクセス独和辞典(三修社)、クラウン独和辞典(三省堂)など何らかの独和辞典を用意することが望ましい。	
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施	実施なし	

講義科目名称：ポルトガル語

授業コード：6M038

英文科目名称：Portuguese

対象カリキュラム：2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
Hilda Harumi Handa			

授業形態	講義 (15回)	担当者
授業計画	第1回 Introduction / Apresentacao Explaining how the class will be given, and grades / Explicar como serao as aulas e as notas. Introduction / Apresentacao Explaining how the class will be given, and grades / Explicar como serao as aulas e as notas.	Hilda Harumi Handa
	第2回 Brazil and the other nine countries that speak Portuguese / Brasil e os outros nove paises que falam português. A brief lecture about Brazil and nine other countries whose official language is Portuguese	Hilda Harumi Handa
	第3回 Greetings and Pronouns Greetings / Cumprimentos/Apresentacao Possessive adjectives/pronouns / Pronomes possessivos Saying hello and goodbye / Encontrar-se/despedir-se	Hilda Harumi Handa
	第4回 Alphabet and pronunciation / Alfabeto e pronuncia Syllables / Formacao das silabas Introduction to Portuguese Alphabet	Hilda Harumi Handa
	第5回 Stress / Acentuacao Stress rules Oxitonas/paroxitonas/proparoxitonas Rules for stressing.	Hilda Harumi Handa
	第6回 Nouns / Substantivos Adjectives / Adjetivos We'll talk about kinds of nouns and adjectives.	Hilda Harumi Handa
	第7回 Articles / Artigos definidos/indefinidos Prepositions / Preposicoes Verbs / Verbos Adverbs / Adverbios Nouns / Substantivos Adjectives / Adjetivos Learning about articles, prepositions, verbs, and adverbs.	Hilda Harumi Handa
	第8回 Conjunctions / Conjuncoes Time / Horas Seasons/Weather / Estacoes/climas Class about conjunctions, and how to talk about time and the weather.	Hilda Harumi Handa
	第9回 Cardinal/ordinal numbers / Numeros Cardinais/ordinais Phone / Telefone Email All about numbers.	Hilda Harumi Handa
	第10回 Subject pronoun / Pronomes Pessoais Verb Be I / Verbos ser e estar I More pronouns and the verb Be, that means more than one verb in Portuguese.	Hilda Harumi Handa
	第11回 Verb Be II / Verbos Ser e estar II Continuing with the verb Be.	Hilda Harumi Handa
	第12回 Family / Familia Week/month/year / Semana/meses/ano Colors / Cores Light class about family, dates, and colors.	Hilda Harumi Handa
	第13回 Human Body / Corpo Humano Clothing / Roupas Special class about the human body.	Hilda Harumi Handa
	第14回 Food & Culture / Gastronomia e cultura Let's learn about Brazilian food, and maybe taste some of it.	Hilda Harumi Handa

	第15回 Exam Let's see how much you learned from the previous classes.	Hilda Harumi Handa
科目の目的	<p>ポルトガル語は主にブラジルで話される言語で、1万人以上のブラジル系住民が生活する群馬県内でも接する機会の多い言語です。群馬県内(特に東毛地区)において地域に関わる仕事(例えば、公務員や教員、医療関係など)を希望している学生にはポルトガル語の習得をお薦めします。</p> <p>また、ポルトガル語はブラジル以外の国々でも公用語とされているところがあり、国際的に活動したいという際にも役立てることができます。</p> <p>ポルトガル語は英語に近い構造のヨーロッパ言語で、英文法や語彙の知識が応用できる項目もあり、一方で英語の理解にも役立ちます。</p> <p>本授業の目標はポルトガル語の入門にとどまりますが、初級、中級へと学習を進めるためのきっかけとなると同時に、「英語以外のヨーロッパ言語」に関心を持っていただくこと、加えて可能な限り、ブラジルを中心としたポルトガル語圏の文化についても授業内で紹介し、ポルトガル語に関わる事柄の知見を広めることも目指します。</p>	
到達目標	<p>本授業では欧州言語共通参照枠(CEFR)のA1レベルを習熟目標とし、ポルトガル語の基本中の基本となる以下の基礎文法と基礎的なコミュニケーション表現を習得することを目指します。</p> <p>(1)ポルトガル語を読める (2)名詞や形容詞の性数の考え方が理解できる (3)挨拶など基礎的な表現ができる (4)基礎的な語彙を使うことができる (5)動詞の活用ができる</p> <p>これらに加え、とりわけブラジル人との日常的なコミュニケーションに関わる文化の知識(食文化、交通など)を身につけることも目標とします。</p>	
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	知識・理解・実践能力	
関連科目	特になし	
成績評価方法・基準	50% from final exam, and 40% participation (not attendance) in class, 10% assignments.	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	No special knowledge is required for it's a class for beginners. However, students should prepare by reviewing the handouts from the previous class and reading the newspapers or magazines mentioned in class. Students are advised to study about 2-3 hours per week in preparation for each 90-minute lesson.	
教科書	Teacher will provide handouts.	
参考書	Students will be encouraged to read some books, newspapers or magazines, that will be mentioned during class.	
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上の注意	<p>5回以上の欠席がある場合は期末試験を受けられません。 また、特別な事情がない場合の30分以上の遅刻は欠席と見なします。 就職活動や特別な事情による欠席は考慮いたします。</p> <p>大学生として相応な英語力と意欲、情熱があることが望ましいです。</p>	
アクティブ・ラーニングの実施	discussion , conversation and pair work	
ナンバリング	MBVI-104	

講義科目名称： メディア・リテラシー

授業コード： 6M039

英文科目名称： Media Literacy

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
米持 圭太			

授業形態	演習 (15回)	担当者
授業計画	第1回 本講義の概要と授業準備 本講義の概要とパーソナルコンピュータの利用について	米持 圭太
	第2回 コンピュータの基礎 ハードウェアとソフトウェア ソフトウェア 情報システム	米持 圭太
	第3回 情報の形態と収集の方法 情報の形態 情報蓄積の形態 クラウド環境の情報 検索エンジン 情報収集の技術 情報収集の応用	米持 圭太
	第4回 インターネットの仕組みとWebシステム インターネットの概要 通信機能の階層化 IPアドレスの仕組み パケット通信の仕組み 通信の経路を選ぶ仕組み データを確実に送り届ける仕組みと素早く送り届ける仕組み アプリケーション層のプロトコル 直接接続する機器の通信 Webアプリケーションの仕組み クラウドコンピューティング	米持 圭太
	第5回 情報の伝達 ソーシャルネットワーキングサービス ブログ 電子掲示板 電子メール ソーシャルメディア 電子書籍	米持 圭太
	第6回 レポートの作成と編集 レポートとは 主題を決める 構造化を考える 内容を作り込む 数式表記 創造的レポートに向けて	米持 圭太
	第7回 レポートの作成演習 レポート作成の演習 ワープロによる文章作成	米持 圭太
	第8回 情報のデータ化と分析・マイニング 情報とデータ データの整理 データの可視化 データマイニング テキストマイニング	米持 圭太
	第9回 情報のデータ化と分析・マイニング演習 情報のデータ化と分析の演習 スプレッドシートによる分析	米持 圭太
	第10回 モデリングとシミュレーション モデルとデータ 確率的現象 傾向と予測 未来を予測する	米持 圭太

	第11回	モデリングとシミュレーション演習 モデリングとシミュレーションの演習 スプレッドシートによる予測	米持 圭太
	第12回	プレゼンテーションの方法 シナリオシートの作成と基本的な操作 プレゼンテーションの実際 技術の進歩とプレゼンテーションの変化	米持 圭太
	第13回	プレゼンテーション演習 プレゼンテーションの演習 プレゼンテーションの作成	米持 圭太
	第14回	セキュリティと法令順守 情報セキュリティ 情報漏えい対策法 インターネット社会の特性 情報社会の法令 デジタルコミュニケーション	米持 圭太
	第15回	ICT活用の問題解決 問題解決の基本的手順とICTの役割 情報を客観的にとらえる インターネットを利用した情報発信 問題解決におけるシミュレーションの利用	米持 圭太
科目の目的	現代社会には情報があふれており、私たちは様々なメディアから情報を取得し活用する。情報活用や情報操作を行うスキルを身につけるため、コンピュータやコンピュータネットワークの基本的概念と構成、仕組みを理解し、情報社会における情報の意味を理解することが求められる。本科目では大学での学び（学習と研究や臨床実践）をより充実させるため、パーソナルコンピュータやマルチメディアの基本的な操作を学ぶ。具体的には、Wordを使用した文書作成・編集の基本技術、Excelの基本、計算機能、ビジュアルな文書作成、インターネットの活用、ワークシートの活用などについて学び、合計、平均の計算、関数の活用、最大・最小、グラフ作成、データベースの基本事項、データのソート、検索、集計、Power Point、プレゼンテーションなどについての演習を行う。		
到達目標	情報社会におけるコンピュータやインターネットの仕組み理解し、情報の活用、意味、伝達の意義について学習する。 個別目標： 1. 情報の基本的概念について説明できる。 2. コンピュータとコンピュータネットワークの仕組みについて説明できる。 3. ワードプロセッサ、スプレッドシート、プレゼンテーション・アプリケーションを用いて情報表現、情報操作が行える。		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	倫理		
関連科目	情報リテラシー、データサイエンス入門		
成績評価方法・基準	演習課題（50%） ミニテスト（50%）		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	授業（90分）、事前自己学習（60分）、関連項目の事後学習（60分）		
教科書	標準教科書 改訂新版 よくわかる情報リテラシー 岡本敏雄 監修 技術評論社 2022		
参考書	入門情報処理 ―データサイエンス、AIを学ぶための基礎― 寺沢 幹雄・福田 収 著 オーム社 2022		
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照		
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照		
履修条件・履修上の注意	MS-Office (MS-Word, MS-Excel, MS-PowerPoint)、ウェブブラウザをインストールしたPC (WindowsPC、Mac等) を持参してください。		
アクティブ・ラーニングの実施	課題作成に際して調査学習を取り入れた演習を行う。		
ナンバリング	MBVII-101		

講義科目名称： AI・データサイエンス・リテラシー

授業コード： 6M040

英文科目名称： AI and Data Science Literacy

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
星野 修平			

授業形態	演習 (15回)	担当者
授業計画	第1回 社会におけるデータ・AI利活用 データサイエンスとは/社会における変化/本講義の概要と授業準備として、パソコンの利用方法、具体的な活用について学ぶ	星野 修平
	第2回 社会で活用されているデータ	星野 修平
	第3回 データ・AIの活用領域	星野 修平
	第4回 データ・AI利活用のための技術	星野 修平
	第5回 データ・AI利活用の現場	星野 修平
	第6回 データ・AI利活用の最新動向	星野 修平
	第7回 時系列データの可視化	星野 修平
	第8回 平均、標準偏差の算出とその可視化	星野 修平
	第9回 大量のデータを扱う方法	星野 修平
	第10回 基本統計量の算出と箱ひげ図	星野 修平
	第11回 度数分布表とヒストグラムの作成	星野 修平
	第12回 散布図の作成と相関係数の算出	星野 修平
	第13回 定性データの扱い方とクロス集計	星野 修平
	第14回 データ・AIを扱う上での留意事項	星野 修平
	第15回 データを守る上での留意事項	星野 修平
科目の目的	現代社会においては、ICTの進歩に伴い、大容量データの収集、蓄積と解析によって、様々な情報・知識を得ることが可能となった。ビックデータやAI、機械学習などを経て、様々な問題解決を行うデータサイエンスの基礎を学び、そのために必要なコンピュータの利用、統計学の知識、データ処理の手法を理解する。	
到達目標	データサイエンスに関する基礎的概念について理解し、コンピュータによってデータ解析が実践できる。 個別目標： ・データサイエンスについて基礎的概念を説明できる。 ・データサイエンスに必要なコンピュータの基本的操作が行える。	
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	倫理	
関連科目	基礎統計学, AI・ロボットと社会, AI・プログラミング入門	
成績評価方法・基準	授業内で実施する演習課題 (100%) *各回の授業では、授業の最後に提出課題があります。提出された課題についてのコメント等は、次の授業でまとめて行います。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	事前学習 (90分) で理解し、授業を通して学んだことの事後学習 (45分)	
教科書	改訂新版 AIデータサイエンスリテラシー入門 吉岡剛志, 森倉悠介, 小林領, 照屋健作 共著 2024. 技術評論社	
参考書	・データサイエンスの考え方 小澤 誠一・斎藤 政彦 共著、オーム社 ・改訂新版 初めてのAIリテラシー 岡嶋裕史 技術評論社	

オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照
履修条件・履修上の注意	MS-ExcelをインストールしたPC (WindowsPC、Mac等) を持参してください。
アクティブ・ラーニングの実施	実施しない
ナンバリング	MBVII-102

講義科目名称： AI・ロボットと社会

授業コード： 6M041

英文科目名称： AI, Robots, and Society

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
星野 修平			

授業形態	講義と演習（15回）	担当者
授業計画	<p>第1回 「AI・ロボットと社会」について 講義の目的を理解し、AI・ロボットが社会や医療に与える影響を考える</p> <p>第2回 人工知能(Artificial Intelligence: AI)の歴史と概要 AIの基本概念と歴史について学ぶ</p> <p>第3回 ロボットと社会 ロボットの定義と社会との関わりを理解する</p> <p>第4回 AIとロボットの歴史 ロボット研究とAIの関わりについて理解する</p> <p>第5回 AIの仕組み AIの仕組み、機械学習やニューラルネットワークの構造について学ぶ</p> <p>第6回 対話型ロボットとロボット社会 対話型ロボットと社会での役割を理解する</p> <p>第7回 アンドロイドとヒューマノイド アンドロイドやヒューマノイドの研究を通して人間について知る</p> <p>第8回 AI・ロボットの自律性 AI・ロボットと自律性について考える</p> <p>第9回 AI・ロボットの心・対話 AI・ロボットの心について考える</p> <p>第10回 AI・ロボットの身体 AI・ロボットの身体について考える</p> <p>第11回 人間と共生するAI・ロボット 人間と共生するAI・ロボットが構成する社会を考える</p> <p>第12回 AI・ロボットの意思決定アルゴリズム AI・ロボットの意思決定アルゴリズムについて知る</p> <p>第13回 アルゴリズムミック・バイアス 人間の認知バイアスとAIのアルゴリズムミック・バイアスについて知る</p> <p>第14回 医療・福祉・介護におけるAI・ロボットの活用 AI・ロボットの応用を社会適応を考える</p> <p>第15回 「AI・ロボットと社会」の未来 AI・ロボットが創造する近未来を考える</p>	<p>星野 修平</p> <p>星野 修平</p> <p>星野 修平</p> <p>星野 修平</p> <p>星野 修平</p> <p>星野 修平</p> <p>星野 修平</p> <p>星野 修平</p> <p>星野 修平</p> <p>星野 修平</p> <p>星野 修平</p> <p>星野 修平</p> <p>星野 修平</p> <p>星野 修平</p> <p>星野 修平</p> <p>星野 修平</p>
科目の目的	人工知能(Artificial Intelligence: AI)は、現在自動運転技術やAIロボット、AIスピーカーなどで社会実装され、様々な分野で急速に発展・普及している。今後の日本における社会問題である人口減少、少子高齢化、人材不足などに対応するため、AIやAIロボットの需要はさらに高まると予想され、新たな産業構造変化でもAIの活用が期待される。この講義では、生活の中に組み込まれるAIに関する基本的知識を学び、AIロボットなどで利用されるAI技術と活用事例を通して、その意義について理解する。	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 人工知能(Artificial Intelligence: AI)の基本的事項について説明できる。 AIロボットなどの社会実装に意義について説明できる。 AIと人間を対比させて、心と身体について理解する。 	
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	知識・理解・実践能力	
関連科目	心理学入門、コミュニケーション学入門、メディア・リテラシー、AI・データサイエンス・リテラシー、AI・プログラミング入門、多職種理解と医療コミュニケーション	
成績評価方法・基準	<p>授業内で実施する演習課題（50%）・課題レポート（50%）</p> <p>*各回の授業では、授業の最後に提出課題があります。提出された課題についてのコメント等は、次の授業でまとめて行います。</p> <p>*この授業のレポート課題については、講義の中で解説します。また、提出されたレポート課題については、成績判定後に、その概要を全体総括として公表します。</p>	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	本科目は15コマ（30時間）の演習科目のため、30時間分の準備学習時間（1コマあたり2時間（実時間数90分））が必要であり、事前学習（30分）・事後学習（30分）が目安となる。	
教科書	使用しない	
参考書	<ul style="list-style-type: none"> ロボットと人間 人とは何か 石黒 浩 岩波新書 AIシステムと人・社会との関係 山口高平・中谷多哉子 放送大学教材 データ分析に必須の知識・考え方 認知バイアス入門 山田典一 ソシム 	

オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照
履修条件・履修上の注意	授業中に実施する演習課題では、PCを使用しオンライン教材を利用するため、PC（Windows または OS X）を持参してください。
アクティブ・ラーニングの実施	本科目では、学生の主体的な学習方法であるアクティブ・ラーニングを活用したオンライン教材等を使用します。
ナンバリング	MBVII-103

講義科目名称： AI・プログラミング入門

授業コード： 6M042

英文科目名称： Introduction to AI and Programming

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
星野 修平			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2026年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	知識・理解・実践能力	
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	MBVII-201	

講義科目名称： スタディ・スキルズ

授業コード： 6M043

英文科目名称： Study Skills

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
峯村 優一	星野 修平	徳永 慎也	衣川 隆
	岩城 翔平	伊藤 栞	

授業形態	講義 (8回)	担当者
授業計画	第1回 スタディ・スキル① ・大学生になるということ ・大学で学ぶ意義と授業の受け方 ・スタディスキルとは？	峯村 優一
	第2回 スタディ・スキル② ・履修計画を立てる ・ノートを取る ・講義に参加する	星野 修平
	第3回 ライフスキル① ・学生生活の過ごし方 ・学生生活で求められる道徳や倫理・マナー	峯村 優一
	第4回 コミュニケーションスキル① ・対人コミュニケーション ・オンラインコミュニケーション ・SNSの活用と課題	伊藤 栞
	第5回 ライフスキル② ・キャリアデザイン キャリアサポートセンター GS：茂木洋子	岩城 翔平
	第6回 ライフスキル③ 特別講義：樋口 建介 群馬パース大学理事長 ・私の教育の原点 ・美しく・健やかに・元気で・昇天する ・パースの夢	衣川 隆
	第7回 コミュニケーションスキル② ・言語コミュニケーション ・異文化コミュニケーション	新規教員
	第8回 スタディ・スキル③ ・大学生に求められる教養とは ・生涯にわたって学び続けること	徳永 慎一
*	授業ごとの課題提出について 各回の授業では、授業の最後に提出課題があります。提出された課題についてのコメント等は、次回の授業でまとめて行います。	
**	授業ごとのフィードバック・シートの提出について 各回の授業では、授業後のフィードバック・シートの提出を求めます。	
***	レポート課題について この授業のレポート課題については、講義の中で解説します。また、提出されたレポート課題については、成績判定後に、その概要を全体総括として公表します。	
科目の目的	社会人に出てから必要とされる教養は、幅広いジャンル、様々専門分野の多くの知識に触れることで多様な価値観や考え方を身につけ、学ぶ力（スタディ・スキル）を身につけることが重視される。大学4年間で社会が求める教養力を身につけるには「専門の知」から自身の成長とともに「深い問い」を自問し、自ら容易に答えの得られない「問い」を追い続けるための持続的な教養スキルが求められる。この授業では、大学生に求められる「スタディ・スキル」を獲得することを目的とする。 スタディ・スキルを①ライフ・スキル、②コミュニケーション・スキル、③スタディ・スキルの3つのパートとして捉え、関係するトピックを交え、オムニバス形式で授業展開を行う。また、学修活動には「自己学習力シート」を利用し、ルーブリックを活用した主体的な学びを目指す。	
到達目標	1. 社会の中で生きる意義について自ら考えることができる 2. 責任ある大人としての生活に必要な、基本的な生活習慣を身につけ、大学生活で実践できる。 3. 大学での学習に必要な学習習慣・学習技術を理解し、授業やレポート作成で実践できる。	
「ディプロマ・ポ	表現・技能・判断能力	

リシー」キーワード	
関連科目	全ての授業科目
成績評価方法・基準	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中の課題への取り組み 30% ・フィードバックシート、ワークシートなど学修内容の理解・修得度 40% ・レポート・学修目標の達成度 30%
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	本科目は7.5コマ（15時間）の演習科目のため、30時間分の準備学習時間（1コマあたり4時間（実時間数180分））が必要であり、事前学習（90分）・事後学習（90分）が目安となる。
教科書	使用しない
参考書	<ul style="list-style-type: none"> ・学生のための社会人入門 柴岡新一郎 監著 技術評論社 ・スタディスキルズ・トレーニング 改訂版 吉原恵子 他 実教出版 ・大学生のためのキャリアガイドブック Ver.2 寿山 泰二 他 北大路出版
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照
履修条件・履修上の注意	授業中に演習では、PCを使用しオンライン教材を利用するため、PC（Windows またはOS X）を持参してください。
アクティブ・ラーニングの実施	本科目では、学生の主体的な学習方法であるアクティブ・ラーニングを活用したオンライン教材等を使用します。
ナンバリング	MCVIII-101

講義科目名称： アカデミック・スキルズ

授業コード： 6M044

英文科目名称： Academic Skills

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
峯村 優一	星野 修平	徳永 慎也	

授業形態	講義 (8回)	担当者
授業計画	第1回 リサーチ・リテラシー① ・リサーチスキルの意味 ・インターネットの利用とデータ収集 ・図書館を活用する (図書館 佐藤 駿介/細矢 芽)	星野 修平
	第2回 リサーチ・リテラシー② ・大学の理念、教育の理念 ・群馬パース大学の教育の理念を聞き、大学の学びを考える 特別講義：藤田 清貴 群馬パース大学学長	峯村 優一
	第3回 リサーチ・リテラシー③ ・データの見方、データの集計 ・論理的な表現 ・論証と検定	星野修平
	第4回 リサーチ・リテラシー④ ・学習に関する倫理 ・研究に関する倫理	峯村 優一
	第5回 アカデミック・リーディング① ・文書を読み、正確に理解する ・学術文書を読む際の心構えと注意点	峯村 優一
	第6回 アカデミック・リーディング② ・英語論文の読み方 ・レポート・論文に相応しい文章構造を考える	峯村 優一
	第7回 アカデミック・ライティング① ・レポートの書き方 ・レポートとは何か、レポート作成の手順、よいレポートとは	徳永 慎也
	第8回 アカデミック・ライティング② ・論文作法 ・講義レポートの形式 ・授業課題の提出	徳永 慎也
	*授業ごとの課題提出について 各回の授業では、授業の最後に提出課題があります。提出された課題についてのコメント等は、次回の授業でまとめて行います。 **授業ごとのフィードバック・シートの提出について 各回の授業では、授業後のフィードバック・シートの提出を求めます。 ***レポート課題について この授業のレポート課題については、講義の中で解説します。また、提出されたレポート課題については、成績判定後に、その概要を全体総括として公表します。	
科目の目的	医療専門職になるためには、大学教育によって専門的な知識・技術を獲得する能力とその対象とされる人間を深く理解し、尊厳を尊重し、生きることへの深い執着と感動に共感できる人間力が重要である。高度な医療専門職になるために必要な生涯にわたって学び続けるための力（アカデミック・スキル）を身につけることを目的とする。 アカデミック・スキルを①アカデミック・リーディング、②アカデミック・ライティング、③リサーチ・リテラシーの3つのパートとして捉え、関係するトピックを交え、オムニバス形式で授業展開を行う。 また、学修活動には「自己学習力シート」を利用し、ルーブリックを活用した主体的な学びを目指す。	
到達目標	1. 大学での学ぶ意義と学習に必要な学習習慣・学習技術を理解し、授業やレポート作成で実践できる。 2. 学術の知と探求に意義を見出し、自ら学ぶ姿勢を持ち、多角的な視点での理解を深める。 3. 医療専門職の基盤となる学術に興味を持ち、クリティカル・リーディングの手法を身につける。	

「ディプロマ・ポリシー」キーワード	表現・技能・判断能力
関連科目	全ての授業科目
成績評価方法・基準	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中の課題への取り組み 30% ・フィードバックシート、ワークシートなど学修内容の理解・修得度 40% ・レポート・学修目標の達成度 30%
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	本科目は7.5コマ（15時間）の演習科目のため、30時間分の準備学習時間（1コマあたり4時間（実時間数180分））が必要であり、事前学習（90分）・事後学習（90分）が目安となる。
教科書	使用しない
参考書	<ul style="list-style-type: none"> ・アカデミック・スキルズ 大学生のための知的技法入門 佐藤望 監著 慶應義塾大学出版会 ・ピア活動で身につけるアカデミック・スキル入門 伊藤奈賀子 有斐閣ブックス ・大学生のためのリサーチ・リテラシー入門 研究のための8つの力 山田剛史 ミネルヴァ書房
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照
履修条件・履修上の注意	授業中に演習では、PCを使用しオンライン教材を利用するため、PC（Windows またはOS X）を持参してください。
アクティブ・ラーニングの実施	本科目では、学生の主体的な学習方法であるアクティブ・ラーニングを活用したオンライン教材等を使用します。
ナンバリング	MCVIII-102

講義科目名称： 多職種理解と医療コミュニケーション

授業コード： 6M045

英文科目名称： Multidisciplinary Understanding and Medical Communication

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
峯村 優一	星野 修平	伊藤 栞	矢島 正栄
	佐藤 満	松下 誠	本田 佳子
授業形態	講義（13回）と演習（3回）		担当者
授業計画	<p>第1回 多職種で構成される専門職の理解</p> <p>第2回 多職種連携とチーム・アプローチの基本構造</p> <p>第3回 多職種連携を支える医療情報連携</p> <p>第4回 多職種連携・チーム医療を支える医療倫理</p> <p>第5回 多職種連携・チーム医療を構成する専門職① 医学と医師</p> <p>第6回 多職種連携・チーム医療を構成する専門職② 看護学と関連する専門職</p> <p>第7回 多職種連携・チーム医療を構成する専門職③ リハビリテーション学と関連する専門職</p> <p>第8回 多職種連携・チーム医療を構成する専門職④ 医療技術学（臨床検査学・診療放射線学・臨床工学）と関連する専門職</p> <p>第9回 多職種連携・チーム医療を構成する専門職⑤ 薬学と関連する専門職</p> <p>第10回 多職種連携・チーム医療を構成する専門職⑥ 栄養学と関連する専門職</p> <p>第11回 多職種連携・チーム医療を構成する専門職⑦ 教育学・社会福祉学と関連する専門職</p> <p>第12回 多職種連携・チーム医療を構成する専門職⑧ 心理学と関連する専門職</p> <p>第13回 医療面接と医療コミュニケーション（演習）</p> <p>第14回 患者と患者家族、医療専門職の心理</p> <p>第15回 多職種連携とチーム医療の未来</p>		<p>峯村 優一</p> <p>星野修平</p> <p>星野 修平</p> <p>峯村 優一</p> <p>星野修平</p> <p>矢島 正栄</p> <p>佐藤 満</p> <p>松下 誠</p> <p>星野修平</p> <p>本田 佳子</p> <p>星野修平</p> <p>伊藤 栞</p> <p>伊藤 栞</p> <p>伊藤 栞</p> <p>峯村 優一</p>
	<p>*授業ごとの課題提出について 各回の授業では、授業の最後に提出課題があります。提出された課題についてのコメント等は、次回の授業でまとめて行います。</p> <p>**授業ごとのフィードバック・シートの提出について 各回の授業では、授業後のフィードバック・シートの提出を求めます。</p> <p>***レポート課題について この授業のレポート課題については、講義の中で解説します。また、提出されたレポート課題については、成績判定後に、その概要を全体総括として公表します。</p>		
科目の目的	人間を取りまく保健・医療・福祉・介護のアプローチは、国家資格を基本とする高度医療専門職で構成する多職種連携チームで行われる。医療専門職は、職種を形成する法的根拠に基づき専門知識と技術を有し、その育成段階においては、広い他職種の相互理解から、より専門的なプロフェッショナルリズム教育を経て、専門的知識、技術を習得し、その成果として国家資格受験資格を獲得する。この科目では、多職種連携チームを構成する医療専門職の役割と特徴、プロフェッショナルリズム教育の目的と意義について学ぶ。また、コミュニケーションの基本である言語・非言語コミュニケーション、診療情報の伝達と共有による医療情報連携の基本や患者と医療専門職者間で行われる医療コミュニケーションの基本と技術を学ぶ。		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 多職種で構成される医療専門職について法的根拠と責任について説明できる。 多職種で構成される医療について、その特徴と機能について説明できる。 医療コミュニケーションの特徴について説明できる。 		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	人間性・思考・判断力		
関連科目	心理学入門、コミュニケーション学入門、各学科で開講される医療職連携科目		

成績評価方法・基準	授業内で実施する演習課題（50％）・課題レポート（50％）
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	本科目は15コマ（30時間）の演習科目のため、30時間分の準備学習時間（1コマあたり2時間（実時間数90分））が必要であり、事前学習（45分）・事後学習（45分）が目安となる。
教科書	使用しない
参考書	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーション論・多職種連携論 内山 靖・藤井浩美・立石雅子編 医歯薬出版2021 ・医療者のためのコミュニケーション入門 杉本なおみ 精神看護出版 ・医療コミュニケーション 実証研究への多目的アプローチ 医療コミュニケーション研究会 篠原出版新社
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照
履修条件・履修上の注意	授業中に演習では、PCを使用しオンライン教材を利用するため、PC（Windows またはOS X）を持参してください。
アクティブ・ラーニングの実施	本科目では、学生の主体的な学習方法であるアクティブ・ラーニングを活用したオンライン教材等を使用します。
ナンバリング	MCVIII-103

講義科目名称： 解剖学

授業コード： 6M046

英文科目名称： Anatomy

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
浅見 知市郎			

授業形態	講義(15回)	担当者
授業計画	<p>第1回 序論 解剖学とは何か 上皮組織 支持組織 筋組織 神経組織 人体の外形と方向用語</p> <p>第2回 骨格系 骨格とは何か 骨の連結・関節 頭部の骨 脊柱 胸郭 上肢の骨 骨盤 下肢の骨</p> <p>第3回 筋系 筋の構造と機能 頭頸部の筋 胸腹部の筋 上肢の筋 下支の筋</p> <p>第4回 脈管系1 血管系総論 心臓 刺激伝導系 心臓の血管(冠状動脈) 生理学的検査に対応する。</p> <p>第5回 脈管系2 肺循環と体循環 動脈系 静脈系 胎生時の循環系 リンパ系 脾臓 胸腺 採血に対応する。</p> <p>第6回 消化器系1 内臓学総論(粘膜 腺) 口腔(歯) 口腔(口蓋 舌 唾液腺) 咽頭 食道 検体採取(経口、消化管内視鏡検査)に対応する。</p> <p>第7回 消化器系2 胃 小腸(十二指腸 空腸 回腸) 大腸(盲腸 結腸 直腸) 肝臓 胆嚢 膵臓 検体採取(経口、消化管内視鏡検査)に対応する。</p> <p>第8回 呼吸器系 鼻腔 副鼻腔 喉頭 気管 気管支 肺 胸膜 検体採取(経鼻又は気管カニューレ内部からの喀痰吸引)に対応する。</p> <p>第9回 泌尿生殖器系 泌尿器(腎臓 尿管 膀胱 尿道) 男性生殖器(精巣 精巣上体精管 精嚢 前立腺 陰茎 精液 精子) 女性生殖器(卵巣 卵管 子宮 膣 外陰部 胎盤) 腹膜</p> <p>第10回 内分泌系 下垂体(前葉 後葉) 松果体 甲状腺 上皮小体 副腎(皮質 髄質) 膵臓のランゲルハンス島 そのほかの内分泌腺とホルモン</p> <p>第11回 神経系1 神経系の構成 中枢神経系(脊髄 延髄 橋 小脳 中脳 間脳 大脳)</p> <p>第12回 神経系2 脳室 脳脊髄膜 脳脊髄液 末梢神経(脳神経)</p> <p>第13回 神経系3 末梢神経(脊髄神経) 自律神経(交感神経 副交感神経) 伝導路(反射路 求心性伝導路 遠心性伝導路)</p> <p>第14回 感覚器系 視覚器(眼球 眼球の付属器) 平行聴覚器(外耳 中耳 内耳) 皮膚(表皮 真皮 皮下組織 角質器 皮膚の腺)</p> <p>第15回 人体の発生のあらまし 受精から出生まで</p>	浅見 知市郎 浅見 知市郎 浅見 知市郎 浅見 知市郎 浅見 知市郎 浅見 知市郎 浅見 知市郎 浅見 知市郎 浅見 知市郎 浅見 知市郎 浅見 知市郎 浅見 知市郎 浅見 知市郎 浅見 知市郎 浅見 知市郎
科目の目的	臨床検査技師としての基本知識となる人体の解剖学的構造を習得する。採血、検体採取(経口、経鼻又は気管カニューレ内部からの喀痰吸引、消化管内視鏡検査によるものも含む)及び生理学的検査に対応する。	
到達目標	人体の基本的な器官系の位置、構造、発生について説明できる。	
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	知識・理解・実践能力	
関連科目	生理学 病理学	

成績評価方法・基準	定期試験100%
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	1コマ当たり4時間を目安とする。
教科書	「入門人体解剖学(改訂第6版)」藤田恒夫著 藤田信也改訂 (南江堂)
参考書	特に無し
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照
履修条件・履修上の注意	Active Academyによる講義資料の配付期間：講義の1週間前から学期末まで。講義ノートは授業までに印刷しておくこと。 <ul style="list-style-type: none"> ・健康食品管理士受験資格取得のための要件科目 ・遺伝子分析科学認定士（初級）受験資格取得のための要件科目
アクティブ・ラーニングの実施	実施なし
ナンバリング	MFIX-101

講義科目名称： 生化学

授業コード： 6M048

英文科目名称： Biochemistry

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
木村 鮎子			

授業形態	講義(15回)	担当者
授業計画	第1回 生化学を学ぶための基礎 生化学で基礎となる物質の構成, 官能基, 細胞小器官, 物質量 第2回 糖質 糖質の基礎 (構造, 異性体), 糖質の分類 (単糖, オリゴ糖, 多糖, 複合糖質) 第3回 脂質 脂質の基礎 (構造), 脂質の分類 (単純脂質, 複合脂質, 誘導脂質, その他の脂質) 第4回 タンパク質とアミノ酸 アミノ酸 (構造, 種類, 性質), ペプチド結合, タンパク質 (構造, 分類, 性質) 第5回 酵素 酵素の分類と性質, 逸脱酵素, 酵素反応速度論, 阻害剤, 酵素活性の調節 第6回 核酸 核酸の基礎 (構造と種類), DNAの複製とタンパク質合成の流れ, 遺伝子突然変異 第7回 ビタミン ビタミンの分類 (脂溶性ビタミンと水溶性ビタミン), ビタミンの機能と欠乏症 第8回 ホルモン ホルモンの分類と機能, 各種ホルモンによる生体調節, ホルモンと疾患 第9回 ミネラル ミネラルの生理機能, 多量ミネラルと微量ミネラル, ミネラルと疾患 第10回 糖質代謝 (1) 糖質代謝の概要, 糖質の消化と吸収, 解糖系とTCA回路・電子伝達系 第11回 糖質代謝 (2) 糖新生, グリコーゲンの合成と分解, ペントースリン酸回路, 糖代謝異常と疾患 第12回 脂質代謝 中性脂肪の合成と分解, 脂肪酸の合成と β 酸化, リン脂質・ケトン体・コレステロールの合成, 脂質の輸送, 脂質代謝異常と疾患 第13回 タンパク質・アミノ酸の代謝 タンパク質の消化, アミノ酸の分解と尿素回路, 糖原生アミノ酸とケト原生アミノ酸, アミノ酸代謝異常と疾患 第14回 核酸代謝 核酸の合成と分解, 尿酸の生成 第15回 まとめ 代謝と生体エネルギー合成, 中間代謝	木村 鮎子 木村 鮎子 木村 鮎子 木村 鮎子 木村 鮎子 木村 鮎子 木村 鮎子 木村 鮎子 木村 鮎子 木村 鮎子 木村 鮎子 木村 鮎子 木村 鮎子 木村 鮎子 木村 鮎子 木村 鮎子
科目の目的	生体物質の構造, 機能とその代謝について学び, 病態に関わる生化学の基礎知識を習得する。	
到達目標	1. 糖質・脂質・タンパク質(アミノ酸)・核酸の構造, 性質, 代謝過程と役割について理解できること。 2. 生体内でのビタミン, ホルモン, ミネラル, 酵素の役割が理解できること。	
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	知識・理解・実践能力	
関連科目	化学, 生物学, 生理学, 病態薬理学, 健康食品学, 遺伝子検査学, 臨床化学検査学, 臨床検査学総論	
成績評価方法・基準	定期試験 (70%), ミニテスト (30%)により評価する。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	講義内容が理解できるよう, 講義前後に4時間程度, 予習・復習を行う。	
教科書	栄養科学イラストレイテッド生化学 (羊土社) 藺田 勝 編	
参考書	自分で作る生化学ワークノート (MCメディカ出版) 中元 伊知郎 著 臨床検査学講座 生化学 (医歯薬出版) 阿部 喜代司・岡村 直道・吉岡 耕一・原 諭吉 著 栄養科学シリーズ NEXT 生化学 (講談社) 加藤 秀夫・中坊 幸弘 編	
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	

履修条件・履修上の注意	付加資格「健康食品管理士」及び「遺伝子分析科学認定士（初級）」の受験資格基準カリキュラム
アクティブ・ラーニングの実施	なし
ナンバリング	MFIX-103

講義科目名称： 臨床栄養学

授業コード： 6M049

英文科目名称： Clinical Nutrition

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
本田 佳子			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2026年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	知識・理解・実践能力	
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	MFIIX-201	

講義科目名称： 病理学

授業コード： 6M050

英文科目名称： General Pathology

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
柳田 絵美衣	濱田 誠	柳井 広之	山田 寛

授業形態	講義(15回)	担当者
授業計画	<p>第1回 第1章病理学総論 I. 病理学とは何か【病理学の意義・病理学の中身・疾病の成立・病理解剖】</p> <p>第2回 II. 染色体・遺伝子・発生の異常【染色体と遺伝子の異常・染色体異常症・先天性形態異常(奇形)】</p> <p>第3回 III. 組織細胞傷害とその修復機構 -1【組織細胞傷害をきたす因子と傷害機序】 -2【細胞傷害の形態像】 -3【壊死】 -4【アポトーシス】</p> <p>第4回 III. 組織細胞傷害とその修復機構 -5¹⁰【肥大・過形成・萎縮・化生・再生・創傷の治癒と肉芽組織】</p> <p>第5回 IV. 物質代謝異常【糖質代謝異常・脂質代謝異常・蛋白質とアミノ酸代謝異常・生体色素代謝異常・無機物代謝異常】</p> <p>第6回 V. 循環障害 -1【局所の循環障害】 虚血・充血・うっ血・血行静止・出血・血栓症・塞栓症・梗塞</p> <p>第7回 V. 循環障害 -2【全身の循環障害】 浮腫・傍側循環・ショック・高血圧症</p> <p>第8回 VI. 炎症 -1【炎症の形態的経過】 細胞と組織の傷害・微小循環の変化</p> <p>第9回 VI. 炎症 -1【炎症の形態的経過】 液性渗出物・炎症の転帰・炎症性細胞の浸潤</p> <p>第10回 VI. 炎症 VI. 炎症 -2⁵【炎症性細胞・炎症のケミカルメディエータ・補体系・急性炎症と慢性炎症】 -6【炎症による全身症状】 -7【炎症の諸型】 化膿性炎・カタル性炎・増殖性炎・特異性炎</p> <p>第11回 VII. 免疫異常 VII. 免疫異常【免疫の機構・免疫反応とアレルギーの型・免疫不全・後天性免疫不全症候群(エイズ)・移植と拒絶反応・自己免疫疾患】 病態薬理</p> <p>第12回 VIII. 腫瘍 -1³【腫瘍の定義・組織学的分類・良性腫瘍と悪性腫瘍】</p> <p>第13回 VIII. 腫瘍 -4⁶【異型性と組織学的分化度・多発がんと重複がん・がんの広がり方】</p> <p>第14回 VIII. 腫瘍 -7¹⁰【がんの進行度・腫瘍随伴症候群・腫瘍の生物学】</p> <p>第15回 VIII. 腫瘍 -11【がん遺伝子とがん抑制遺伝子】</p>	<p>柳田 絵美衣</p> <p>柳田 絵美衣</p> <p>柳田 絵美衣</p> <p>柳田 絵美衣</p> <p>山田 寛</p> <p>柳井 広之</p> <p>柳田 絵美衣</p> <p>濱田 誠</p> <p>濱田 誠</p> <p>濱田 誠</p> <p>柳田 絵美衣</p> <p>柳田 絵美衣</p> <p>柳田 絵美衣</p> <p>柳田 絵美衣</p>
科目の目的	本講義では、臨床検査技師として必要な病理学の基礎知識を習得することを目的とする。疾患の本態を理解するために、細胞や組織の形態変化、炎症・腫瘍などの病的プロセスについて学ぶ。病理学的知見は臨床検査結果の正確な解釈や検体の適切な取扱いに直結するため、講義を通じて病理学的視点を養い、診断支援やチーム医療への貢献に必要な基盤を築く。	
到達目標	1. 病理学の基本的概念を説明できる。 正常組織と病的組織の違い、病因・病態の基本用語を理解し、説明できる。 2. 組織・細胞の病的変化を理解し、代表的な形態変化を説明できる。 細胞障害、壊死、炎症、修復、腫瘍性変化などの機序と組織所見を理解する。	
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	知識・理解・実践能力	
関連科目	解剖学、病理検査学、病理学演習	
成績評価方法・基準	定期試験(100%)で成績とする。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	各回の授業内容について事前学習(予習)と事後学習(復習)を行うこと。 事前学習に必要な時間の目安は4時間程度。	
教科書	教科書：教科書：最新 臨床検査学講座 病理学/病理検査学 松原修他著 (医歯薬出版) 染色法のすべて 水口國雄 編集代表 (医歯薬出版)	

	プリント： 必要に応じて、講義時に配布する。
参考書	参考書：ポケットマスター臨床検査知識の整理 病理学／病理組織細胞学 福留信幸著（医歯薬出版） 臨床検査技師国家試験解説集 Complete+MT 2025 Vol.4 病理組織細胞学（日本医歯薬研修出版）
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照
履修条件・履修上の注意	臨床検査技師国家試験受験資格取得のための要件科目 遺伝子分析科学認定士（初級）受験資格のための要件科目
アクティブ・ラーニングの実施	実施なし
ナンバリング	MF X-101

講義科目名称： 病態薬理学

授業コード： 6M051

英文科目名称： Pathophysiology

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
福地 守			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2026年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	知識・理解・実践能力	
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	MF X-201	

講義科目名称： 基礎臨床検査学

授業コード： 6M052

英文科目名称： Basic Clinical Laboratory Science

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
松下 誠	山田 俊幸	寺澤 文子	高橋 克典
	林 由里子	柳田 絵美衣	三浦 佑介・梶田 幸夫

授業形態	講義(15回)	担当者
授業計画	<p>第1回 臨床検査の概要</p> <p>第2回 臨床化学検査の概要と健康・疾病との関係</p> <p>第3回 一般臨床検査の概要と健康・疾病との関係</p> <p>第4回 免疫検査の概要と健康・疾病との関係</p> <p>第5回 血液検査の概要と健康・疾病との関係</p> <p>第6回 輸血・移植検査の概要と健康・疾病との関係</p> <p>第7回 微生物検査の概要と健康・疾病との関係 (1)</p> <p>第8回 微生物検査の概要と健康・疾病との関係 (2)</p> <p>第9回 病理検査の概要と健康・疾病との関係</p> <p>第10回 遺伝子検査の概要と健康・疾病との関係</p> <p>第11回 生理機能検査の概要と健康・疾病との関係 (1)</p> <p>第12回 生理機能検査の概要と健康・疾病との関係 (2)</p> <p>第13回 臨床検査が関わるチーム医療</p> <p>第14回 臨床検査データと健康・疾病との関係 (1)</p> <p>第15回 臨床検査データと健康・疾病との関係 (認知症の検査を含む) (2)</p>	<p>松下 誠</p> <p>松下 誠</p> <p>高橋 克典</p> <p>高橋 克典</p> <p>林 由里子</p> <p>林 由里子</p> <p>三浦 佑介</p> <p>三浦 佑介</p> <p>柳田 絵美衣</p> <p>柳田 絵美衣</p> <p>寺澤 文子</p> <p>寺澤 文子</p> <p>林 由里子</p> <p>山田 俊幸</p> <p>山田 俊幸</p>
科目の目的	高度化する医療ニーズに対応した検査情報の提供を実践するため、臨床検査の基礎となる知識と技術の基礎を学修し、病院検査室、救急や病棟、健診など様々な現場で行われる疾病の予防・診断・治療に関わる臨床検査の基礎を理解するとともに、疾病の成因を系統的に把握、理解する。	
到達目標	1. 臨床検査のおよその概要を説明できる。 2. 代表的な検査と健康・疾病との関係を説明できる。	
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	知識・理解・実践能力	
関連科目	臨床検査学総論、臨床化学検査学、血液検査学、免疫検査学、病理検査学、微生物検査学、生理機能検査学、遺伝子検査学、輸血検査学、臨床検査医学	
成績評価方法・基準	定期試験100%により成績の評価を行う。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	本科目は、30時間（15コマ）2単位の科目となる。1コマあたり4時間の自己学習が必要となる。	
教科書	特になし。各担当教員から講義資料を提示する。	
参考書	各担当教員から提示する。	
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラー	なし	

ニングの実施	
ナンバリング	MF X-102

履修条件・履修上の注意	状況に応じて内容が変更される場合があります。
アクティブ・ラーニングの実施	テーマについて書かれた数種類の資料をパートごとに話し合いながら知識を深める。
ナンバリング	MF XI-101

講義科目名称： 公衆衛生学

授業コード： 6M054

英文科目名称： Public Health

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
木村 博一	木村 朗		

授業形態	講義(15回)	担当者
授業計画	<p>第1回 公衆衛生学総論・新型コロナウイルス感染症の概要 公衆衛生学・インフルエンザ・新型コロナウイルス感染症の概要について講義する。</p> <p>第2回 感染症疫学総論 感染症疫学について概説する。</p> <p>第3回 感染症各論 結核、エイズならびに新興再興感染症について概説する。</p> <p>第4回 疫学総論（集団の健康と疾病の概念） 疫学概要、記述疫学、分析疫学ならびにコホート研究について概説する。</p> <p>第5回 疫学各論（疫学の方法） 系統誤差・偶発誤差、因果関係論ならびに保健統計について概説する。</p> <p>第6回 生活習慣病総論（ライフスタイルと健康） NCDの概要、動脈硬化性疾患、予防ならびに健康教育について概説する。</p> <p>第7回 親子保健（発達・成長と健康） 親子保健（発達・成長と健康）の概要と課題について概説する。</p> <p>第8回 労働衛生・産業保健の概要 社会・環境と健康の概要と課題について概説する。</p> <p>第9回 健康危機管理（1） 食品衛生・食の安全について概説する。</p> <p>第10回 健康危機管理（2） 感染症発生時や災害時の対応について概説する。</p> <p>第11回 院内感染対策概説 院内感染の現状と対策について概説する。</p> <p>第12回 精神保健概説 精神保健や自殺対策について概説する。</p> <p>第13回 生活環境・環境と健康・地球温暖化 生活環境・環境と健康・地球温暖化などの諸問題について概説する。</p> <p>第14回 保健医療行政概説 地域包括ケアシステムを含む保健医療行政について概説する。</p> <p>第15回 がんの統計と疫学 がん対策・がん登録について概説する。</p>	<p>木村 博一</p> <p>木村 博一</p> <p>木村 博一</p> <p>木村 朗</p> <p>木村 朗</p> <p>木村 朗</p> <p>木村 朗</p> <p>木村 朗</p> <p>木村 朗</p> <p>木村 博一</p> <p>木村 博一</p> <p>木村 博一</p> <p>木村 朗</p> <p>木村 朗</p> <p>木村 朗</p> <p>木村 朗</p>
科目の目的	健康及び公衆衛生の基本的概念を学習する。各種疾患対策、環境対策と統計、疫学、健康教育、試験検査が織りなす総合科学であり、活動であることを理解する。	
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 生活者の健康の保持・増進を目的とする公衆衛生活動を理解する。 公衆衛生活動は、政治、経済、社会の動向と密接に関連していることを理解し、広い視野を養う。公衆衛生活動の基礎的技法として、集団からアプローチする疫学、保健統計、地域組織活動等を理解する。 	
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	知識・理解・実践能力	
関連科目	生命倫理、環境学、社会学、情報処理、感染と免疫、微生物検査学	
成績評価方法・基準	定期試験（期末試験）100%	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	準備学習に必要な学習時間の目安 1コマあたり4時間（実時間180分）	
教科書	<p>【教科書】 初めて学ぶやさしい疫学 日本疫学会標準テキスト（南江堂）</p> <p>【教科書】 身体活動学入門、木村 朗（三共出版）</p>	
参考書	特になし。	
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	

履修条件・履修上の注意	
アクティブ・ラーニングの実施	課題を提示するので、それまでに学習した内容を駆使して各自回答を仕上げるセッションを設ける。
ナンバリング	MFXI-102

講義科目名称： 医用電子工学

授業コード： 6M055

英文科目名称： Medical Electronics

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
花田 三四郎	島崎 直也	丸下 洋一	

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2026年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	知識・理解・実践能力	
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	MF XII-201	

講義科目名称： 情報科学概論

授業コード： 6M056

英文科目名称： Introduction to Information Science

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
星野 修平			

授業形態	講義	担当者
授業計画	※今年度開講せず（2026年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	知識・理解・実践能力	
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	MF XII-202	

講義科目名称： 検査機器総論

授業コード： 6M057

英文科目名称： Clinical Laboratory Instruments

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
石垣 宏尚			

授業形態	講義（13回）、演習（2回）		担当者
授業計画	第1回	序論 用手法と検査機器、取り扱い上の注意点と心構え	石垣 宏尚
	第2回	共通器具の原理・構造1 化学容量器、秤量装置	石垣 宏尚
	第3回	共通器具の原理・構造2 攪拌装置、恒温装置	石垣 宏尚
	第4回	共通器具の原理・構造3 保冷装置、滅菌装置	石垣 宏尚
	第5回	純水製造装置 蒸留法、脱イオン法、逆浸透法	石垣 宏尚
	第6回	測光装置 分光光度計、蛍光光度計	石垣 宏尚
	第7回	顕微鏡装置 光学顕微鏡、電子顕微鏡	石垣 宏尚
	第8回	電気化学装置 pHメータ、イオン選択性電極	石垣 宏尚
	第9回	分離分析装置1 遠心分離装置、電気泳動装置	石垣 宏尚
	第10回	分離分析装置2 クロマトグラフィ	石垣 宏尚
	第11回	その他の検査機器 血液成分採血装置、消化管内視鏡機器、検体採取関連機器	石垣 宏尚
	第12回	自動分析装置 生化学、血液学等	石垣 宏尚
	第13回	マイクロピペット演習 マイクロピペットの使い方・注意点	石垣 宏尚
	第14回	光学顕微鏡演習 光学顕微鏡の使い方・注意点	石垣 宏尚
	第15回	まとめ 各回のポイントについて	石垣 宏尚
科目の目的	臨床現場で使用されている分析機器の原理・構造を学び、検査に必要な基本的な知識の習得を目的とする。		
到達目標	1. 共通器具の原理、操作法、使用上の注意点を説明できる。 2. 分析機器の原理、操作法、使用上の注意点を説明できる。 3. 分離分析機器の臨床検査への応用を学ぶ。		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	知識・理解・実践能力		
関連科目	医用電子工学		
成績評価方法・基準	定期試験（100％）		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	事前に教科書に目を通しておく。準備学習に必要な学習時間の目安は概ね1コマ4時間。		
教科書	教科書：臨床検査学講座 検査機器総論（医歯薬出版）		
参考書	なし		
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照		
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照		
履修条件・履修上の注意	講義資料はActive Academyにて配布 配布期間：前回授業翌日から当該日まで 持参方法：各自印刷もしくはPCにダウンロードして授業に持参すること 健康食品管理士 必修科目		

アクティブ・ラーニングの実施	実施なし
ナンバリング	MFXI-101

講義科目名称： 臨床検査医学 I

授業コード： 6M058

英文科目名称： Lecture in Clinical Laboratory Medicine I

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
山田 俊幸	松本 剛	小谷 和彦	岩津 好隆

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2026年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	知識・理解・実践能力	
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	MSXIII-201	

講義科目名称： 臨床検査医学Ⅱ

授業コード： 6M059

英文科目名称： Lecture in Clinical Laboratory Medicine II

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
山田 俊幸	松本 剛	菅野 光俊	

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2026年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	知識・理解・実践能力	
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	MSXIII-301	

講義科目名称： 臨床検査解析学 (Reversed CPC)

授業コード： 6M060

英文科目名称： Reversed-Clinicopathological Conference

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	4学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
山田 俊幸			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず (2026年度カリキュラム)	
科目の目的		
到達目標		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	表現・技能・判断能力	
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	MSXIII-401	

講義科目名称： 血液検査学

授業コード： 6M061

英文科目名称： Laboratory Hematology

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
林 由里子			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2026年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	知識・理解・実践能力	
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	MSXIV-201	

講義科目名称： 血液検査学演習

授業コード： 6M062

英文科目名称： Exercises in Laboratory Hematology

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
林 由里子			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2026年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	表現・技能・判断能力	
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	MSXIV-202	

講義科目名称： 血液検査学実習

授業コード： 6M063

英文科目名称： Praticice in Laboratory Hematology

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
林 由里子			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2026年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	表現・技能・判断能力	
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	MSXIV-203	

講義科目名称： 病理検査学

授業コード： 6M064

英文科目名称： Pathology Laboratory Science

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
柳田 絵美衣			

授業形態	講義(15回)	担当者
授業計画	<p>第1回 病理検査学序論 病理検査学とは何か 病理組織検査における臨床検査技師の役割</p> <p>第2回 パラフィン包埋標本作製1 パラフィン包埋標本作製の意義</p> <p>第3回 パラフィン包埋標本作製2 各種固定液、脱灰、</p> <p>第4回 パラフィン包埋標本作製3 切り出し、脱水、脱アルコール、薄切</p> <p>第5回 凍結包埋標本作製</p> <p>第6回 HE染色 染色のメカニズム、染色手順</p> <p>第7回 膠原線維染色法・細網線維染色法 Azan染色、Masson's trichrome染色、鍍銀染色</p> <p>第8回 弾性線維染色法 Elastica Van Gieson染色、Orcein染色、Victoria blue染色</p> <p>第9回 糸球体基底膜染色法 PAM染色、PAS染色</p> <p>第10回 組織内病原体染色法 Ziehl-Neelsen染色、Grocott's染色、Mucicarmine染色、Orcein染色、Victoria blue染色、Warthin-Starry染色、Giemsa染色、PAS反応</p> <p>第11回 多糖類染色法 PAS反応、Alcian blue染色、Toluidine blue染色、Mucicarmine染色、Congo red染色</p> <p>第12回 生体内組織・内分泌染色法 Berlin blue染色、Fontana-Masson's染色、Grimelius's染色</p> <p>第13回 神経組織染色法 Kluver-Barrera染色、Bodian染色</p> <p>第14回 免疫組織化学染色法1 染色意義、染色手順</p> <p>第15回 免疫組織化学染色法2 各抗体の解説 分子病理学 がんゲノム</p>	<p>柳田 絵美衣</p> <p>柳田 絵美衣</p> <p>柳田 絵美衣</p> <p>柳田 絵美衣</p> <p>柳田 絵美衣</p> <p>柳田 絵美衣</p> <p>柳田 絵美衣</p> <p>柳田 絵美衣</p> <p>柳田 絵美衣</p> <p>柳田 絵美衣</p> <p>柳田 絵美衣</p> <p>柳田 絵美衣</p> <p>柳田 絵美衣</p> <p>柳田 絵美衣</p> <p>柳田 絵美衣</p> <p>柳田 絵美衣</p> <p>柳田 絵美衣</p> <p>柳田 絵美衣</p>
科目の目的	<p>病理検査学は、疾患の診断・治療・予後予測において重要な役割を果たす病理検査の基礎的知識と技術を習得するための科目である。講義では、手術・生検・剖検などから得られた検体を対象に、適切な固定、包埋、切片作製、各種染色、免疫組織化学、組織化学、分子病理検査などの流れとそれぞれの理論的背景について学ぶ。さらに、細胞診検査の基本的な流れや意義についても理解を深める。本科目は、病理検査の各工程が診断精度や患者予後に与える影響の大きさを意識しながら、実践に役立つ視点で知識を体系的に整理することを目的とする。</p>	
到達目標	<p>1. 病理検査における一連の検体処理過程（固定、包埋、切片作製、染色）を理解し、説明できる。</p> <p>2. 組織・細胞標本の基本的な染色法（HE染色、特殊染色、免疫染色）の目的と原理を理解できる。</p> <p>3. 良質な病理標本作製のために必要な注意点や技術的工夫を説明できる。</p> <p>4. 病理検査と臨床診断との関係を理解し、その重要性を説明できる。</p>	
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	知識・理解・実践能力	
関連科目	解剖学、病理学、病理学演習	
成績評価方法・基準	定期試験(100%)で成績とする。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	各回の授業内容について事前学習（予習）と事後学習（復習）をおこなうこと。事前事後学習に必要な時間の目安は4時間程度。	

教科書	教科書：最新 臨床検査学講座 病理学／病理検査学 松原修他著（医歯薬出版） 染色法のすべて 水口國雄 編集代表（医歯薬出版） プリント：必要に応じて、講義時に配布する。
参考書	ポケットマスター臨床検査知識の整理 病理学／病理組織細胞学 福留信幸著（医歯薬出版） 臨床検査技師国家試験解説集 Complete+MT Vol.4 病理組織細胞学（日本医歯薬研修出版）
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照
履修条件・履修上の注意	特になし
アクティブ・ラーニングの実施	特になし
ナンバリング	MSXV-101

講義科目名称： 病理学演習

授業コード： 6M065

英文科目名称： Pathology Lecture and Exercises

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
柳田 絵美衣			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2026年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	表現・技能・判断能力	
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	MSXV-201	

講義科目名称： 病理検査学実習

授業コード： 6M066

英文科目名称： Practicum in Pathology Laboratory Science

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
柳田 絵美衣	濱田 誠		

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2026年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	表現・技能・判断能力	
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	MSXV-301	

講義科目名称： 細胞診断学

授業コード： 6M067

英文科目名称： Cytopathology

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
柳田 絵美衣			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2026年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	知識・理解・実践能力	
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	MSXV-202	

講義科目名称： 臨床検査学総論

授業コード： 6M068

英文科目名称： General Remarks for Clinical Testing

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
梶田 幸夫			

授業形態	講義(15回)	担当者
授業計画	<p>第1回 血中成分の検査値に影響を及ぼす因子 食事や運動、年齢、性別などの要因により変動する血中成分について学ぶ</p> <p>第2回 血液検体の分類とそれぞれの特徴 血液検体の分類（全血、血漿、血清）に応じた検査項目や注意点などについて学ぶ</p> <p>第3回 血液検体の保存法と保存の影響 血液検体の分類に応じた保存方法や保存法の違いによる影響を学ぶ</p> <p>第4回 尿検体の分類とそれぞれの特徴 尿検体の分類（早朝尿、随時尿、畜尿など）に応じた検査項目や注意点などについて学ぶ</p> <p>第5回 尿検体の保存法と保存の影響 尿検体の分類に応じた保存方法や保存法の違いによる影響を学ぶ</p> <p>第6回 尿検体の一般的性状 健常尿検体の一般的な性状や病的正常について学ぶ</p> <p>第7回 尿定性検査 尿試験紙による尿定性試験の特徴や臨床的意義を学ぶ</p> <p>第8回 尿の化学的検査 ① 尿中化学成分の種類について理解し、それぞれの化学成分の測定原理について学習する</p> <p>第9回 尿の化学的検査 ② 尿中化学成分の臨床的意義について学習する</p> <p>第10回 尿沈渣検査 ① 尿沈渣検査の基礎的な知識について学ぶ</p> <p>第11回 尿沈渣検査 ② 尿中の血球類と上皮細胞類について学ぶ</p> <p>第12回 尿沈渣検査 ③ 尿中の円柱類と結晶類について学ぶ</p> <p>第13回 糞便検査 便の一般性状および便潜血反応の原理や臨床的意義などについて学ぶ</p> <p>第14回 髄液検査 髄液の一般性状および髄液検査の臨床的意義などについて学ぶ</p> <p>第15回 その他の体液検査 胸水、腹水、関節液などの体液の一般性状や検査法について学ぶ</p>	梶田 幸夫 梶田 幸夫 梶田 幸夫 梶田 幸夫 梶田 幸夫 梶田 幸夫 梶田 幸夫 梶田 幸夫 梶田 幸夫 梶田 幸夫 梶田 幸夫 梶田 幸夫 梶田 幸夫 梶田 幸夫 梶田 幸夫 梶田 幸夫
科目の目的	医療における臨床検査の役割と使命を自覚し、臨床検査技師の心構えや基礎的検査技術を学ぶ。	
到達目標	臨床検査技師としての専門的技術や知識への導入として基本的検査技術を習得する。	
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	知識・理解・実践能力	
関連科目	生化学、生理学、病理学、血液検査学、臨床化学検査学、免疫検査学、微生物検査学	
成績評価方法・基準	定期試験70%、小試験30%で評価し、100点満点の60点以上を合格とする。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	事前に教科書、配布資料等に目を通して置く。準備学習に必要な学習時間の目安は2時間程度。	
教科書	標準臨床検査学「臨床検査総論」（医学書院）	
参考書	カラーアトラス尿検査 月刊Medical Technology別冊(医歯薬出版)	
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上の注意	健康食品管理士 必修科目	

アクティブ・ラーニングの実施	実施なし
ナンバリング	MSXVI-101

講義科目名称： 臨床検査学総論実習

授業コード： 6M069

英文科目名称： Practice in General Remarks for Clinical Testing

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
濱田 誠	高橋 克典	梶田 幸夫	

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2026年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	表現・技能・判断能力	
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	MSXVI-201	
実務経験のある教員による授業		
実務経験	濱田 誠（臨床検査技師）、高橋 克典（臨床検査技師）、梶田 幸夫（臨床検査技師）	
授業の概要	各種一般検査法の正確な技術の修得とともに、検査成績のもつ臨床的意義を正しく判断できる能力を身に着ける。尿検査に関しては、尿中各種成分の定性・定量試験の正確な技術や、尿沈渣の形態学的特徴のみならず、患者の病態を含む背景から各種尿沈渣成分を正確に鑑別できる能力を修得する。さらに、臨床病態と検査成績との関連性や検査法に影響を及ぼす要因についても理解を深める。	

講義科目名称： 医動物学演習

授業コード： 6M070

英文科目名称： Medical Zoology Exercises

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
石垣 宏尚			

授業形態	演習(15回)		担当者
授業計画	第1回	医動物学総論 寄生虫の疫学、寄生虫の生活と疾患、寄生虫の生殖と発育	石垣 宏尚
	第2回	線虫類1 線虫類総論、回虫、蟯虫、鞭虫	石垣 宏尚
	第3回	線虫類2 鉤虫、糸状虫	石垣 宏尚
	第4回	吸虫類1 吸虫類総論、住血吸虫	石垣 宏尚
	第5回	吸虫類2 ウエステルマン肺吸虫等	石垣 宏尚
	第6回	条虫類 条虫類総論、裂頭条虫類	石垣 宏尚
	第7回	条虫類2 無鉤条虫、有鉤条虫	石垣 宏尚
	第8回	原虫類1 原虫類総論、アメーバ、マラリア原虫	石垣 宏尚
	第9回	原虫類2 トキソプラズマ、トリパノソーマ	石垣 宏尚
	第10回	原虫類3 リーシュマニア、ランブル鞭毛虫	石垣 宏尚
	第11回	衛生動物学(医節足動物) ツツガムシ、ダニ類	石垣 宏尚
	第12回	寄生虫検査法 材料の採取と保存、糞便、血液	石垣 宏尚
	第13回	寄生虫標本の観察1 線虫、吸虫、条虫	石垣 宏尚
	第14回	寄生虫標本の観察2 原虫、衛生動物	石垣 宏尚
	第15回	寄生虫卵の観察 線虫卵、吸虫卵、条虫卵	石垣 宏尚
科目の目的	医動物学(Medical zoology)は、人体の健康に病害を与える動物を対象とした学問分野である。本科目では臨床検査技師としての専門基礎知識を学ぶことを目的とし、前述の動物の分類、形態、生活史、病害、診断法、感染予防法などを学習する。		
到達目標	1. 寄生虫の分類、生活史、病害、診断法について説明できる。 2. 寄生虫の虫卵の鑑別ができる。 3. 人畜共通感染症について理解する。 4. 各寄生虫に適した検査法を理解する。		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	表現・技能・判断能力		
関連科目	解剖学、微生物検査学、感染と免疫、遺伝子検査学		
成績評価方法・基準	試験(80%)、実習レポート(20%)で評価を行う。レポートは採点后、学生に返却する。		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	各回の授業内容について1コマ1時間、教科書を読んでおく。前回授業で行った内容の中から小試験を行うので、前回の講義内容を復習しておくこと。		
教科書	教科書：吉田幸雄、有菌直樹 「医動物学」(南山堂)		
参考書	なし		
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照		
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照		
履修条件・履修上の注意	講義資料配布期間：前回授業翌日から当該日まで 講義資料はPCにダウンロードもしくは印刷して授業に持参すること。		

アクティブ・ラーニングの実施	寄生虫検出法を実施する際、学生同士ディスカッションする時間を与える。
ナンバリング	MSXVI-102

講義科目名称： 免疫検査学

授業コード： 6M071

英文科目名称： Laboratory Immunology

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
高橋 克典			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2026年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	知識・理解・実践能力	
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	MSXVII-201	

講義科目名称： 免疫検査技術学演習

授業コード： 6M072

英文科目名称： Laboratory Immunology Lecture and Exercises

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
高橋 克典	藤田 清貴		

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2026年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	表現・技能・判断能力	
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	MSXVII-202	

講義科目名称： 免疫検査技術学実習

授業コード： 6M073

英文科目名称： Practice in Laboratory Immunology

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
高橋 克典			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2026年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	表現・技能・判断能力	
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	MSXVII-301	

講義科目名称： 臨床化学検査学

授業コード： 6M074

英文科目名称： Clinical Biochemistry

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
石垣 宏尚			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2026年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	知識・理解・実践能力	
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	MSXVII-203	

講義科目名称： 臨床化学検査学演習

授業コード： 6M075

英文科目名称： Exercises in Clinical Biochemistry

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
石垣 宏尚			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2026年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	表現・技能・判断能力	
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	MSXVII-204	

講義科目名称： 臨床化学検査学実習

授業コード： 6M076

英文科目名称： Practice in Clinical Biochemistry

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
石垣 宏尚			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2026年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	表現・技能・判断能力	
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	MSXVII-205	

講義科目名称： 遺伝子検査学

授業コード： 6M077

英文科目名称： Gene Technology

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
荒木 泰行	大西 浩史		

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2026年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	知識・理解・実践能力	
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	MSXVIII-201	

講義科目名称： 遺伝子検査学実習

授業コード： 6M078

英文科目名称： Practice in Gene Technology

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
荒木 泰行	松田 和之		

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2026年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	表現・技能・判断能力	
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	MSXVIII-202	

講義科目名称： 基礎免疫学

授業コード： 6M079

英文科目名称： Basic Immunology

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
高橋 克典			

授業形態	講義(15回)	担当者
授業計画	第1回 免疫系の構成要素 ① ～免疫担当細胞～	高橋 克典
	第2回 免疫系の構成要素 ② ～MHC分子～	高橋 克典
	第3回 免疫系の構成要素 ③ ～抗体～	高橋 克典
	第4回 自然免疫のしくみ	高橋 克典
	第5回 補体系のしくみ	高橋 克典
	第6回 獲得免疫のしくみ ① ～T細胞系～	高橋 克典
	第7回 獲得免疫のしくみ ② ～B細胞系～	高橋 克典
	第8回 免疫寛容のしくみ	高橋 克典
	第9回 免疫学的検査が有用な感染症 ① ～細菌感染症～	高橋 克典
	第10回 免疫学的検査が有用な感染症 ② ～ウイルス感染症～	高橋 克典
	第11回 免疫学的検査が有用な感染症 ③ ～真菌・寄生虫感染症～	高橋 克典
	第12回 アレルギーの分類としくみ	高橋 克典
	第13回 自己免疫疾患の分類① ～膠原病～	高橋 克典
	第14回 自己免疫疾患の分類② ～臓器特異的自己免疫疾患～	高橋 克典
	第15回 免疫不全症	高橋 克典
科目の目的	生体内防御反応機構などの免疫のシステムの基礎知識，および免疫異常による疾患の特徴などを学ぶ。さらに，感染症の基礎知識，特徴，感染経路，臨床的経過などについても学ぶ。	
到達目標	免疫分野の基礎知識を修得し，人体の免疫システムの概要を論理的に説明できる。	
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	知識・理解・実践能力	
関連科目	内科学，遺伝と病気，免疫検査学，微生物検査学，血液検査学，輸血検査学	
成績評価方法・基準	定期試験70%，小テスト30%で評価し，100点満点の60点以上を合格とする。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	準備学習に必要な学習時間の目安は4時間程度	
教科書	最新臨床検査学講座 免疫検査学／輸血・移植検査学 第2版（医歯薬出版）	
参考書	わかる 身につく 病原体・感染・免疫（南山堂）	
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上の注意	2年次の「免疫検査学」や「免疫検査技術学演習」，3年次の「免疫検査技術学実習」は，すべて本講義がベースとなっているため，特別な事情がないかぎり講義を欠席しないこと	
アクティブ・ラーニングの実施	実施していない	

講義科目名称： 輸血検査学

授業コード： 6M080

英文科目名称： Blood Transfusion Testing

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
林 由里子	高橋 あゆ子		

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2026年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	知識・理解・実践能力	
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	MSXIX-301	

講義科目名称： 輸血検査学実習

授業コード： 6M081

英文科目名称： practice in Blood transfusion

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
高橋 あゆ子	林 由里子	梶田 幸夫	武井 永護

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2026年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	表現・技能・判断能力	
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	MSXIX-302	
実務経験のある教員による授業		
実務経験	高橋 あゆ子（臨床検査技師）、林 由里子（臨床検査技師）、梶田 幸夫（臨床検査技師）	
授業の概要	輸血療法に関する基本的な原理を理解し、輸血前検査において重要なABO・Rh血液型検査、不規則抗体検査、交差適合試験の手技を学ぶ。また、交差適合試験陽性例における血液製剤の選択方法や各血液製剤の保管方法および取り扱いに関して学び、臨床現場における輸血療法の実践的な知識や技術を身につける。	

講義科目名称： 微生物検査学

授業コード： 6M082

英文科目名称： Laboratory Microbiology

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
三浦 佑介			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2026年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	知識・理解・実践能力	
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	MSXX-201	

講義科目名称： 微生物検査学演習

授業コード： 6M083

英文科目名称： Laboratory Microbiology Lecture and Exercises

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
三浦 佑介			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2026年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	表現・技能・判断能力	
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	MSXX-202	

講義科目名称： 微生物検査学実習

授業コード： 6M084

英文科目名称： Practice in Laboratory Microbiology

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
三浦 佑介			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2026年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	表現・技能・判断能力	
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	MSXX-203	

講義科目名称： ウイルス検査学

授業コード： 6M085

英文科目名称： Virology

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
三浦 佑介			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2026年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	知識・理解・実践能力	
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	MSXX-204	

講義科目名称： 生理機能検査学 I

授業コード： 6M086

英文科目名称： Physiological function examination I

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
澤田 裕也	寺澤 文子		

授業形態	講義	担当者
授業計画	※今年度開講せず（2026年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	知識・理解・実践能力	
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	MSXXI-201	

講義科目名称： 生理機能検査学Ⅱ

授業コード： 6M087

英文科目名称： Physiological function examination II

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
澤田 裕也	寺澤 文子	茂木 俊一	

授業形態	講義	担当者
授業計画	※今年度開講せず（2026年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	知識・理解・実践能力	
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	MSXXI-202	

講義科目名称： 生理機能検査学Ⅲ

授業コード： 6M088

英文科目名称： Physiological function examination Ⅲ

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
澤田 裕也	寺澤 文子	加藤 英樹	

授業形態	講義	担当者
授業計画	<p>※今年度開講せず（2026年度カリキュラム）</p> <p>・眼底検査</p>	
科目の目的		
到達目標		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	知識・理解・実践能力	
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	MSXXI-301	

講義科目名称： 生理機能検査学IV

授業コード： 6M089

英文科目名称： Physiological function examination IV

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	4学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
澤田 裕也	寺澤 文子	茂木 俊一	

授業形態	講義	担当者
授業計画	※今年度開講せず（2026年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	知識・理解・実践能力	
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	MSXXI-401	

講義科目名称： 生理機能検査学実習

授業コード： 6M090

英文科目名称： Physiological function examination practice

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
寺澤 文子	澤田 裕也		

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2026年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	表現・技能・判断能力	
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	MSXXI-302	

講義科目名称： 関係法規

授業コード： 6M091

英文科目名称： Regulations regarding Medical Situations

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
石垣 宏尚			

授業形態	講義 (8回)		担当者
授業計画	第1回	法の概念、医事法規概説 法の概念、医事法の概要	石垣 宏尚
	第2回	臨床検査技師等に関する法律 総則、免許、試験、業務、罰則について、予防医学と衛生検査所、衛生検査所（健診センター）の役割と業務	石垣 宏尚
	第3回	医事法規 医療法、医師法、保健師助産師看護師法、診療放射線技師法等	石垣 宏尚
	第4回	薬事法規 医薬品医療機器等法、毒物及び劇物取締り法	石垣 宏尚
	第5回	保健衛生法規 地域保健法、食品衛生法、母子保健法等	石垣 宏尚
	第6回	感染症法規 感染症法、予防接種法、検疫法、予防医学と健康診断	石垣 宏尚
	第7回	環境衛生法規、労働衛生法規 環境基本法、労働基準法	石垣 宏尚
	第8回	社会保障・福祉関連法規 生活保護法、児童福祉法、老人福祉法	石垣 宏尚
科目の目的	医療従事者が医療行為を行う上で、知っておかなければならない法律について学習する。		
到達目標	臨床検査技師に関係する法律を中心に医療全般の基本的な法律の知識を習得する。		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	人間性・思考・判断力		
関連科目	公衆衛生学		
成績評価方法・基準	定期試験（100%）		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	事前に教科書に目を通しておく。準備学習に必要な学習時間の目安は概ね1コマ4時間。		
教科書	教科書：『最新臨床検査学講座 関係法規 最新版』（医歯薬出版）		
参考書	なし		
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照		
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照		
履修条件・履修上の注意	講義資料はActive Academyにて配布 配布期間：前回授業翌日から当該日まで 持参方法：各自印刷もしくはPCにダウンロードして授業に持参すること 健康食品管理士 必修科目		
アクティブ・ラーニングの実施	実施なし		
ナンバリング	MSXXII-101		

講義科目名称： 検査管理総論

授業コード： 6M092

英文科目名称： Clinical Laboratory Management

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
梶田 幸夫			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2026年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	知識・理解・実践能力	
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	MSXXII-301	

講義科目名称： 検査管理演習

授業コード： 6M093

英文科目名称： Practice in Clinical Laboratory Management

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
松下 誠			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2026年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	表現・技能・判断能力	
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	MSXXII-201	

講義科目名称： 医療統計学

授業コード： 6M094

英文科目名称： Medical Statistics

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
木村 朗	富田 浩		

授業形態	講義(15回)、演習(15回)※すべて講義と演習の併用		担当者
授業計画	第1回	計学のあらし データと集め方 統計学を学ぶ意味、データと集め方を理解する。医療における統計学の必要性を説明する。	木村 朗
	第2回	1変数 医療データを使った1つの事柄を分析するための方法を理解する。平均・中央値・最頻値を理解する。	富田 浩
	第3回	分布の散布度 医療データを使った分布の散布度、不偏分散を理解する。	富田 浩
	第4回	母集団での平均値の推定 割合 医療データを使った母集団での平均値の推定、正規分布、割合2グループの母割合、母平均の差の検定	富田 浩
	第5回	2グループの母割合、母平均の差の検定 医療データを使った2グループの母割合、母平均の差の検定を理解する。	富田 浩
	第6回	母分散が等分散しないときの母平均の差の検定 医療データを使った母分散が等分散しないときの母平均差の検定を理解する。	富田 浩
	第7回	2変数についての解析 相関図 回帰直線と相関係数 順位データの相関係数 医療データを使った2変数についての解析 相関図 回帰直線と相関係数 順位データの相関係数を理解する。	富田 浩
	第8回	クロス表 医療データを使ったクロス表とカイ二乗値を理解する。	富田 浩
	第9回	分散分析 医療データを使った分散分析 いくつかの要素の効果を判定するための方法を理解する。	富田 浩
	第10回	その他の分析方法 ノンパラメトリックによる検定 多変量解析 医療データを使ったノンパラメトリックによる検定 多変量解析のあらしを理解する。	富田 浩
	第11回	医療・疫学統計データの理解 医療データを使った演習1 分割表による検査と疾患データを用いた感度、特異度、尤度のあらしを理解する。	木村 朗
	第12回	コンピュータによる平均値および頻度に関する検定 医療データを使った演習2 JASPを活用しt検定および χ^2 二乗検定を経験する。	木村 朗
	第13回	コンピュータによる回帰分析 医療データを使った演習3 JASPを活用し、重回帰分析を経験する。	木村 朗
	第14回	コンピュータによる分割表を用いた医療統計分析 医療データを使った演習4 JASPを活用しクロス表分析を経験する。	木村 朗
	第15回	コンピュータによる医療統計分析の実際 研究論文を例にどのように医療統計を行っているか、もし知識がなかったら間違っ解釈をすることを体験する。	木村 朗
科目の目的	医療に携わる者として、大学教養レベルの統計学の基本的な知識を身につけ、医療に関連する課題に対する正しい統計手法の適応について理解し、生涯にわたり医療における不確実な課題に統計学を応用できる態度を滋養すること。		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 学生はデータ概念を説明できるようになること。 2. 学生は主な統計手法について説明できるようになること。 3. 学生は医療の課題で用いられる代表値と記述統計について統計検定3級程度の問題が解けるようになること。 4. 学生は分散分析、点推定、区間推定、検定について医療研究において頻出する適応例を挙げることができるようになること。 5. 学生は統計ソフトウェアRの基本的な操作をアシスタントツールの操作経験をすること。 		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	知識・理解・実践能力		
関連科目	情報処理、基礎統計、公衆衛生学、卒業研究		

成績評価方法・基準	期末時筆記テスト100%
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	・シラバスに示された、初めて聞く単語について、書き出し、ネット等で可能な範囲で内容を理解できるようにしておくこと。予習にかかる目安の時間は微積・統計を高校で履修した者は予習120分、履修していない者は180分程度、授業中にPC操作が完了した者の復習目安時間は120分、それ以上かかった者は本人の能力に応じて120分から180分。
教科書	教科書：ナースのための統計学. 医学書院
参考書	参考サイト：kimuakilabo（JASPとあなたと統計と）、前早稲田大学向後研究室統計学集サイト、さらに学習を進めたい人向け 統計学入門、東大出版会
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照
履修条件・履修上の注意	この授業では必ずPC（WindowsでもMACでもよい）、ルート付き電卓（ただし関数電卓の使用は禁止：統計検定試験に準じている）を持参すること。コンピュータの演習ではWifi接続が可能なように準備をしておくこと 2回目から授業開始前にAAAにて資料をダウンロードするよう告示する。
アクティブ・ラーニングの実施	発見学習：実データを用いた統計解析演習を通じて、適切な検定手法を選択する。学生の課題回答をAAAで収集し、整理して授業中にフィードバックを行う。
ナンバリング	MSXXII-102

講義科目名称： 医療安全管理学演習

授業コード： 6M095

英文科目名称： Practice in Medical Safety Management

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
濱田 誠	林 由里子	三浦 佑介	

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2026年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	表現・技能・判断能力	
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	MSXXIII-201	

講義科目名称： 総合実習（臨地実習前技能評価）

授業コード： 6M096

英文科目名称： Objective structured clinical Examination

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
寺澤 文子	山田 俊幸・松下 誠	高橋 克典・林 由里子	木村 鮎子・荒木 泰行
	柳田 絵美衣・石垣 宏尚	柳田 絵美衣・石垣 宏尚	高橋 あゆ子・濱田 誠・梶田 幸夫

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2026年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	倫理、人間性・思考・判断力、表現・技能・判断能力、知識・理解・実践能力、関心・意欲	
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	MSXXIV-301	
実務経験のある教員による授業		
実務経験	松下 誠（臨床検査技師）、高橋 克典（臨床検査技師）、林 由里子（臨床検査技師）、柳田 絵美衣（臨床検査技師）、石垣 宏尚（臨床検査技師）、澤田 裕也（臨床検査技師）、高橋 あゆ子（臨床検査技師）、濱田 誠（臨床検査技師）、梶田 幸夫（臨床検査技師）	
授業の概要	客観的臨床能力試験（Objective Structured Clinical Examination; OSCE）では、臨地実習に必要な血液学検査、病理学検査、尿・糞便検査、生化学検査・免疫学検査、遺伝子関連・染色体検査、輸血・移植検査、微生物学検査、生理学検査等の基本的検査手技を確認し、所見や結果を解釈できることにより、臨床検査技師として必要な知識を整理する。	

講義科目名称： 臨地実習

授業コード： 6M097

英文科目名称： Practicums

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
後期	3学年	11単位	必修	
担当教員	担当者			
寺澤 文子	山田 俊幸・松下 誠	高橋 克典・林 由里子	木村 鮎子・荒木 泰行	
	柳田 絵美衣・石垣 宏尚	三浦 佑介・澤田 裕也	高橋 あゆ子・濱田 誠・梶田 幸夫	

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2026年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	倫理、人間性・思考・判断力、表現・技能・判断能力、知識・理解・実践能力、関心・意欲	
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	MSXXIV-302	

講義科目名称： 基礎発生工学

授業コード： 6M098

英文科目名称： Basic developmental engineering

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
荒木 泰行			

授業形態	講義(15回)	担当者
授業計画	第1回 発生工学の基礎 発生工学の理解に必要な、配偶子や受精、初期発生に関する基本的事項 課題に対するフィードバックは授業内に行う。	荒木 泰行
	第2回 体外受精 哺乳類の卵子と精子を体外で受精させる技術 課題に対するフィードバックは授業内に行う。	荒木 泰行
	第3回 顕微授精 マニピュレーター等を用いて人為的に受精させる技術 課題に対するフィードバックは授業内に行う。	荒木 泰行
	第4回 核移植、クローン 卵子に細胞核を移植する技術や、その技術を用いた体細胞クローンの話題 課題に対するフィードバックは授業内に行う。	荒木 泰行
	第5回 雌雄産み分け 性別を操るテクニックについて 課題に対するフィードバックは授業内に行う。	荒木 泰行
	第6回 凍結保存 配偶子(卵子、精子) や胚の凍結保存 課題に対するフィードバックは授業内に行う。	荒木 泰行
	第7回 トランスジェニック動物 遺伝子改変動物の話題 課題に対するフィードバックは授業内に行う。	荒木 泰行
	第8回 ノックアウト動物 課題に対するフィードバックは授業内に行う。	荒木 泰行
	第9回 ES細胞 課題に対するフィードバックは授業内に行う。	荒木 泰行
	第10回 iPS細胞 体細胞由来の多能性幹細胞 課題に対するフィードバックは授業内に行う。	荒木 泰行
	第11回 エピジェネティクス 塩基配列の変化を伴わない後天的な遺伝現象 課題に対するフィードバックは授業内に行う。	荒木 泰行
	第12回 配偶子の体外成熟培養 卵子や精子を体外で成熟培養させる技術 課題に対するフィードバックは授業内に行う。	荒木 泰行
	第13回 発生工学に関するトピック 発生工学に関する近年の話題を紹介 課題に対するフィードバックは授業内に行う。	荒木 泰行
	第14回 発生工学の未来 発生工学がもたらす未来の予想 課題に対するフィードバックは授業内に行う。	荒木 泰行
	第15回 まとめ 第1～14回までの内容の理解度確認 課題に対するフィードバックは授業内に行う。	荒木 泰行
科目の目的	発生工学は、主に発生生物学・生殖生物学・遺伝子工学の3分野が合わさってできた比較的新しい学問分野である。配偶子や接合子を人為的に操作する各種の技術、およびそこから作られる細胞や個体についての特徴や応用について学ぶ。	
到達目標	発生工学に用いられている手法を理解するとともに、発生、生殖、分子生物学等の分野の関連性について説明できる。	

「ディプロマ・ポリシー」キーワード	知識・理解・実践能力
関連科目	遺伝子検査学、遺伝子検査学実習、生殖医療技術学
成績評価方法・基準	授業内課題（50％）および授業内試験（50％）により成績を評価します。
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	高校生物の発生に関する項目を復習しておくこと。各回の授業内容について予習・復習を約1時間行い、理解しておくこと。また、ネット等で関連の話題を検索して調べておくこと。
教科書	無し
参考書	「哺乳動物の発生工学」（朝倉書店）
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照
履修条件・履修上の注意	特になし
アクティブ・ラーニングの実施	予定なし
ナンバリング	MSXXV-101

講義科目名称： 生殖医療技術学

授業コード： 6M099

英文科目名称： Assisted Reproductive Technology

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
荒木 泰行			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2026年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	表現・技能・判断能力	
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	MSXXV-201	

講義科目名称： 臨床検査学総合演習 I

授業コード： 6M100

英文科目名称： Comprehensive Practice in Clinical Testing I

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
三浦 佑介	山田 俊幸・松下 誠	寺澤 文子・高橋 克典	林 由里子・木村 鮎子
	荒木 泰行・柳田 絵美衣	石垣 宏尚・澤田 裕也	

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2026年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	知識・理解・実践能力	
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	MSXXV-301	

講義科目名称： 臨床検査学総合演習Ⅱ

授業コード： 6M101

英文科目名称： Comprehensive Practice in Clinical Testing II

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	4学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
三浦 佑介	山田 俊幸・松下 誠	寺澤 文子・高橋 克典	林 由里子・木村 鮎子
	荒木 泰行・柳田 絵美衣	石垣 宏尚・澤田 裕也	

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2026年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	知識・理解・実践能力	
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	MSXXV-401	

講義科目名称：ピットフォール解析学

授業コード：6M102

英文科目名称：Pitfall Analysis

対象カリキュラム：2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	4学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
松下 誠	藤田 清貴	高橋 克典	林 由里子
	柳田 絵美衣		

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2026年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	知識・理解・実践能力	
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	MSXXV-402	

講義科目名称： 電気泳動分析病態解析学

授業コード： 6M103

英文科目名称： Pathological Analysis in Electrophoresis

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	4学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
木村 鮎子			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2026年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	知識・理解・実践能力	
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	MSXXV-403	

講義科目名称： 大学の学び－専門への誘い－

授業コード： 6M104

英文科目名称： Introduction to Healthcare Profession

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
寺澤 文子	松下 誠・山田 俊幸	高橋 克典・林 由里子	木村 鮎子・荒木 泰行
	柳田 絵美衣・石垣 宏尚	三浦 佑介・澤田 裕也	高橋 あゆ子・濱田 誠・梶田 幸夫・木村 朗

授業形態	演習(15回)		担当者
授業計画	第1回	イントロダクション 教養ゼミナールの進め方、グループ分け、グループ討論	寺澤、山田、松下、高橋(克)、林、木村(鮎)、荒木、柳田、石垣、三浦、澤田、高橋(あ)、濱田
	第2回	グループ学習-1 課題テーマの選定、役割分担	寺澤、山田、松下、高橋(克)、林、木村(鮎)、荒木、柳田、石垣、三浦、澤田、高橋(あ)、濱田
	第3回	グループ学習-2 分担内容の調査結果について報告・討論	寺澤、山田、松下、高橋(克)、林、木村(鮎)、荒木、柳田、石垣、三浦、澤田、高橋(あ)、濱田
	第4回	グループ学習-3 追加・確認内容について報告・討論	寺澤、山田、松下、高橋(克)、林、木村(鮎)、荒木、柳田、石垣、三浦、澤田、高橋(あ)、濱田
	第5回	グループ学習-4 調査・研究結果まとめ	寺澤、山田、松下、高橋(克)、林、木村(鮎)、荒木、柳田、石垣、三浦、澤田、高橋(あ)、濱田
	第6回	グループ学習-5 発表スライド作成準備 (PowerPointの使い方)	寺澤、山田、松下、高橋(克)、林、木村(鮎)、荒木、柳田、石垣、三浦、澤田、高橋(あ)、濱田

第7回	グループ学習-6 発表スライド作成および発表練習（1）	寺澤、山田、松下、高橋(克)、林、木村(鮎)、荒木、柳田、石垣、三浦、澤田、高橋(あ)、濱田
第8回	グループ学習-7 発表スライド作成および発表練習（2）	寺澤、山田、松下、高橋(克)、林、木村(鮎)、荒木、柳田、石垣、三浦、澤田、高橋(あ)、濱田
第9回	発表と討論（1） 前半グループによる発表・討論（発表10分，討論3分）	寺澤、山田、松下、高橋(克)、林、木村(鮎)、荒木、柳田、石垣、三浦、澤田、高橋(あ)、濱田
第10回	発表と討論（1） 後半グループによる発表・討論（発表10分，討論3分）	寺澤、山田、松下、高橋(克)、林、木村(鮎)、荒木、柳田、石垣、三浦、澤田、高橋(あ)、濱田
第11回	検査関連機関に勤務する外部講師による講演（1）（2） 講演終了後レポート提出，各教員のチェック後，成績を評価する	寺澤、山田、松下、高橋(克)、林、木村(鮎)、荒木、柳田、石垣、三浦、澤田、高橋(あ)、濱田
第12回	検査関連機関に勤務する外部講師による講演（3）（4） 講演終了後レポート提出，各教員のチェック後，成績を評価する	寺澤、山田、松下、高橋(克)、林、木村(鮎)、荒木、柳田、石垣、三浦、澤田、高橋(あ)、濱田
第13回	検査関連機関に勤務する外部講師による講演（5）（6） 講演終了後レポート提出，各教員のチェック後，成績を評価する	寺澤、山田、松下、高橋(克)、林、木村(鮎)、荒木、柳田、石垣、三浦、澤田、高橋(あ)、濱田
第14回	ヘルスプロフェッションの基礎知識として保健科学の概要と成り立ちを学ぶ 1. 病と人間 2. 保健科学の基礎としてのヘルスリテラシーのあらまし	木村 朗

	第15回 ヘルスプロフェッションの基礎知識として保健科学を具其他的な事例に即して理解する 1.ヘルスリテラシーの活用 2.文化とヘルスリテラシー	木村 朗
科目の目的	少人数のグループに分かれグループ学習を行う。担当教員を含めたグループ内討論により課題テーマを設定し、調査・研究、討論を行い資料作成などに取り組む。グループ学習の結果については発表会を行い、学習能力を高める。さらに、講義では医療・科学分野などで活躍する外部講師を招き、各領域の仕事内容や医療人としての心構えを学ぶ。	
到達目標	1. 課題テーマの選択から発表までの一連のプレゼンテーションの仕方を理解できる。 2. グループ討論に積極的に参加し相手の意見を理解しながら自分の考えを述べることができる。 3. 各職種の仕事内容を理解できる。	
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	関心・意欲	
関連科目	生命倫理、スタディ・スキルズ、アカデミック・スキルズ、他職種理解と医療コミュニケーション	
成績評価方法・基準	演習への取り組み50%、発表内容20%、レポート30%により成績を評価する。採点の基準は100点満点のうち60点以上を合格とする。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	グループ学習においては課題テーマの情報収集を積極的に行いその内容を理解しておくこと。準備学習に必要な学習時間の目安は1回あたり1時間である。	
教科書	使用しない。	
参考書	必要に応じて資料を配布する。	
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施	実施なし	
ナンバリング	MSXXV-102	

講義科目名称：健康食品学

授業コード：6M105

英文科目名称：Healthy Food Management

対象カリキュラム：2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	2単位	選択
担当教員	担当者		
三浦 佑介			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2026年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	知識・理解・実践能力	
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	MSXXV-302	

講義科目名称： 遺伝子分析学

授業コード： 6M106

英文科目名称： Genetic Analysis

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	2単位	選択
担当教員	担当者		
加藤 潤一			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2026年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	知識・理解・実践能力	
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	MSXXV-303	

講義科目名称： フローサイトメトリー演習

授業コード： 6M107

英文科目名称： Practical Exercises in Flow Cytometry

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
林 由里子			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2026年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	関心・意欲	
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	MSXXV-304	

講義科目名称： 質量分析法演習

授業コード： 6M108

英文科目名称： Practical Exercises in Mass Spectrometry

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
木村 鮎子			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2026年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	関心・意欲	
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	MSXXV-305	

講義科目名称： 自動分析法演習

授業コード： 6M109

英文科目名称： Practice in Automated Analysis Methods

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
松下 誠			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2026年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	関心・意欲	
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	MSXXV-306	

講義科目名称： 基礎医学研究法

授業コード： 6M110

英文科目名称： Introduction to Basic Medical Research

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
木村 鮎子			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2026年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	関心・意欲	
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	MSXXV-307	

講義科目名称： 臨床検査学研究法

授業コード： 6M111

英文科目名称： Clinical Laboratory Science Research Methods

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
松下 誠			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2026年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	関心・意欲	
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	MSXXV-308	

講義科目名称： 生殖補助医療学研究法

授業コード： 6M112

英文科目名称： Research Methods in Assisted Reproductive Technology

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
荒木 泰行			
授業形態	担当者		
授業計画	※今年度開講せず（2026年度カリキュラム）		
科目の目的			
到達目標			
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	関心・意欲		
関連科目			
成績評価方法・基準			
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安			
教科書			
参考書			
オフィス・アワー			
国家試験出題基準			
履修条件・履修上の注意			
アクティブ・ラーニングの実施			
ナンバリング	MSXXV-309		

講義科目名称： 医療技術学演習

授業コード： 6M113

英文科目名称： Practice in Medical Technology

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
松下 誠	寺澤 文子	林 由里子	渡邊 城大・茂木俊一
	福島 康宏	大濱和也・斎藤慎	安野 誠

授業形態	講義(9回)、演習(6回)		担当者
授業計画	第1回	臨床検査技師が関わる医療技術 (1)	松下 誠
	第2回	臨床検査技師が関わる医療技術 (2)	寺澤 文子
	第3回	臨床検査技師が関わる医療技術 (3)	林 由里子
	第4回	診療放射線技師が関わる医療技術 (1)	渡邊城大
	第5回	診療放射線技師が関わる医療技術 (2)	茂木俊一
	第6回	診療放射線技師が関わる医療技術 (3)	未定 (新入職)
	第7回	臨床工学技士が関わる医療技術 (1)	斎藤 慎
	第8回	臨床工学技士が関わる医療技術 (2)	安野 誠
	第9回	臨床工学技士が関わる医療技術 (3)	大濱 和也
	第10-15回	臨床検査技師が関わる医療技術の演習 ローテーションの演習となります	松下 誠、 寺澤 文子、林 由里子
	第10-15回	診療放射線技師が関わる医療技術の演習 ローテーションの演習となります	渡邊城大、 茂木俊一、 未定
第10-15回	臨床工学技士が関わる医療技術の演習 ローテーションの演習となります	大濱和也、 斎藤 慎、 安野 誠	
科目の目的	臨床検査技師、診療放射線技師および臨床工学技士は、それぞれ、予防・診断・治療に関わるさまざまな医療技術を習得する。本科目は、上記3学科で構成される医療技術学部の共通科目として開講し、それぞれの学科の医療技術だけではなく、他の2学科が関わる医療技術を体験して幅広い医療技術を身に付けることを目的とする。		
到達目標	1. 臨床検査技師が関わる医療技術の概要を身に付ける。 2. 診療放射線技師が関わる医療技術の概要を身に付ける。 3. 臨床工学技士が関わる医療技術の概要を身に付ける。		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	人間性・思考・判断力		
関連科目	多職種理解と医療コミュニケーション、各学科の専門科目		
成績評価方法・基準	定期試験 (70%)、演習への取り組みおよび提出物など(30%)で評価する		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	本科目は、30時間 (15コマ) 2単位の演習科目で、1コマあたり4時間の自己学習を必要とする。		
教科書	担当教員からテキストを提示する。		
参考書	必要な場合は担当教員より提示する。		
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照		
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照		
履修条件・履修上の注意			

アクティブ・ラーニングの実施	実施なし
ナンバリング	MSXXVI-101

講義科目名称： 卒業研究

授業コード： 6M114

英文科目名称： Graduation Studies

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
通年	4学年	4単位	必修	
担当教員	担当者			
寺澤 文子	山田 俊幸・松下 誠		高橋 克典・林 由里子	木村 鮎子・荒木 泰行
	柳田 絵美衣・石垣 宏尚		三浦 佑介・澤田 裕也	梶田 幸夫

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2026年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	倫理、人間性・思考・判断力、表現・技能・判断能力、知識・理解・実践能力、関心・意欲	
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	MSXXVII-401	